居住と地域社会に対する意識に関するWeb調査

調査報告書

目次

■ 調査概要 P.3～

■ 転入者調査結果 P.5～

■ 転出者調査結果 P. 56～

調査概要

（項目）	（内容）
案件名	居住と地域社会に対する意識に関するWeb調査
調査目的	WEB調査より住居の選好と、コロナ禍を経て変容した価値観や区政、地域コミュニティへの関わり方など地域社会への意識との関係を明らかにすることを目的とする。
調査方法	インターネットを活用したモニター調査 →一次調査で調査対象者を抽出し二次調査でアンケートを実施する ※一次調査：50,000サンプルに5問程度のアンケートを実施
調査対象者 （サンプル数）	調査対象は、以下の状況にある 3500 名 ① 世田谷区在住の過去に転入してきた 20 歳以上の区民 500 名 ② かつて世田谷区に住んでいた 20 歳以上の3000名 ・特別区在住者 500 名 ・都内市町村在住者 500 名 ・川崎市在住者 500 名 ・横浜市在住者 500 名 ・その他神奈川県在住者 500 名 ・上記以外の区市町村在住者 500 名
調査実施日時	2024年3月6日（水）～11日（月）
分析	基礎集計：単純集計

3

調査概要

（項目）	（内容）	
調査項目 スクリーニング調査	性別／年齢／現在の居住地（都道府県）／現在の居住地（東京都）／現在の居住地（神奈川県）／過去の居住地（東京都）／世田谷区転入時期	
調査項目 本調査	転入者	転出者
	・婚姻状況 ・世帯年数 ・世帯構成（転出前・後） ・居住地（転出前・後） ・最寄り駅（転出前・後） 家から最寄り駅までの主要な移動手段（転出前・後） ・家から最寄り駅までの合計所要時間（転出前・後） ・世帯の就業人数（転出前・後） ・世帯員の職業（転入前） ・世帯員の勤務形態（転入前） ・世帯員の勤務地自治体（転入前） ・世帯員の主な勤務先への通勤の所要時間（転入前） ・世帯員の通学通園先への交通手段（転入前） ・世帯員の通学通園先への移動の所要時間（転入前） ・世帯員の職業（転入後） ・世帯員の勤務形態（転入後） ・世帯員の勤務先への交通手段（転入後） ・世帯員の勤務地自治体（転入後） ・世帯員の主な勤務先への通勤の所要時間（転入後） ・通学通園先への交通手段（転入後） ・通学通園先への移動の所要時間（転入後） ・住居形態（転入前・後） ・間取り（転入前・後） ・転入後の住居を探す際の条件 ・町会・自治会への加入（転入前・後） ・転入前のエリアに住んでいた理由 ・転入前のエリアに住んでいた期間 ・転入前のエリアに対する不満点 ・引っ越 しするきっかけとなった理由 ・転入先の選択理由 ・転入先に住んでみての満足度 ・転入先の推奨度 ・情報収集手段 ・自治体情報収集手段 ・ライフスタイルについて新型コロナウイルス感染症の影響があったか ・前に住んでいた自治体より世田谷区の方が良かったと思う点 ・世田谷区に転入してみて不満を感じること ・世田谷区への要望 ・世田谷区への愛着 ・コロナ前の価値観・意識 ・コロナ後の価値観・意識 ・地域活動 ・転入前（以前の自治体にお住まいのとき）の地域活動 ・転入後（世田谷区にお住まいのとき）の地域活動	・婚姻状況 ・世帯年数 ・世帯構成（転出前・後） ・居住地（転出前・後） ・最寄り駅（転出前・後） ・家から最寄り駅までの主要な移動手段（転出前・後） ・家から最寄り駅までの合計所要時間（転出前・後） ・世帯の就業人数（転出前・後） ・世帯員の職業（転入前） ・世帯員の勤務形態（転入前） ・世帯員の勤務先への交通手段（転入前） ・世帯員の勤務地自治体（転入前） ・世帯員の主な勤務先への通勤の所要時間（転入前） ・世帯員の通学通園先への交通手段（転入前） ・世帯員の通学通園先への移動の所要時間（転入前） ・世帯員の職業（転入後） ・世帯員の勤務形態（転入後） ・世帯員の勤務先への交通手段（転入後） ・世帯員の勤務地自治体（転入後） ・世帯員の主な勤務先への通勤の所要時間（転入後） ・通学通園先への交通手段（転入後） ・通学通園先への移動の所要時間（転入後） ・住居形態（転入前・後） ・間取り（転入前・後） ・転入後の住居を探す際の条件 ・町会・自治会への加入（転入前・後） ・転入前のエリアに住んでいた理由 ・転入前のエリアに住んでいた期間 ・転入前のエリアに対する不満点 ・引っ越しするきっかけとなった理由 ・転入先の選択理由 ・転入先に住んでみての満足度 ・転入先の推奨度 ・情報収集手段 ・自治体情報収集手段 ・ライフスタイルについて新型コロナウイルス感染症の影響があったか ・前に住んでいた自治体より世田谷区の方が良かったと思う点 ・世田谷区に転入してみて不満を感じること ・世田谷区への要望 ・世田谷区への愛着 ・コロナ前の価値観・意識 ・コロナ後の価値観・意識 ・地域活動 ・転入前（以前の自治体にお住まいのとき）の地域活動 ・転入後（世田谷区にお住まいのとき）の地域活動

4

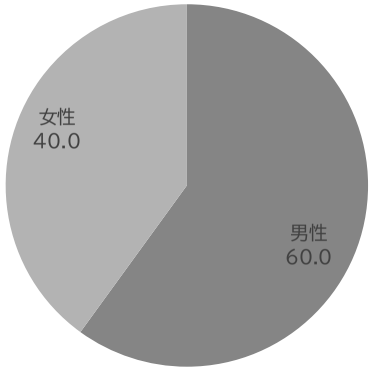
転入者　調査結果

性別／年齢

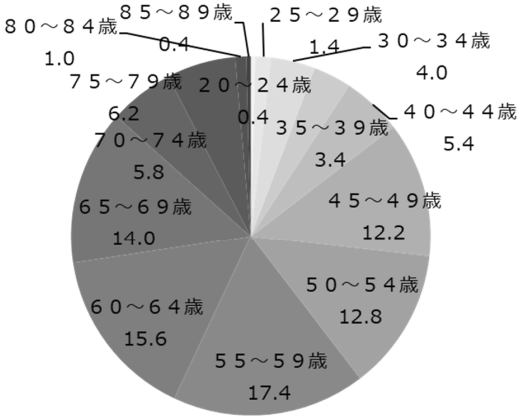
性別／年齢

・男性が60.0%の割合となっており、女性より構成比率が高い結果。
・年代を見ると、40代、50代、60代がボリュームゾーンとなっている。

F1：性別



F2：年齢

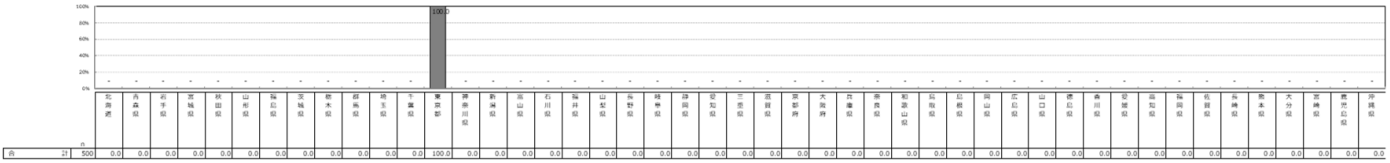


現在の居住地／過去の居住地

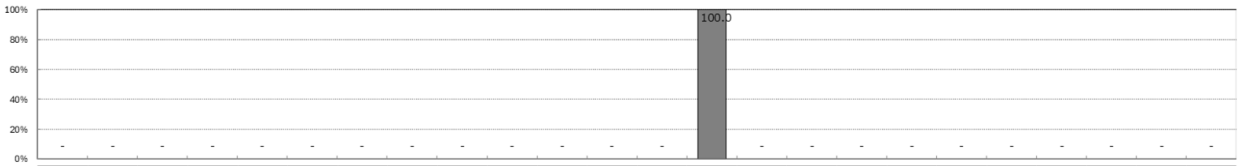
現在の居住地／過去の居住地

・調査対象者条件として、現在「世田谷区在住の過去に転入してきた20歳以上の区民」の抽出条件に準じる結果。
・転入者の過去の居住地は、「神奈川県」が14.8%で「その他」23.2%を除くと高い。

F3：現在の居住地

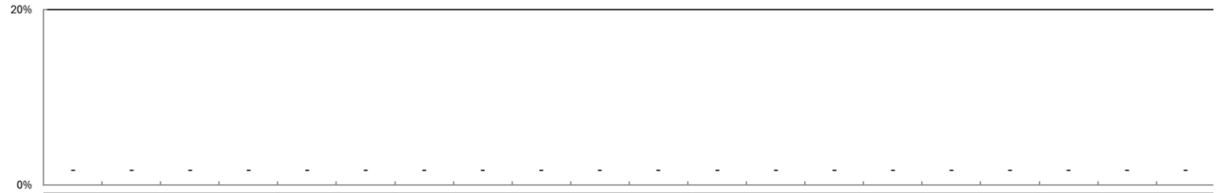


F3-1：現在の居住地（東京都）



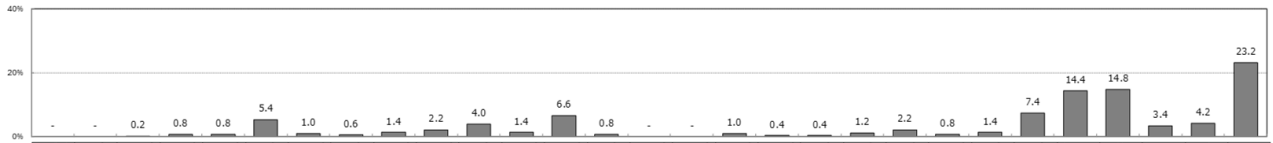
	n	足立区（あだち）	荒川区（あらかわ）	板橋区（いたばし）	江戸川区（えどがわ）	大田区（おおたく）	葛飾区（かつしか）	北区（きたく）	江東区（こうとうく）	品川区（しながわく）	渋谷区（しぶやく）	新宿区（しんじゅくく）	杉並区（すぎなみく）	墨田区（すみだく）	世田谷区（せたがやく）	台東区（たいとうく）	中央区（ちゅうおうく）	千代田区（ちよだく）	豊島区（としまく）	中野区（なかのく）	練馬区（ねりまく）	文京区（ぶんきょうく）	港区（みなとく）	目黒区（めぐろく）	その他23区以外の市町村
合計	500	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

F3-2：現在の居住地（神奈川県）



	n	横浜市	川崎市	横須賀市	鎌倉市	逗子市	三浦市	相模原市	厚木市	大和市	海老名市	座間市	綾瀬市	平塚市	藤沢市	茅ケ崎市	秦野市	伊勢原市	小田原市	南足柄市	その他町村
合計	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

F4：過去の居住地



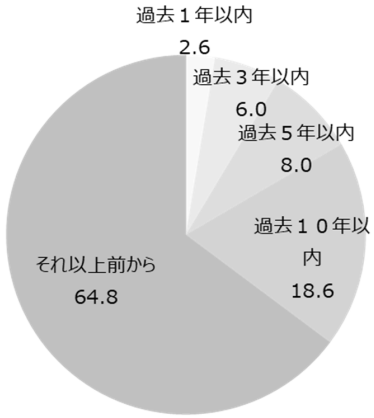
	n	生まれてからずっと現住所に住んでいる	東京都足立区（あだちく）	東京都荒川区（あらかわく）	東京都板橋区（いたばしく）	東京都江戸川区（えどがわく）	東京都大田区（おおたく）	東京都葛飾区（かつしかく）	東京都北区（きたく）	東京都江東区（こうとうく）	東京都品川区（しながわく）	東京都渋谷区（しぶやく）	東京都新宿区（しんじゅくく）	東京都杉並区（すぎなみく）	東京都墨田区（すみだく）	東京都世田谷区（せたがやく）	東京都台東区（たいとうく）	東京都中央区（ちゅうおうく）	東京都千代田区（ちよだく）	東京都豊島区（としまく）	東京都中野区（なかのく）	東京都練馬区（ねりまく）	東京都文京区（ぶんきょうく）	東京都港区（みなとく）	東京都目黒区（めぐろく）	その他23区以外の東京都市区町村	神奈川県	埼玉県	千葉県	その他
合計	500	0.0	0.0	0.2	0.8	0.8	5.4	1.0	0.6	1.4	2.2	4.0	1.4	6.6	0.8	0.0	0.0	1.0	0.4	0.4	1.2	2.2	0.8	1.4	7.4	14.4	14.8	3.4	4.2	23.2

世田谷区転入時期

世田谷区転入時期

転入者の世田谷区の転入時期として、「10年以上前」が64.8%の結果。

F6：世田谷区転入時期

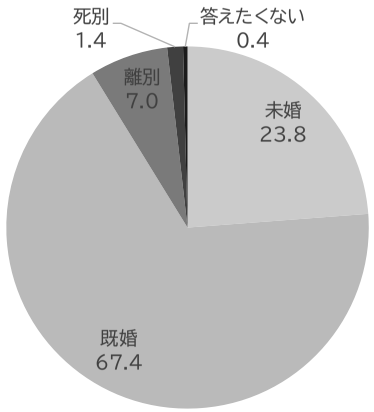


婚姻状況／世帯年収

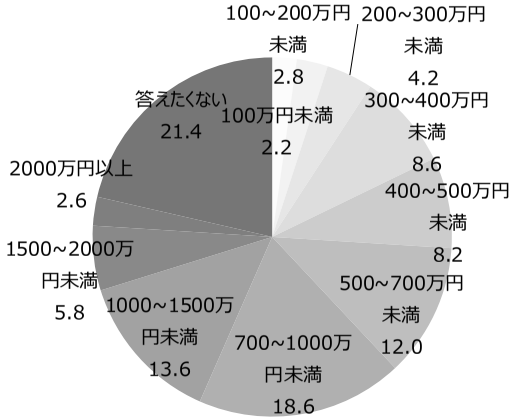
婚姻状況／世帯年収

婚姻状況は、「既婚」が67.4%と大半を占めている。
世帯年収は、「700～1000万円未満」が18.6%と最も多く、次いで「1000～1500万円未満」が13. 6%、「500～700万円未満」が12%となっている。※「答えたくない」を除く

Q1：婚姻状況



Q2：世帯年収

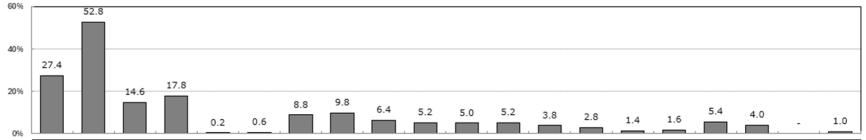


世帯構成

世帯構成

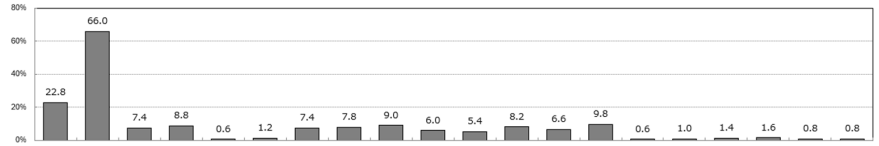
世帯構成について、転入前は「配偶者、パートナー」が52.8%と最も多く、次いで「あなたご自身のみ」が、 27.4%となっている。転出後も、「配偶者、パートナー」が66%と最も多く、次いで「あなたご自身のみ」が、22.8%となっている。

Q3-1：世帯構成（転入前）



	n	あなたご自身のみ	配偶者、パートナー	父親	母親	配偶者・パートナーの父	配偶者・パートナーの母	子ども（未就園児）	子ども（幼稚園・保育園）	子ども（小学1～3年生）	子ども（小学4～6年生）	子ども（中学生）	子ども（高校生）	子ども（専門学校、短大、大学、大学院生の学生）	子ども（その他）	祖父	祖母	兄姉	弟妹	孫	その他
合計	500	27.4	52.8	14.6	17.8	0.2	0.6	8.8	9.8	6.4	5.2	5.0	5.2	3.8	2.8	1.4	1.6	5.4	4.0	0.0	1.0

Q3-2：世帯構成（転入後）



	n	あなたご自身のみ	配偶者、パートナー	父親	母親	配偶者・パートナーの父	配偶者・パートナーの母	子ども（未就園児）	子ども（幼稚園・保育園）	子ども（小学1～3年生）	子ども（小学4～6年生）	子ども（中学生）	子ども（高校生）	子ども（専門学校、短大、大学、大学院生の学生）	子ども（その他）	祖父	祖母	兄姉	弟妹	孫	その他
合計	500	22.8	66.0	7.4	8.8	0.6	1.2	7.4	7.8	9.0	6.0	5.4	8.2	6.6	9.8	0.6	1.0	1.4	1.6	0.8	0.8

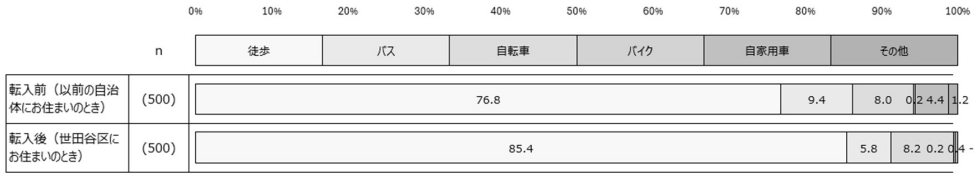
移動手段／最寄り駅までの合計所要時間

移動手段／最寄り駅までの合計所要時間

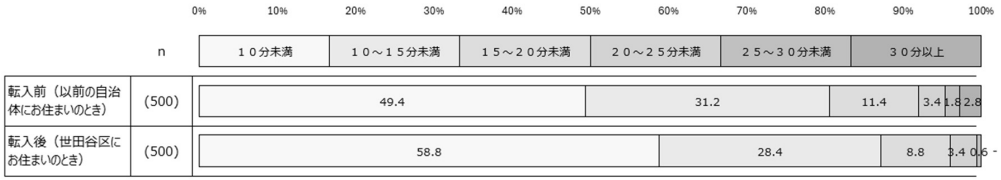
移動手段について、転入前（以前の自治体にお住まいのとき）は「徒歩」が76.8%、転入後（世田谷区にお住いのとき）も「徒歩」が85.4%となっている。

最寄り駅までの合計所要時間について、転入前（以前の自治体にお住まいのとき）は、「10分未満」が49.4%、転入後（世田谷区にお住いのとき）は、「10分未満」が58. 8%となって最も多くなっている。

Q6：移動手段



Q7：最寄り駅までの合計所要時間

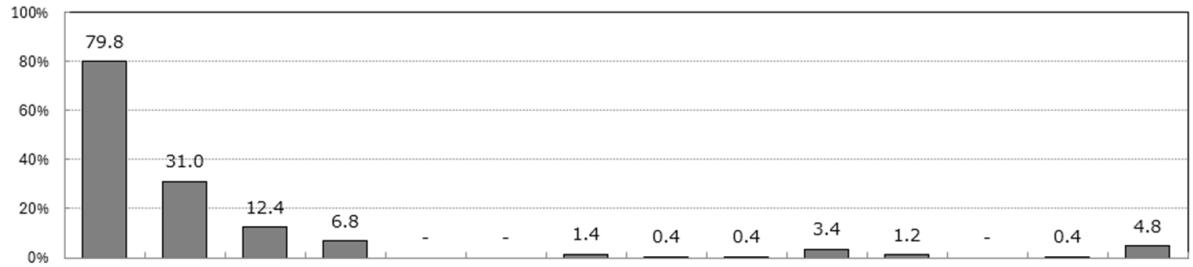


世帯の就業者

世帯の就業者

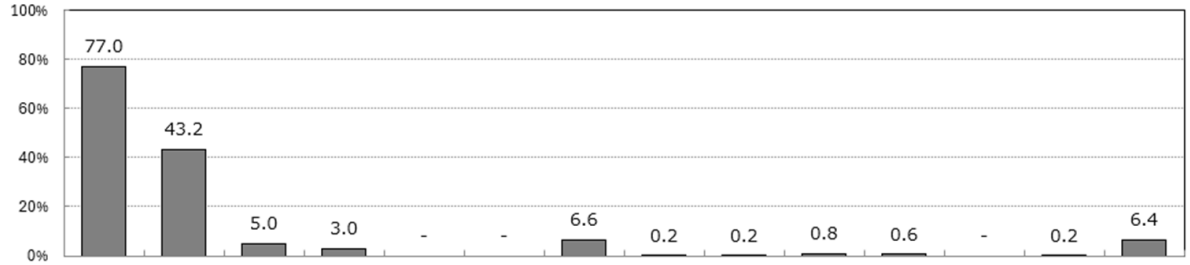
世帯の就業者について、転入前は「ご自身」が79.8%と最も多く、次いで「配偶者、パートナー」が31%、転入後も「ご自身」が77%と最も多く、次いで「配偶者、パートナー」が43.2%となっている。

Q8-1：世帯の就業者（転入前）



	n	ご自身	配偶者、パートナー	父親	母親	配偶者・パートナーの父	配偶者・パートナーの母	子ども	祖父	祖母	兄姉	弟妹	孫	その他	働いている人はいない
合計	500	79.8	31.0	12.4	6.8	0.0	0.0	1.4	0.4	0.4	3.4	1.2	0.0	0.4	4.8

Q8-2：世帯の就業者（転入後）



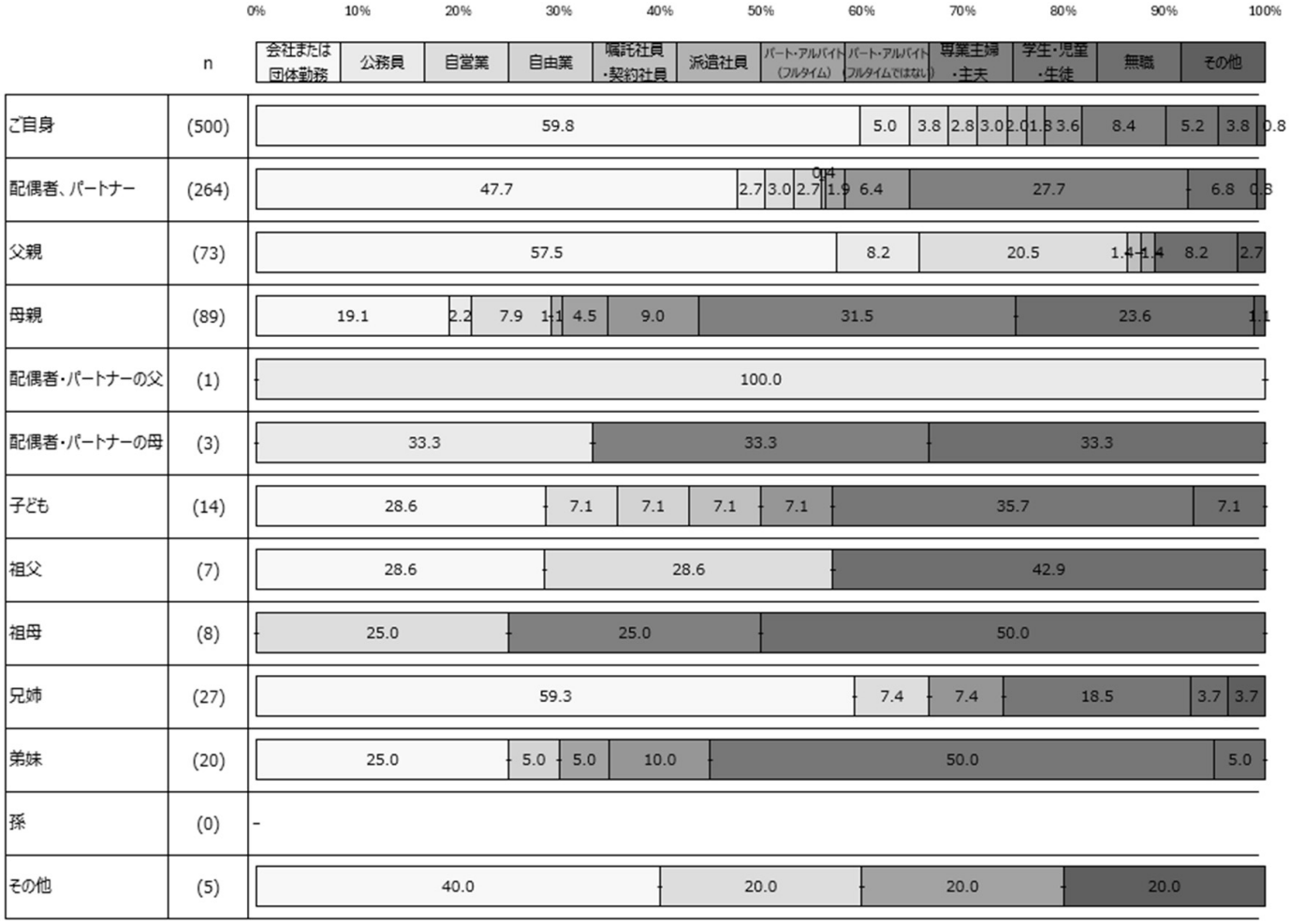
	n	ご自身	配偶者、パートナー	父親	母親	配偶者・パートナーの父	配偶者・パートナーの母	子ども	祖父	祖母	兄姉	弟妹	孫	その他	働いている人はいない
合計	500	77.0	43.2	5.0	3.0	0.0	0.0	6.6	0.2	0.2	0.8	0.6	0.0	0.2	6.4

世帯員の職業（転入前）

世帯員の職業（転入前）

世帯員の職業（転入前）について、「ご自身」「配偶者、パートナー」「父親」「兄妹」「その他」は「会社または団体勤務」の割合が最も大きくなっている。

Q9：世帯員の職業（転入前）

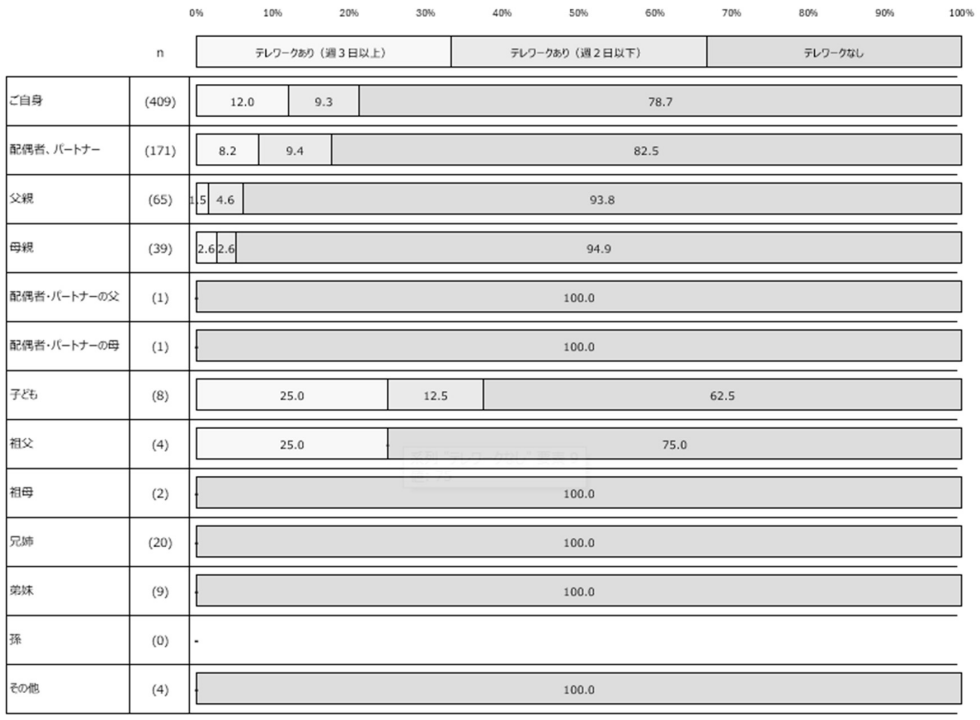


世帯員のテレワーク実施状況（転入前）

世帯員のテレワーク実施状況（転入前）

世帯員のテレワーク実施状況は、「テレワークなし」が60%以上を占めている。

Q10：世帯員のテレワーク実施状況（転入前）

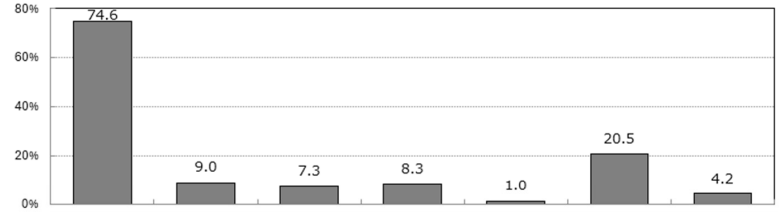


世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

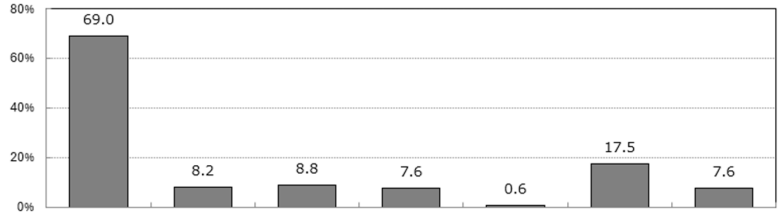
世帯員の勤務先への交通手段（転入前）について、ご自身は「鉄道」が74.6%と最も多く、次いで「徒歩」が20.5%、配偶者、パートナーも「鉄道」が69%と最も多く、次いで「徒歩」が17.5%となっている。

Q11-1：世帯員の勤務先への交通手段（転入前　ご自身）



	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	409	74.6	9.0	7.3	8.3	1.0	20.5	4.2

Q11-2：世帯員の勤務先への交通手段（転入前　配偶者、パートナー）



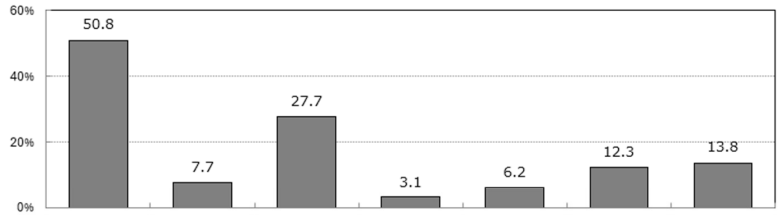
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	171	69.0	8.2	8.8	7.6	0.6	17.5	7.6

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

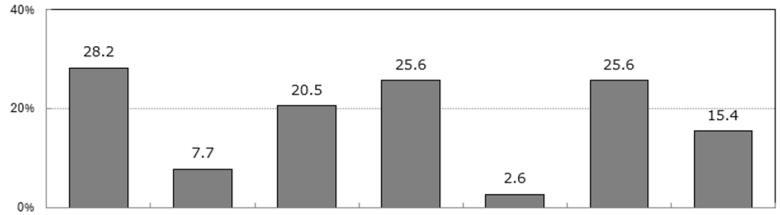
世帯員の勤務先への交通手段(転入前)について、父親は「鉄道」が50.8%と最も多く、次いで「自家用車」が27.7%、母親は「鉄道」が28．2%と最も多く、次いで「自転車」「徒歩」が25.6%、「自家用車」が20.5%となっている。

Q11-3:世帯員の勤務先への交通手段(転入前　父親)



	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	65	50.8	7.7	27.7	3.1	6.2	12.3	13.8

Q11-4:世帯員の勤務先への交通手段(転入前　母親)



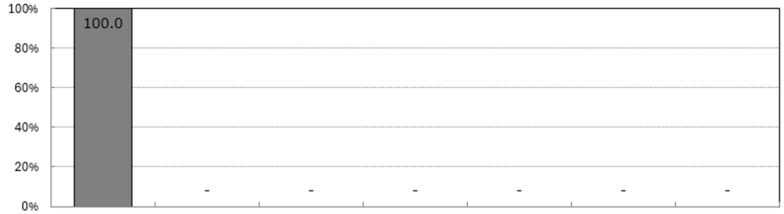
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	39	28.2	7.7	20.5	25.6	2.6	25.6	15.4

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

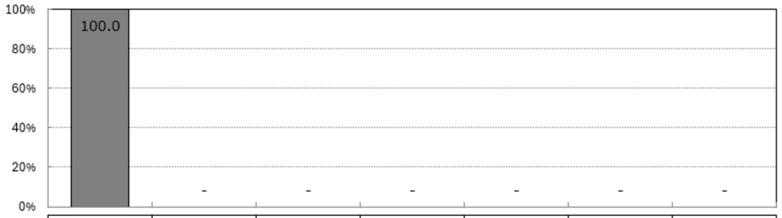
世帯員の勤務先への交通手段(転入前)について、配偶者・パートナーの父は「鉄道」が100%、配偶者・パートナーの母も「鉄道」が100%となっている。

Q11-5:世帯員の勤務先への交通手段(転入前　配偶者・パートナーの父)



	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q11-6:世帯員の勤務先への交通手段(転入前　配偶者・パートナーの母)



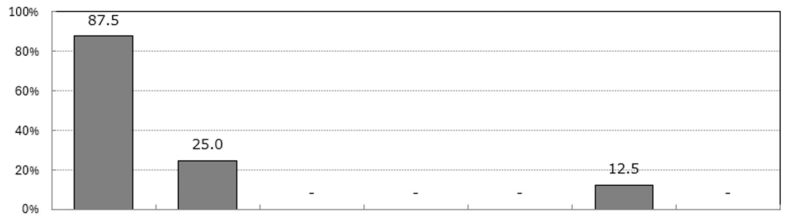
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

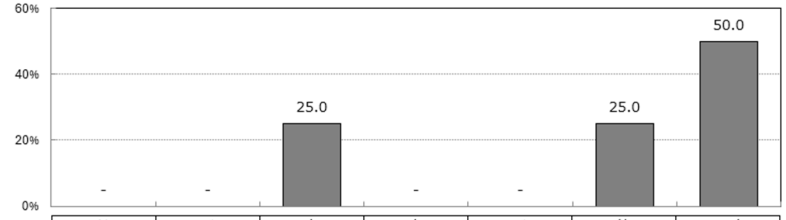
世帯員の勤務先への交通手段(転入前)について、子どもは「鉄道」が87.5%と最も多く、次いで「バス」が25%、祖父は「自宅(移動なし)」が50%と最も多く、次いで「自家用車」「徒歩」が25%となっている。

Q11-7:世帯員の勤務先への交通手段(転入前　子ども)



	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅(移動なし)
合計	8	87.5	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0

Q11-8:世帯員の勤務先への交通手段(転入前　祖父)



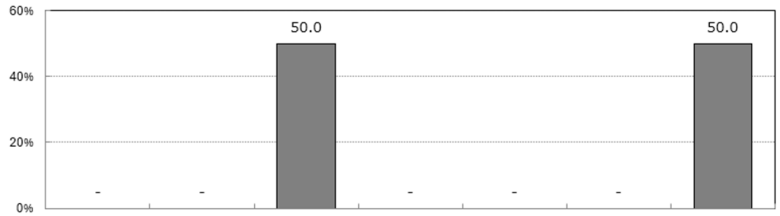
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅(移動なし)
合計	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

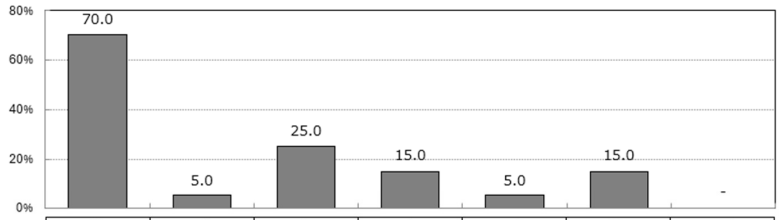
世帯員の勤務先への交通手段(転入前)は、祖母は「自家用車」「自宅(移動なし)」が50%、兄姉は「鉄道」70%と最も多く、次いで「自家用車」が25%、「自転車」「徒歩」15%となっている。

Q11-9:世帯員の勤務先への交通手段(転入前　祖母)



	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅(移動なし)
合計	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0

Q11-10:世帯員の勤務先への交通手段(転入前　兄姉)



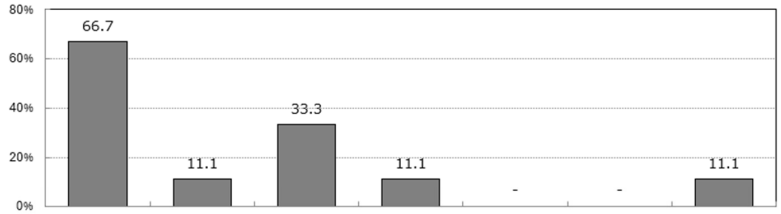
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅(移動なし)
合計	20	70.0	5.0	25.0	15.0	5.0	15.0	0.0

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

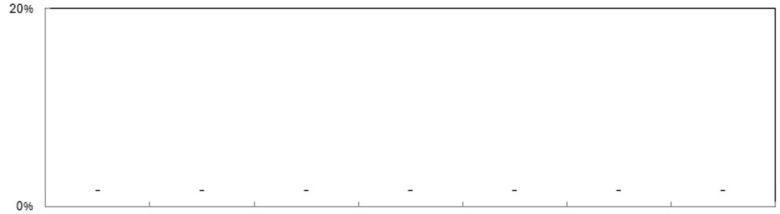
世帯員の勤務先への交通手段(転入前)は、弟妹は「鉄道」が66.7%と最も多く、次いで「自家用車」が33.3%となっている。※孫は該当者なし

Q11-11:世帯員の勤務先への交通手段(転入前　弟妹)



	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅(移動なし)
合計	9	66.7	11.1	33.3	11.1	0.0	0.0	11.1

Q11-12:世帯員の勤務先への交通手段(転入前　孫)



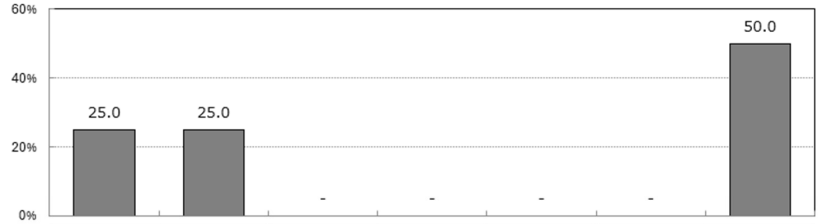
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅(移動なし)
合計	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段(転入前)は、その他は「自宅(移動なし)」が50%と最も多く、次いで「鉄道」「バス」が25%となっている。

Q11-13:世帯員の勤務先への交通手段(転入前　その他)



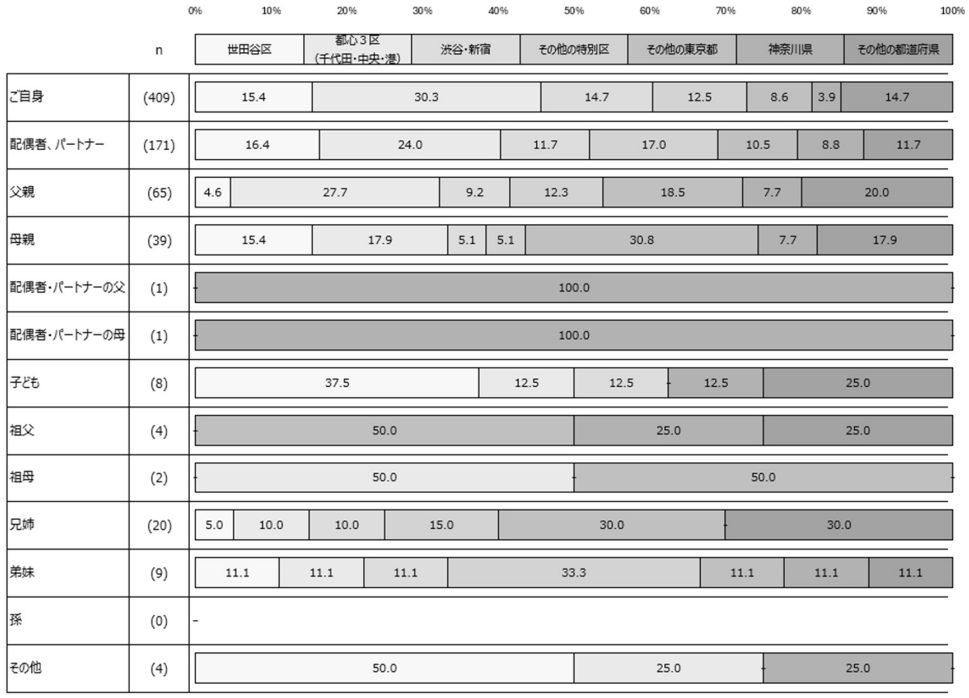
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅(移動なし)
合計	4	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

世帯員の勤務地自治体（転入前）

世帯員の勤務地自治体（転入前）

世帯員の勤務地自治体について、「ご自身」「配偶者、パートナー」「父親」「祖母」は「都心3区（千代田・中央・港）の割合が大きい。

Q12：世帯員の勤務地自治体（転入前）

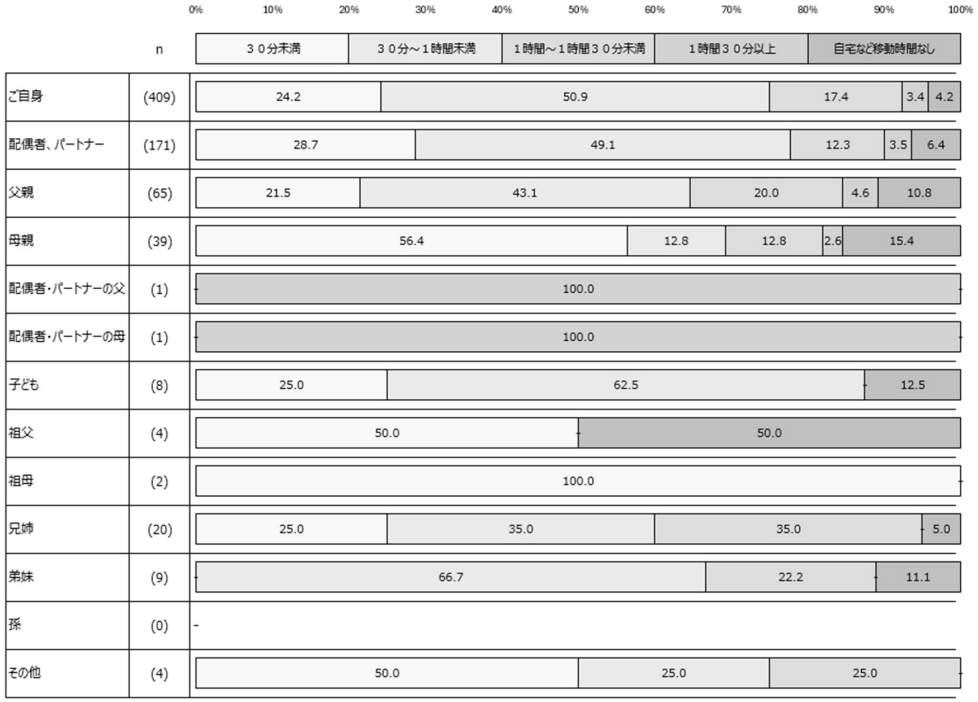


世帯員の通勤の所要時間（転入前）

世帯員の通勤の所要時間（転入前）

世帯員の通勤の所要時間について、「配偶者・パートナーの父」「配偶者・パートナーの母」以外は1時間未満の半数を占めている。

Q13：世帯員の通勤の所要時間（転入前）

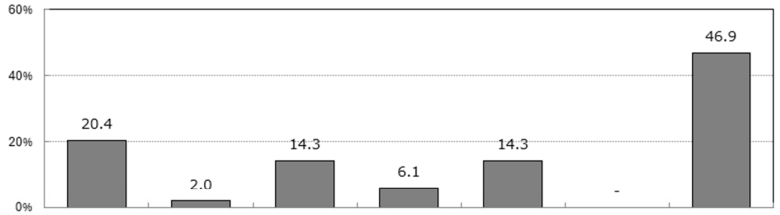


通学通園先への交通手段

通学通園先への交通手段

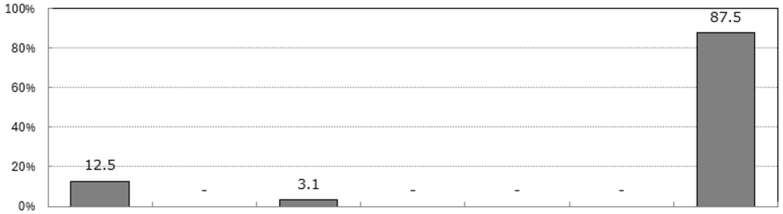
通学通園先への交通手段(転入前)は、子ども(幼稚園・保育園)は「徒歩」が46.9%と最も多く、次いで「鉄道」20.4%、「バス(スクールバス)」「自転車」が14.3%、子ども(小学1～3年生)は「徒歩」87.5%が最も多くなっている。

Q14-1:通学通園先への交通手段(転入前　子ども(幼稚園・保育園))



	n	鉄道	バス(公共交通のバス)	バス(スクールバス)	自家用車	自転車	バイク	徒歩
合計	49	20.4	2.0	14.3	6.1	14.3	0.0	46.9

Q14-2:通学通園先への交通手段(転入前　子ども(小学1～3年生))



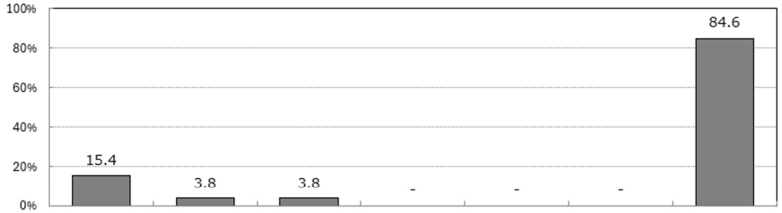
	n	鉄道	バス(公共交通のバス)	バス(スクールバス)	自家用車	自転車	バイク	徒歩
合計	32	12.5	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	87.5

通学通園先への交通手段

通学通園先への交通手段

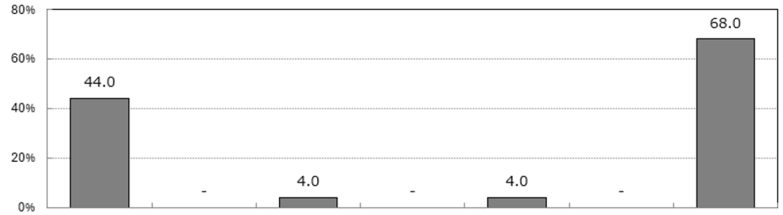
通学通園先への交通手段(転入前)は、子ども(小学4～6年生)は「徒歩」が84.6%、子ども(中学生)は「徒歩」が68%と最も多く、次いで「鉄道」44%となっている。

Q14-3:通学通園先への交通手段(転入前　子ども(小学4～6年生))



	n	鉄道	バス(公共交通のバス)	バス(スクールバス)	自家用車	自転車	バイク	徒歩
合計	26	15.4	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	84.6

Q14-4:通学通園先への交通手段(転入前　子ども(中学生))



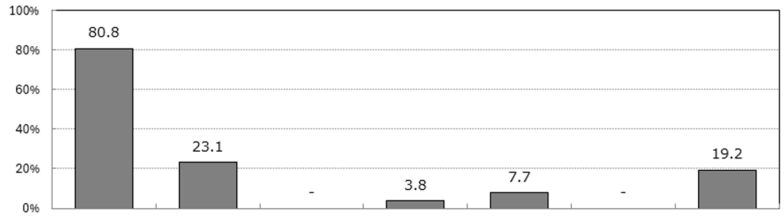
	n	鉄道	バス(公共交通のバス)	バス(スクールバス)	自家用車	自転車	バイク	徒歩
合計	25	44.0	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0	68.0

通学通園先への交通手段

通学通園先への交通手段

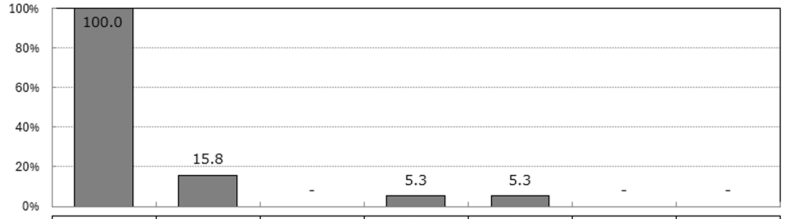
通学通園先への交通手段(転入前)は、子ども(高校生)は「鉄道」が80. 8%、子ども(専門学校、短大、大学、大学院生の学生)も「鉄道」100%が最も多くなっている。

Q14-5:通学通園先への交通手段(転入前　子ども(高校生))



	n	鉄道	バス(通のバス)	バス(スクールバス)	自家用車	自転車	バイク	徒歩
合計	26	80.8	23.1	0.0	3.8	7.7	0.0	19.2

Q14-6:通学通園先への交通手段(転入前　子ども(専門学校、短大、大学、大学院生の学生))



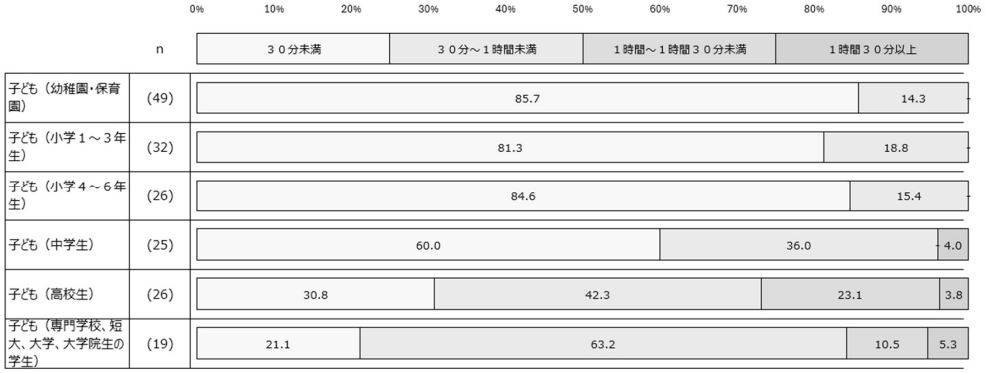
	n	鉄道	バス(通のバス)	バス(スクールバス)	自家用車	自転車	バイク	徒歩
合計	19	100.0	15.8	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0

通学通園先への所要時間(転入前)

通学通園先への所要時間(転入前)

通学通園先への所要時間について、幼稚園・保育園から中学生までは「30分未満」が60%以上を占めている。高校生からは「30分～1時間未満」の割合が大きくなっている。

Q15:通学通園先への所要時間(転入前)

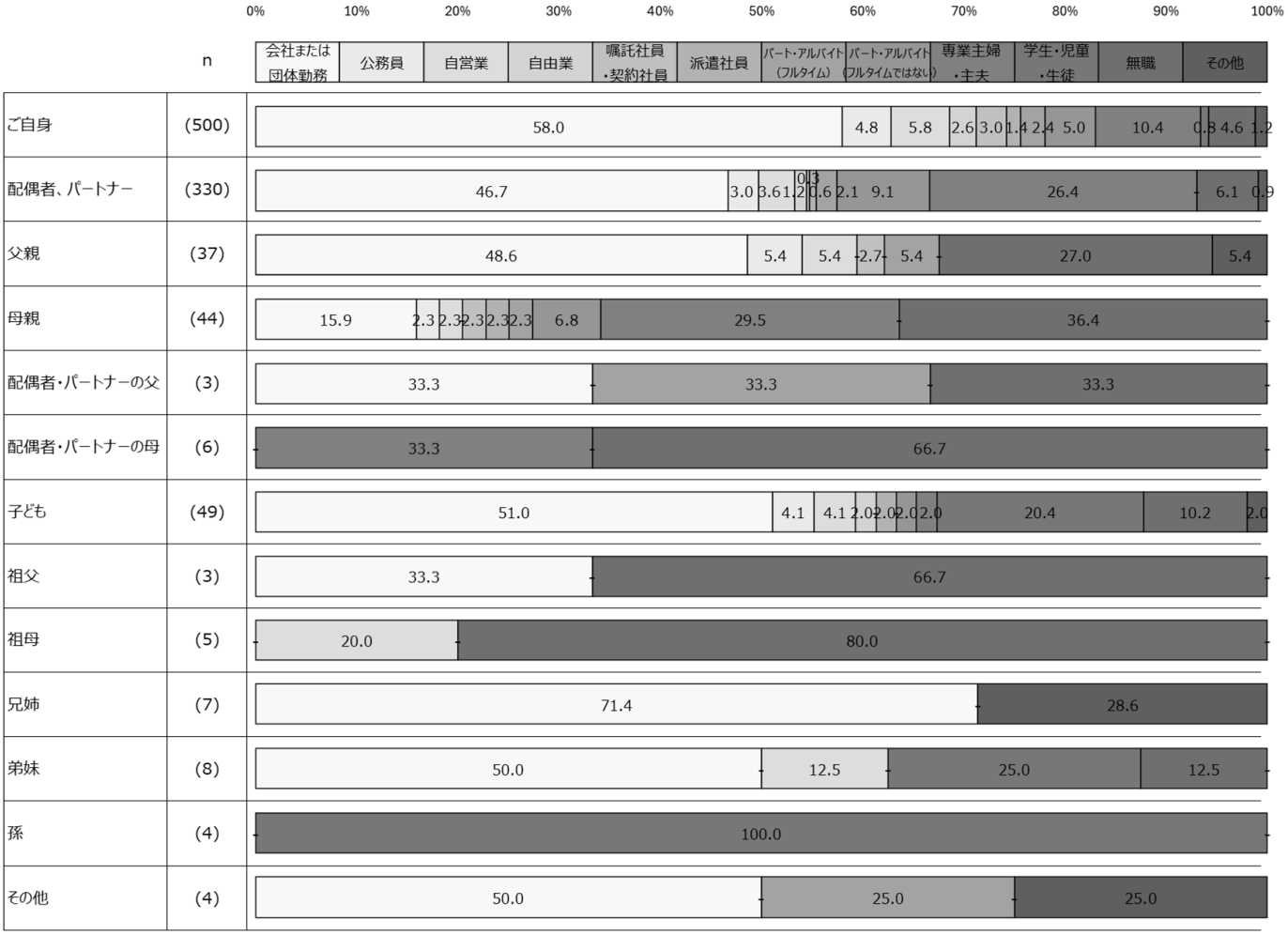


世帯員の職業（転入後）

世帯員の職業（転入後）

「ご自身」「配偶者、パートナー」「父親」「子ども」「兄妹」「弟妹」「その他」は「会社または団体勤務」の割合が最も大きくなっている。

Q16：世帯員の職業（転入後）

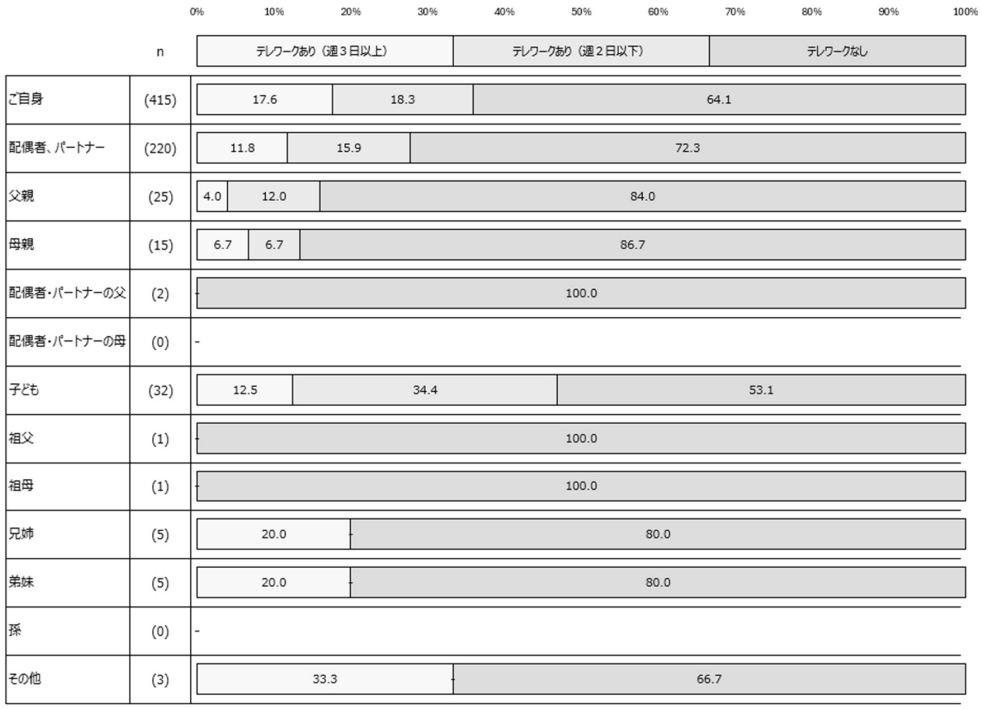


世帯員のテレワーク実施状況(転入後)

世帯員のテレワーク実施状況(転入後)

世帯員のテレワーク実施状況は、「テレワークなし」が過半数を占めている。

Q17:世帯員のテレワーク実施状況(転入後)

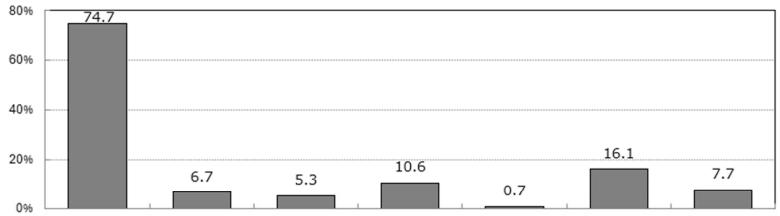


世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

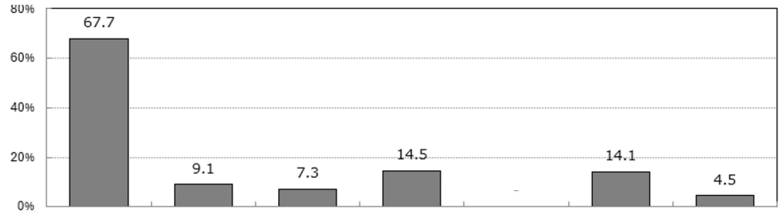
世帯員の勤務先への交通手段(転入後)について、ご自身は「鉄道」が74.7%、配偶者、パートナーも「鉄道」が67.7%と最も多くなっている。

Q18-1:世帯員の勤務先への交通手段(転入後　ご自身)



	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	415	74.7	6.7	5.3	10.6	0.7	16.1	7.7

Q18-2:世帯員の勤務先への交通手段(転入後　配偶者、パートナー)



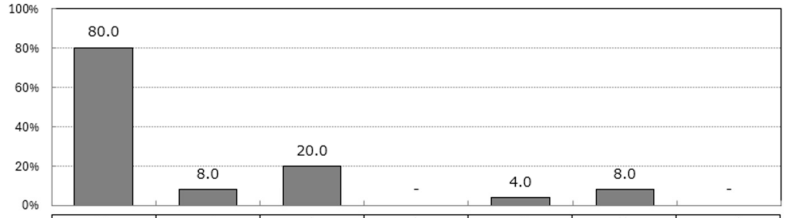
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	220	67.7	9.1	7.3	14.5	0.0	14.1	4.5

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

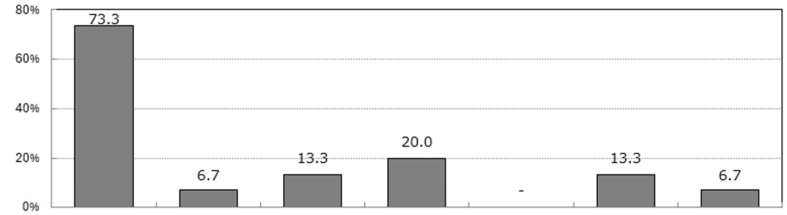
世帯員の勤務先への交通手段(転入後)について、父親は「鉄道」が80%と最も多く、次いで「自家用車」が20%、母親は「鉄道」が73.3%と最も多く、次いで「自転車」が20%となっている。

Q18-3:世帯員の勤務先への交通手段(転入後　父親)



	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	25	80.0	8.0	20.0	0.0	4.0	8.0	0.0

Q18-4:世帯員の勤務先への交通手段(転入後　母親)



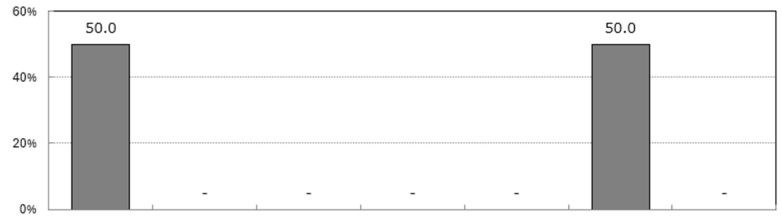
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	15	73.3	6.7	13.3	20.0	0.0	13.3	6.7

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

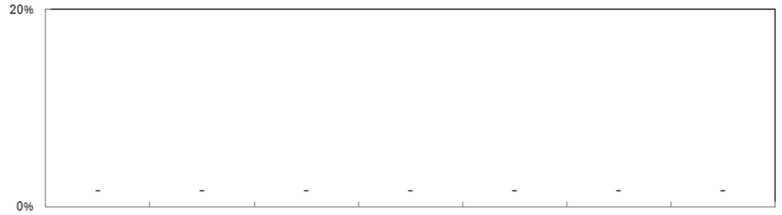
世帯員の勤務先への交通手段(転入後)について、配偶者・パートナーの父は「鉄道」「徒歩」が50%となっている。※配偶者・パートナーの母は該当者なし

Q18-5:世帯員の勤務先への交通手段(転入後　配偶者・パートナーの父)



	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

Q18-6:世帯員の勤務先への交通手段(転入後　配偶者・パートナーの母)



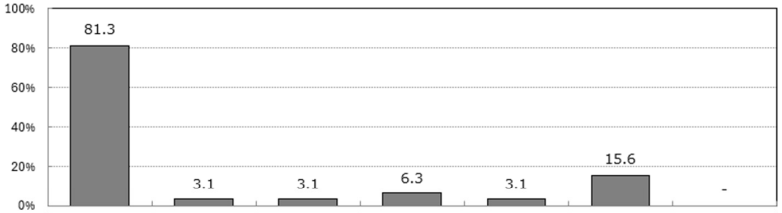
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

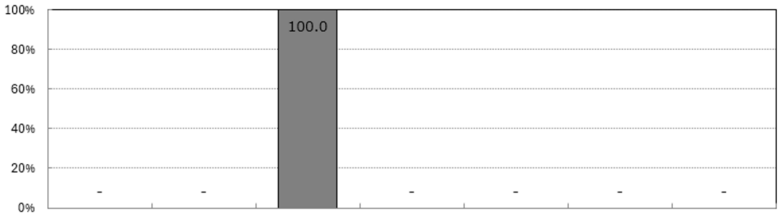
世帯員の勤務先への交通手段(転入後)について、子どもは「鉄道」が81.3%、祖父は「自家用車」が100%と最も多くなっている。

Q18-7:世帯員の勤務先への交通手段(転入後　子ども)



	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅(移動なし)
合計	32	81.3	3.1	3.1	6.3	3.1	15.6	0.0

Q18-8:世帯員の勤務先への交通手段(転入後　祖父)



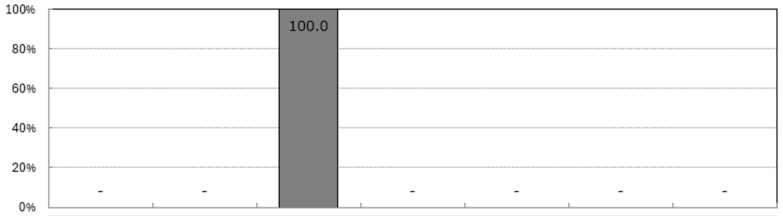
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅(移動なし)
合計	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

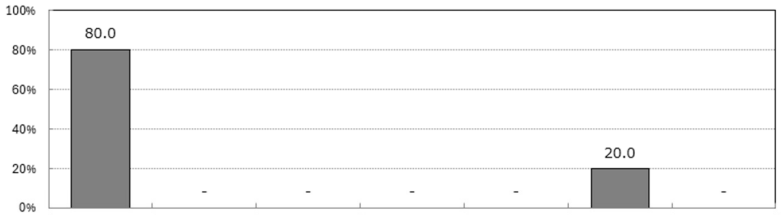
世帯員の勤務先への交通手段(転入前)は、祖母は「自家用車」が100%、兄姉は「鉄道」80%と最も多くなっている。

Q18-9:世帯員の勤務先への交通手段(転入後　祖母)



	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅(移動なし)
合計	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q18-10:世帯員の勤務先への交通手段(転入後　兄姉)



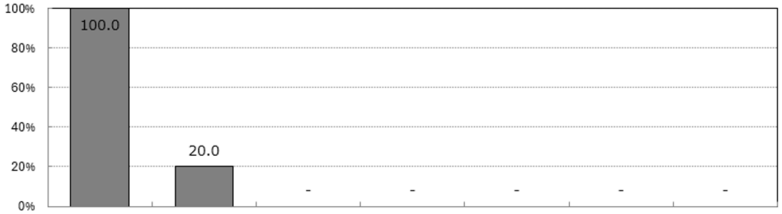
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅(移動なし)
合計	5	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

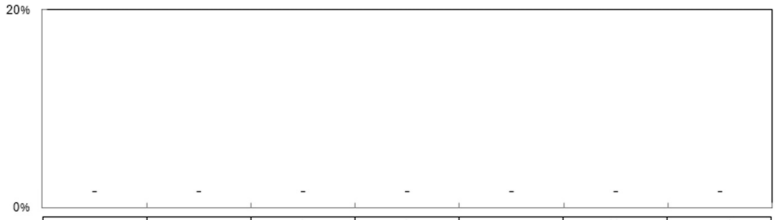
世帯員の勤務先への交通手段(転入前)は、弟妹は「鉄道」が100%と最も多く、次いで「バス」が20%となっている。※孫は該当者なし

Q18-11:世帯員の勤務先への交通手段(転入後　弟妹)



	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	5	100.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q18-12:世帯員の勤務先への交通手段(転入後　孫)



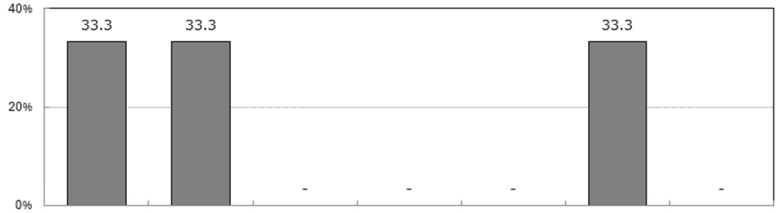
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段(転入前)は、その他は「鉄道」「バス」「徒歩」が33.3%となっている。

Q18-13:世帯員の勤務先への交通手段(転入後　その他)



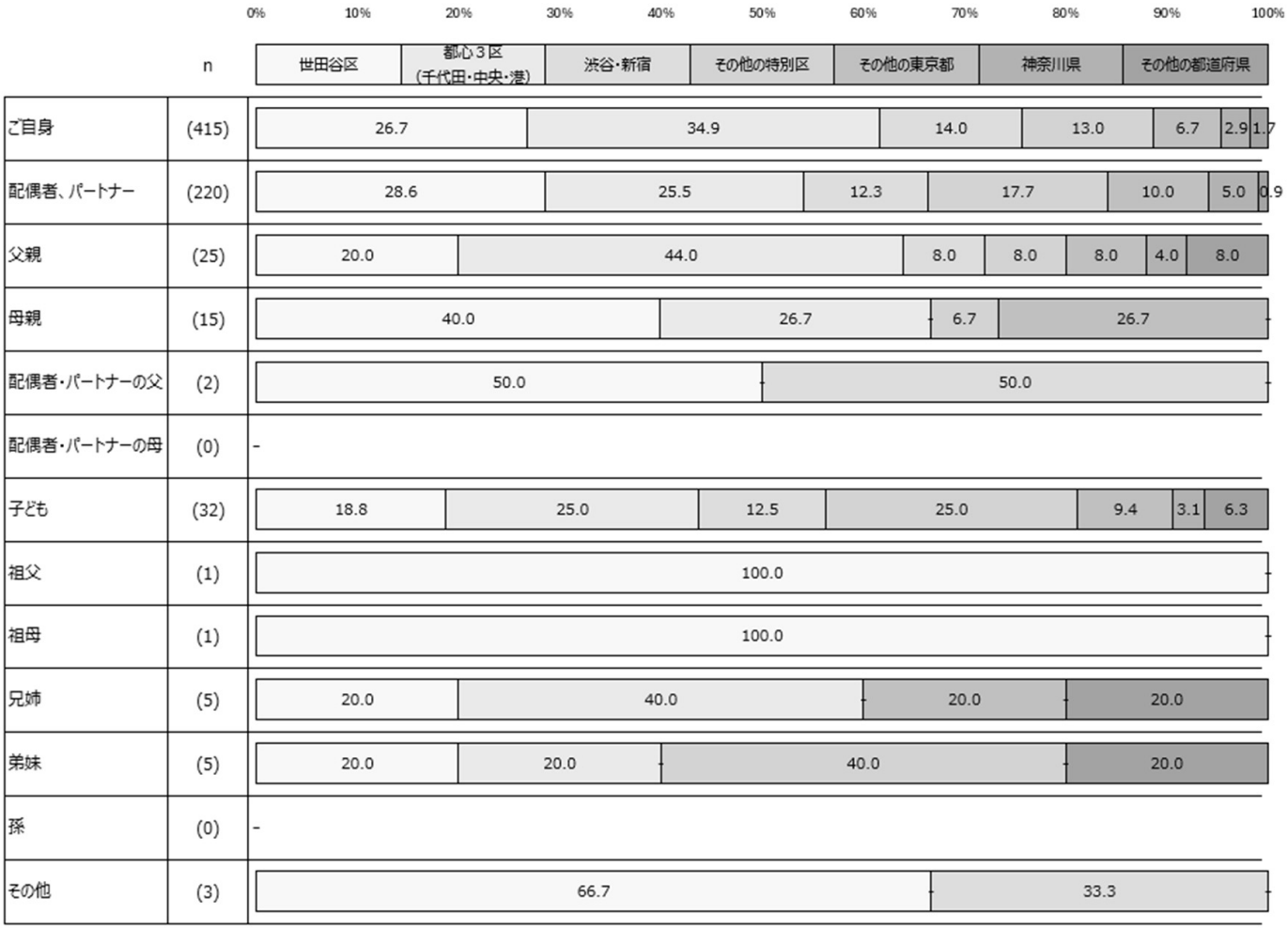
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0

世帯員の勤務地自治体（転入後）

世帯員の勤務地自治体（転入後）

「世田谷区」「都心3区（千代田区・中央・港）」「渋谷・新宿」で半数を占めている。

Q19：世帯員の勤務地自治体（転入後）

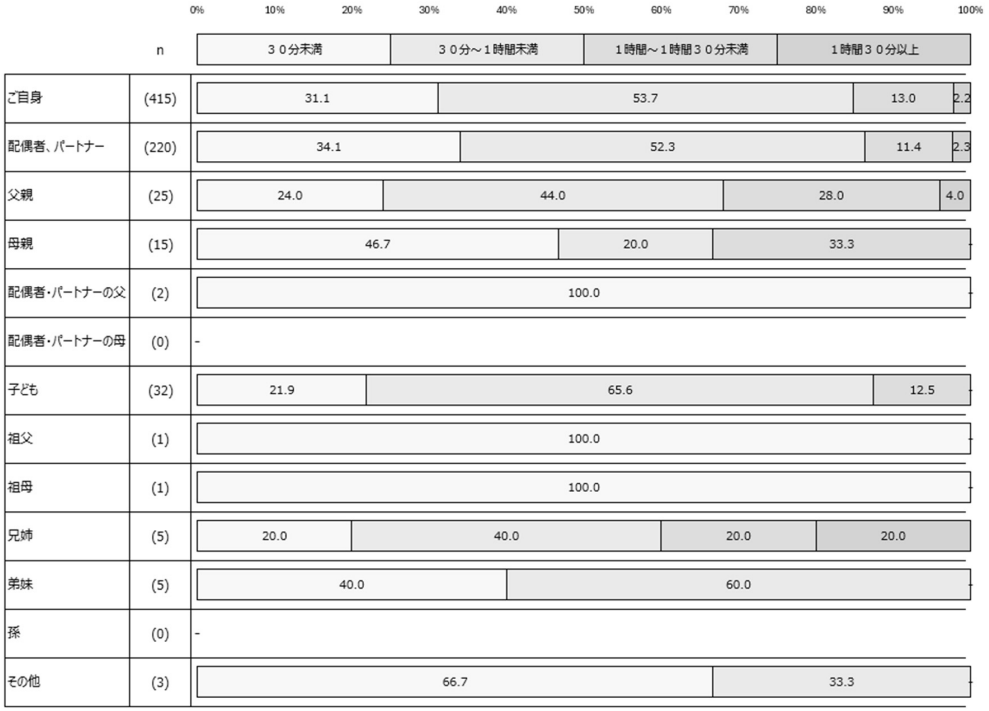


世帯員の通勤の所要時間(転入後)

世帯員の通勤の所要時間(転入後)

世帯員の通勤の所要時間について、1時間未満が60%以上を占めている。

Q20:世帯員の通勤の所要時間(転入後)

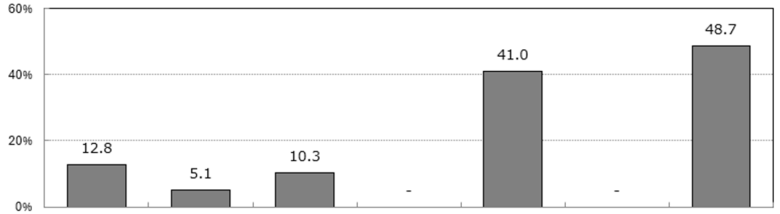


通学通園先への交通手段(転入後　子ども)

通学通園先への交通手段(転入後　子ども)

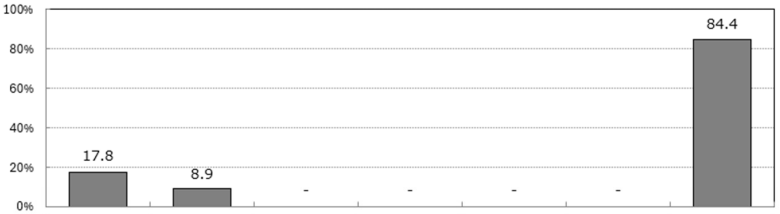
通学通園先への交通手段(転入後)は、子ども(幼稚園・保育園)は「徒歩」が48.7%と最も多く、次いで「自転車」41%、子ども(小学1～3年生)は「徒歩」84.4%が最も多くなっている。

Q21-1:通学通園先への交通手段(転入後　子ども(幼稚園・保育園))



	n	鉄道	バス(公共交通のバス)	バス(スクールバス)	自家用車	自転車	バイク	徒歩
合計	39	12.8	5.1	10.3	0.0	41.0	0.0	48.7

Q21-2:通学通園先への交通手段(転入後　子ども(小学1～3年生))



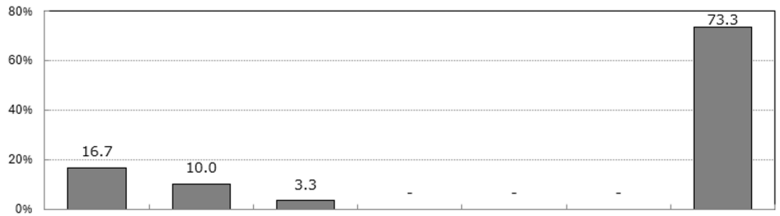
	n	鉄道	バス(公共交通のバス)	バス(スクールバス)	自家用車	自転車	バイク	徒歩
合計	45	17.8	8.9	0.0	0.0	0.0	0.0	84.4

通学通園先への交通手段(転入後　子ども)

通学通園先への交通手段(転入後　子ども)

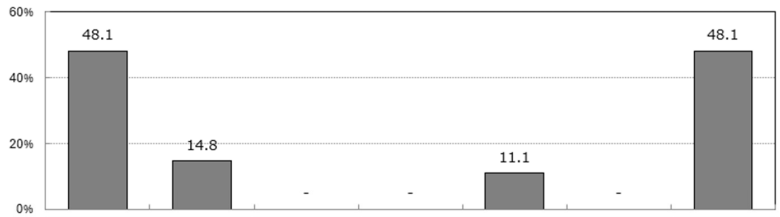
通学通園先への交通手段(転入後)は、子ども(小学4～6年生)は「徒歩」が73. 3%、子ども(中学生)は「徒歩」「鉄道」48.1%が最も多くなっている。

Q21-3:通学通園先への交通手段(転入後　子ども(小学4～6年生))



	n	鉄道	バス(公共交通のバス)	バス(スクールバス)	自家用車	自転車	バイク	徒歩
合計	30	16.7	10.0	3.3	0.0	0.0	0.0	73.3

Q21-4:通学通園先への交通手段(転入後　子ども(中学生))



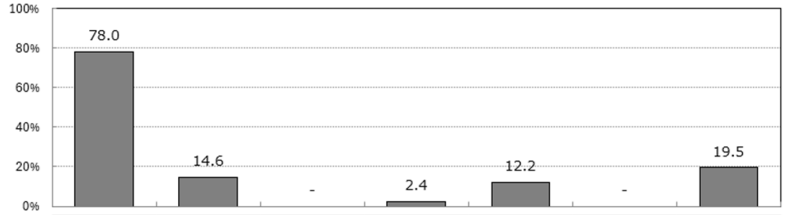
	n	鉄道	バス(公共交通のバス)	バス(スクールバス)	自家用車	自転車	バイク	徒歩
合計	27	48.1	14.8	0.0	0.0	11.1	0.0	48.1

通学通園先への交通手段(転入後　子ども)

通学通園先への交通手段(転入後　子ども)

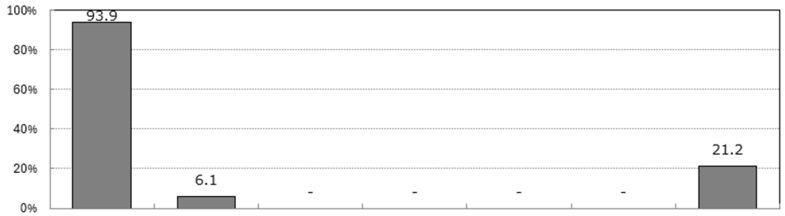
通学通園先への交通手段(転入後)は、子ども(高校生)は「鉄道」が78%、子ども(専門学校、短大、大学、大学院生の学生)も「鉄道」93. 9%が最も多くなっている。

Q21-5:通学通園先への交通手段(転入後　子ども(高校生))



	n	鉄道	バス(公共交通のバス)	バス(スクールバス)	自家用車	自転車	バイク	徒歩
合計	41	78.0	14.6	0.0	2.4	12.2	0.0	19.5

Q21-6:通学通園先への交通手段(転入後　子ども(専門学校、短大、大学、大学院生の学生))



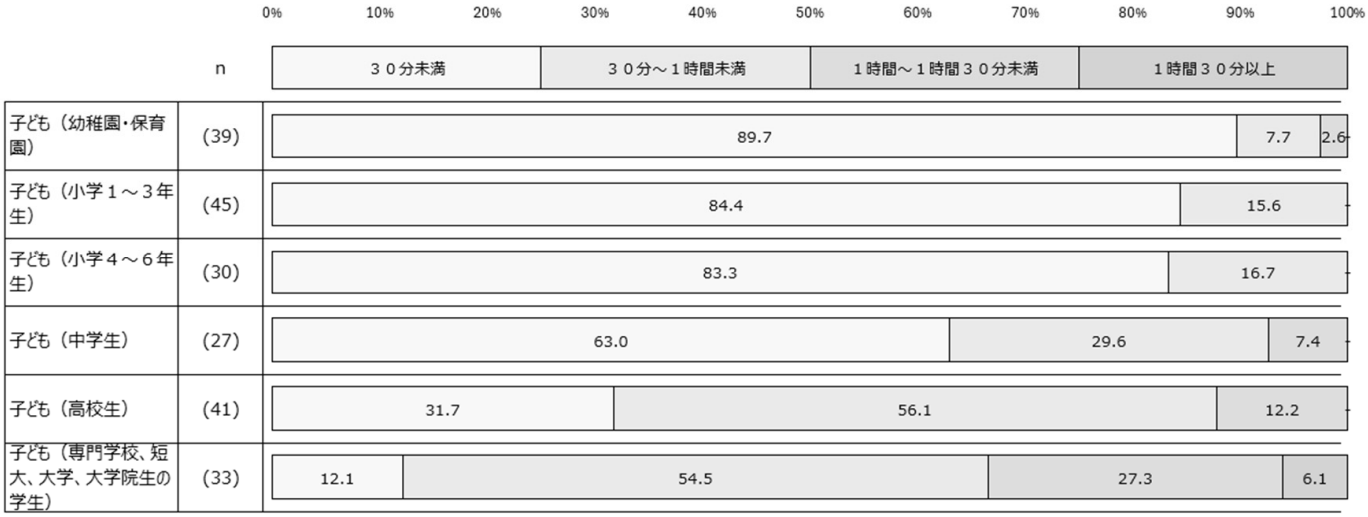
	n	鉄道	バス(公共交通のバス)	バス(スクールバス)	自家用車	自転車	バイク	徒歩
合計	33	93.9	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	21.2

通学通園先への所要時間（転入後　子ども）

通学通園先への所要時間（転入後　子ども）

通学通園先への所要時間について、幼稚園・保育園から中学生までは「30分未満」が60%以上を占めている。高校生からは「30分未満」が減少し、「30分～1時間未満」の割合が50%以上を占めている。

Q22：通学通園先への所要時間（転入前　子ども）



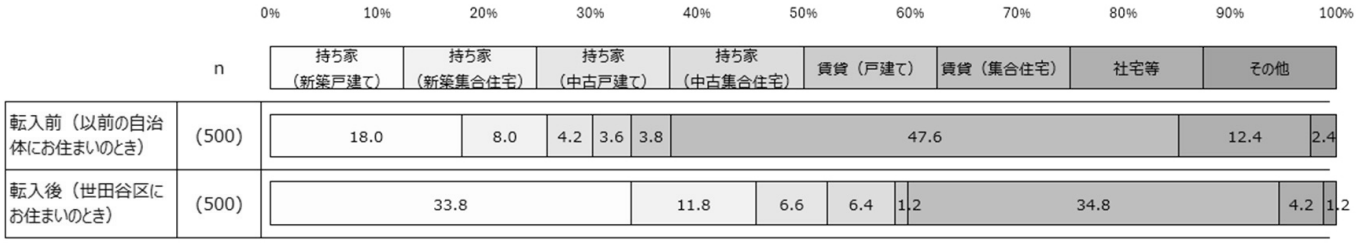
住居形態／転入後（世田谷区）の住居を探した際の条件／町会・自治会への加入

住居形態／転入後（世田谷区）の住居を探した際の条件／
町会・自治会への加入

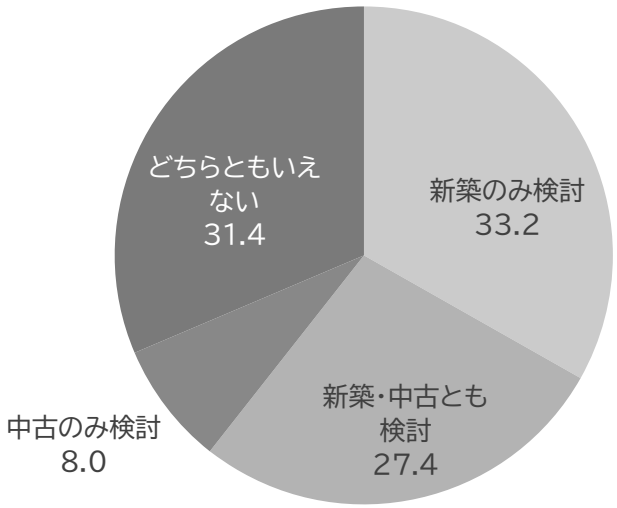
住居形態について、転入前（以前の自治体にお住まいのとき）は「賃貸（集合住宅）」が47.6％と最も多く、次いで「持ち家（新築戸建て）」が18％、「社宅等」が12.4％となっている。転入後（世田谷区にお住まいのとき）も「賃貸（集合住宅）」が34.8％と最も多く、次いで「持ち家（新築戸建て）」が33.8％となっている。

転入後（世田谷区）の住居を探した際の条件について、「新築のみ検討」が33.2％と最も多く、「新築・中古ともに検討」が27.4％となっている。

Q23：住居形態



Q25：転入後（世田谷区）の住居を探した際の条件



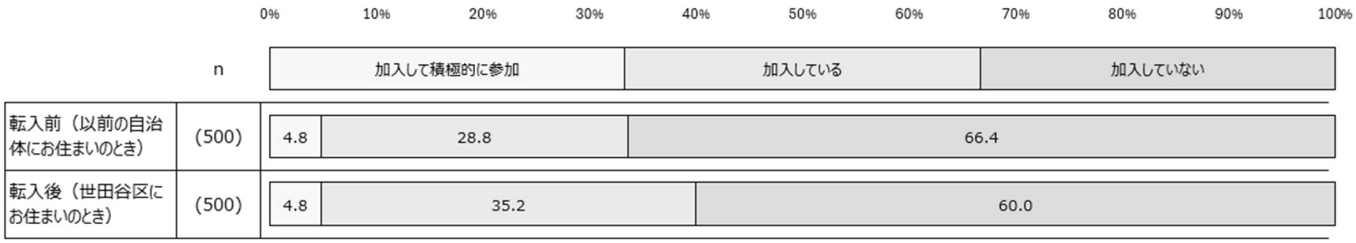
住居形態／転入後（世田谷区）の住居を探した際の条件／町会・自治会への加入

住居形態／転入後（世田谷区）の住居を探した際の条件／
町会・自治会への加入

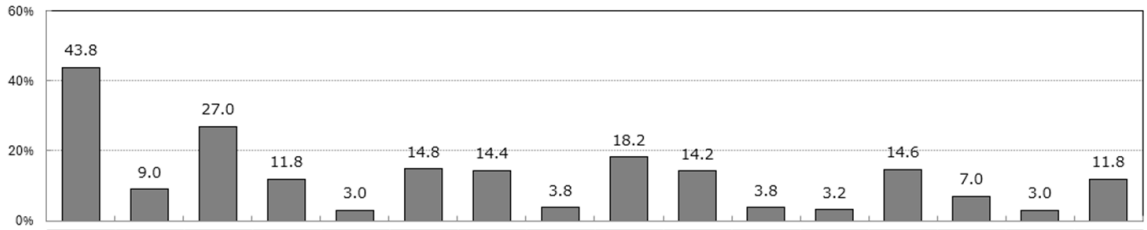
地域活動について、転入前（以前の自治体にお住まいのとき）、転入後（世田谷区にお住まいのとき）どちらも「加入していない」が60%以上を占めている。

転入前のエリアに住んでいた理由について、「通勤に便利だから」が43.8%と最も多く、次いで「都心からのアクセスがしやすいから」が27%、「家賃が手ころだから」が18.2%となっている。

Q26：町会・自治会への加入



Q27：転入前のエリアに住んでいた理由



	n	通勤に便利だから	通学に便利だから	都心へのアクセスがしやすいから	親族などがいるから	友人などがいるから	買い物、医療など生活環境が整っているから	生まれ育ったところだから	以前の自治体のエリアが好きだから	家賃が手ごろだから	間取りが適切だから	住宅の資産性が高いから	災害に安全なまちだから	治安がよく安心して暮らせる	大きな公園が充実している	子育て支援策が充実している	その他
合計	500	43.8	9.0	27.0	11.8	3.0	14.8	14.4	3.8	18.2	14.2	3.8	3.2	14.6	7.0	3.0	11.8

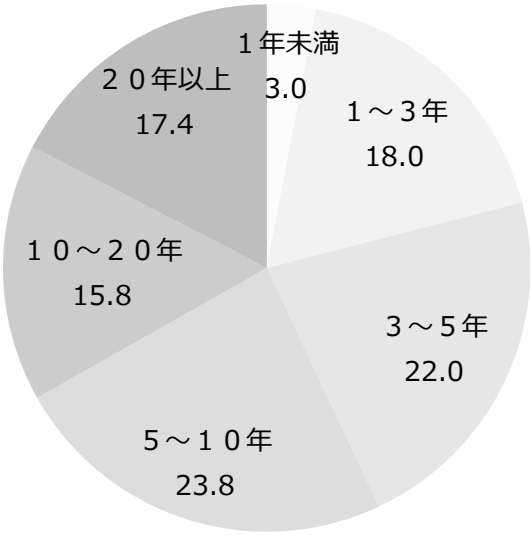
転入前のエリアに住んでいた理由／転入前のエリアに住んでいた期間／転入前のエリアに対する不満点

転入前のエリアに住んでいた理由／転入前のエリアに住んでいた期間／転入前のエリアに対する不満点

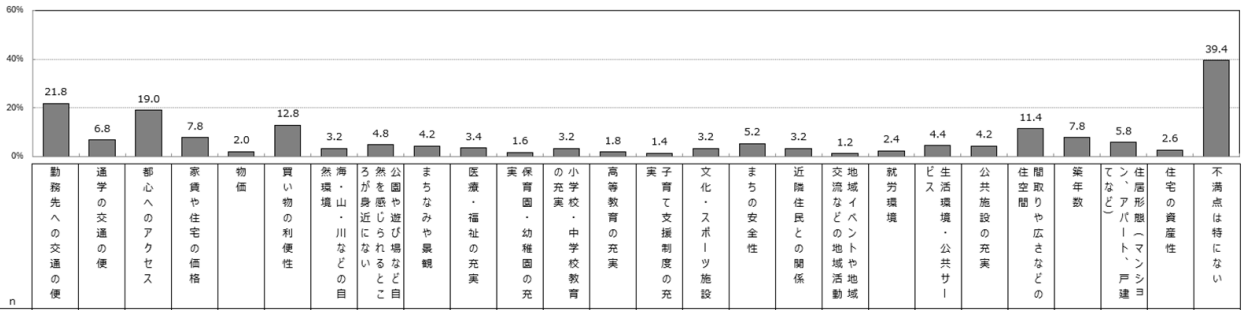
転入前のエリアに住んでいた期間について、「5～10年」が23.8%と最も多く、次いで「3～5年」が22%、「1～3年」が18%となっている。

転入前のエリアに対する不満点について、「特に不満はない」が39.4%と最も多く、次いで「勤務先への交通の便」が21.8%、「都心へのアクセス」が19%となっている。

Q28：転入前のエリアに住んでいた期間



Q29：転入前のエリアに対する不満点



	n	勤務先への交通の便	通学の交通の便	都心へのアクセス	家賃や住宅の価格	物価	買い物の利便性	海・山・川などの自然環境	公園や遊び場など自然を感じられるところが身近にない	まちなみや景観	医療・福祉の充実	保育園・幼稚園の充実	小学校・中学校教育の充実	高等教育の充実	子育て支援制度の充実	文化・スポーツ施設	まちの安全性	近隣住民との関係	地域イベントや地域交流などの地域活動	就労環境	生活環境・公共サービス	公共施設の充実	間取りや広さなどの住空間	築年数	住居形態（マンション、アパートなど）	住宅の資産性	不満点は特にない
合計	500	21.8	6.8	19.0	7.8	2.0	12.8	3.2	4.8	4.2	3.4	1.6	3.2	1.8	1.4	3.2	5.2	3.2	1.2	2.4	4.4	4.2	11.4	7.8	5.8	2.6	39.4

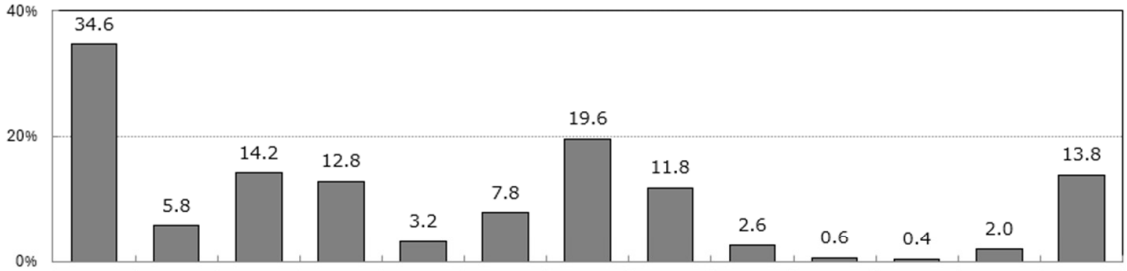
引っ越しするきっかけとなった理由

引っ越しするきっかけとなった理由

引っ越しするきっかけとなった理由について、「就職・転職などの仕事のため」が34.6%と最も多く、次いで「住宅購入のため」が19.6%、「結婚のため」が14.2%となっている。

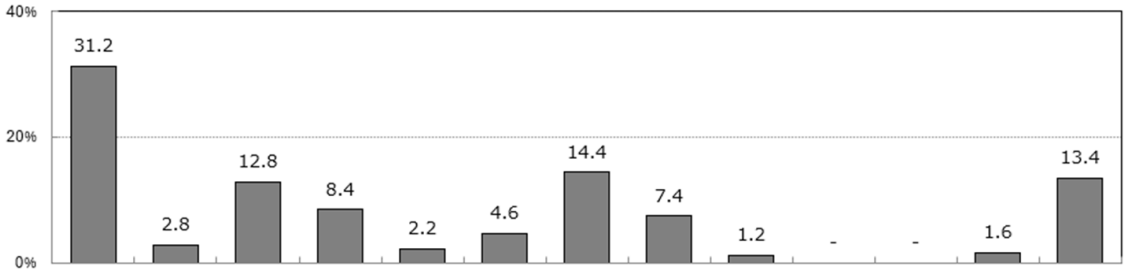
引っ越しするきっかけとなった理由(最も)について、「就職・転職などの仕事のため」が31.2%と最も多く、次いで「住宅購入のため」が14.4%、「その他」13.4%となっている。

Q30-1：引っ越しするきっかけとなった理由



	n	就職・転勤などの仕事のため	進学のため	結婚のため	子育てやこどもの教育のため	親の介護のため	親や親族との近居・同居のため	住宅購入のため	住まいが手狭になったため	第一子出産のため	第二子以降の出産のため	コロナ禍による在宅勤務が増えたため	コロナ禍の影響により収入が減ったため	その他
合計	500	34.6	5.8	14.2	12.8	3.2	7.8	19.6	11.8	2.6	0.6	0.4	2.0	13.8

Q30-2：引っ越しするきっかけとなった理由（最も）



	n	就職・転勤などの仕事のため	進学のため	結婚のため	子育てやこどもの教育のため	親の介護のため	親や親族との近居・同居のため	住宅購入のため	住まいが手狭になったため	第一子出産のため	第二子以降の出産のため	コロナ禍による在宅勤務が増えたため	コロナ禍の影響により収入が減ったため	その他
合計	500	31.2	2.8	12.8	8.4	2.2	4.6	14.4	7.4	1.2	0.0	0.0	1.6	13.4

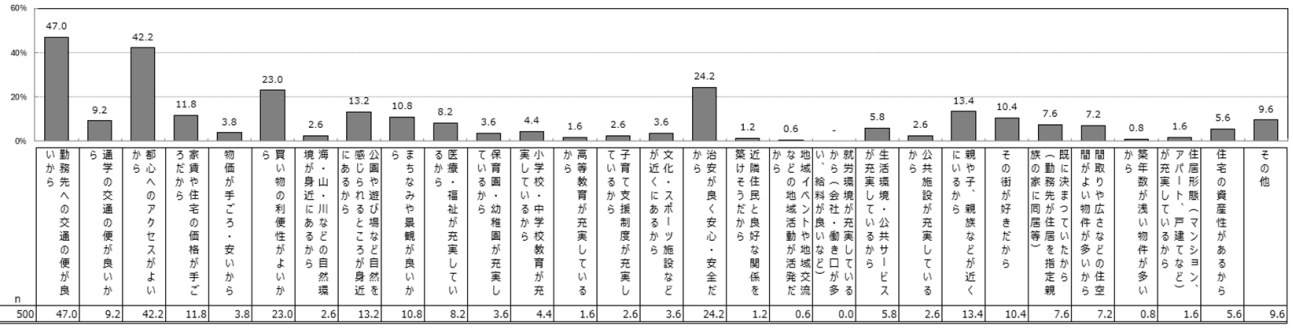
世田谷区を選んだ理由

世田谷区を選んだ理由

世田谷区を選んだ理由について、「勤務先への交通の便が良いから」が47%と最も多く、次いで「都心へのアクセスがよいから」が42.2%、「治安が良く安心・安全だから」24.2%となっている。

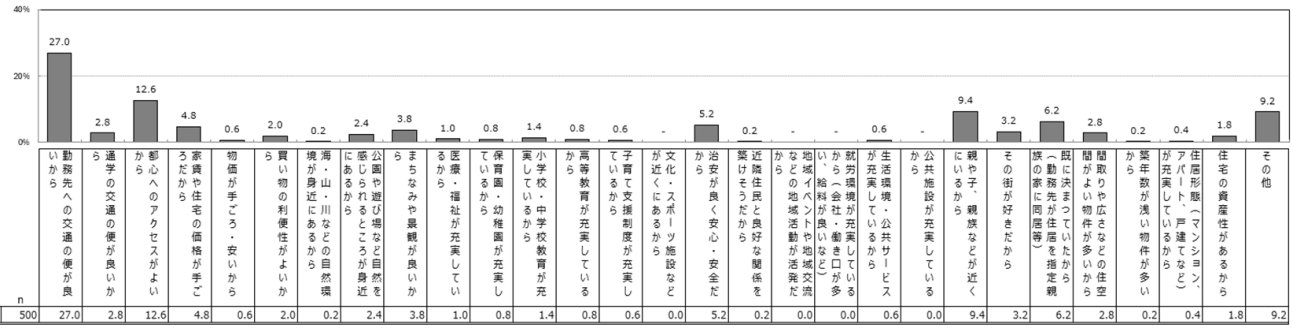
世田谷区を選んだ理由(最も)について、「勤務先への交通の便が良いから」が27%と最も多く、次いで「都心へのアクセスがよいから」が12. 6%、「親や子、親族などが近くにいるから」が9.4%となっている。

Q31-1：世田谷区を選んだ理由



	n	勤務先への交通の便が良いから	通学の交通の便が良いから	都心へのアクセスがよいから	家賃や住宅の価格が手ごろだから	物価が手ごろ・安いから	買い物の利便性がよいから	海・山・川などの自然環境が身近にあるから	公園や遊び場など自然を感じられるところが身近にあるから	まちなみや景観が良いから	医療・福祉が充実しているから	保育園・幼稚園が充実しているから	小学校・中学校教育が充実しているから	高等教育が充実しているから	子育て支援制度が充実しているから	文化・スポーツ施設などが近くにあるから	治安が良く安心・安全だから	近隣住民と良好な関係を築けそうだから	地域イベントや地域交流などの地域活動が活発だから	就労環境が充実しているから(会社・働き口が多い、給料が良いなど)	生活環境・公共サービスが充実しているから	公共施設が充実しているから	親や子、親族などが近くにいるから	その街が好きだから	既に決まっていたから(勤務先が住居を指定、親族の家に同居等)	間取りや広さなどの住空間がよい物件が多いから	築年数が浅い物件が多いから	住居形態(マンション、アパート、戸建てなど)が充実しているから	住宅の資産性があるから	その他
合計	500	47.0	9.2	42.2	11.8	3.8	23.0	2.6	13.2	10.8	8.2	3.6	4.4	1.6	2.6	3.6	24.2	1.2	0.6	0.0	5.8	2.6	13.4	10.4	7.6	7.2	0.8	1.6	5.6	9.6

Q31-2：世田谷区を選んだ理由(最も)



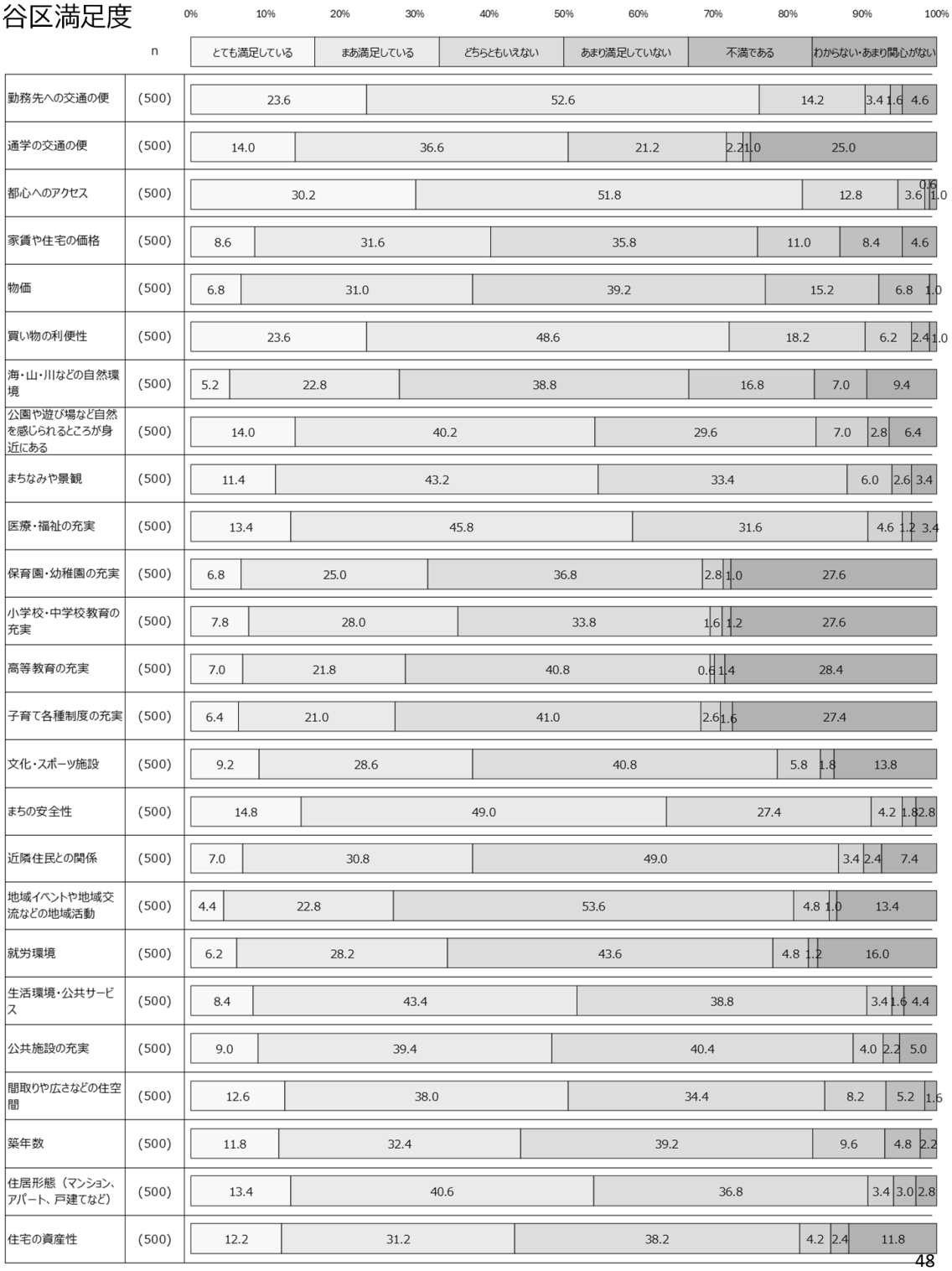
	n	勤務先への交通の便が良いから	通学の交通の便が良いから	都心へのアクセスがよいから	家賃や住宅の価格が手ごろだから	物価が手ごろ・安いから	買い物の利便性がよいから	海・山・川などの自然環境が身近にあるから	公園や遊び場など自然を感じられるところが身近にあるから	まちなみや景観が良いから	医療・福祉が充実しているから	保育園・幼稚園が充実しているから	小学校・中学校教育が充実しているから	高等教育が充実しているから	子育て支援制度が充実しているから	文化・スポーツ施設などが近くにあるから	治安が良く安心・安全だから	近隣住民と良好な関係を築けそうだから	地域イベントや地域交流などの地域活動が活発だから	就労環境が充実しているから(会社・働き口が多い、給料が良いなど)	生活環境・公共サービスが充実しているから	公共施設が充実しているから	親や子、親族などが近くにいるから	その街が好きだから	既に決まっていたから(勤務先が住居を指定、親族の家に同居等)	間取りや広さなどの住空間がよい物件が多いから	築年数が浅い物件が多いから	住居形態(マンション、アパート、戸建てなど)が充実しているから	住宅の資産性があるから	その他
合計	500	27.0	2.8	12.6	4.8	0.6	2.0	0.2	2.4	3.8	1.0	0.8	1.4	0.8	0.6	0.0	5.2	0.2	0.0	0.0	0.6	0.0	9.4	3.2	6.2	2.8	0.2	0.4	1.8	9.2

世田谷区満足度

世田谷区満足度

満足度について、「とても満足している」「まあ満足している」あわせて「都心へのアクセス」が82%と最も高く、次いで「勤務先への交通の便」76．2%、「買い物の利便性」72．2%となっている。

Q32：世田谷区満足度

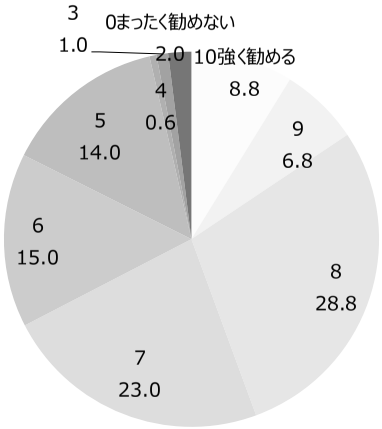


世田谷区の推奨度

世田谷区の推奨度

世田谷区の推奨度について、10段階評価中「8」が28. 8%と最も多く、次いで「7」が23%、「6」が15%となっている。

Q33：世田谷区の推奨度



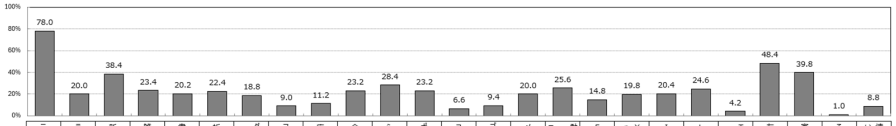
情報収集手段／自治体情報収集手段／コロナの引っ越し先住居の決定への影響度

情報収集手段／自治体情報収集手段／コロナの引っ越し先住居の決定への影響度

情報収集手段について、「テレビ」が78%と最も多く、次いで「友人・知人」が48.4%、「家族」39. 8%となっている。

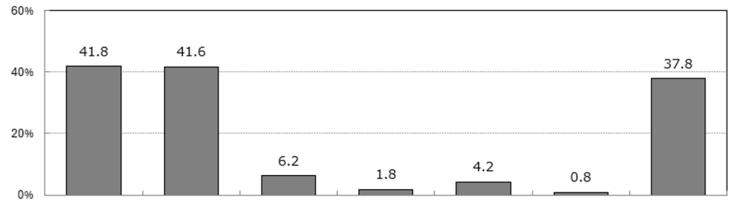
自治体情報収集手段について、「区公式HP」が41.8%が最も多く、次いで「区の広報」が41. 6%、「情報収集していない」が37.8%となっている。

Q34：情報収集手段



	n	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	書籍	折込チラシ	ダイレクトメール（郵便・宅配）	フリーペーパー	広報誌	企業サイト	ショッピングサイト	ポータルサイト	コミュニティサイト	ブログ	メールマガジン	動画共有サービス（YouTube、ニコニコ動画など）	Facebook	X（旧Twitter）	Instagram	LINE（ライン）	TikTok（ティックトック）	友人・知人	家族	その他	情報を収集していない
合計	500	78.0	20.0	38.4	23.4	20.2	22.4	18.8	9.0	11.2	23.2	28.4	23.2	6.6	9.4	20.0	25.6	14.8	19.8	20.4	24.6	4.2	48.4	39.8	1.0	8.8

Q35：自治体情報収集手段



	n	区公式HP	区の広報	X（旧twitter）の公式アカウント	Facebookの公式アカウント	LINE公式アカウント	その他	情報を収集していない
合計	500	41.8	41.6	6.2	1.8	4.2	0.8	37.8

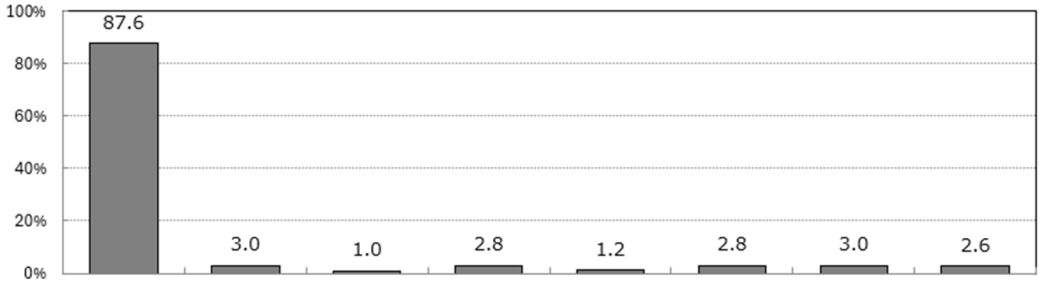
情報収集手段／自治体情報収集手段／コロナの引っ越し先住居の決定への影響度

情報収集手段／自治体情報収集手段／コロナの引っ越し先住居の決定への影響度

コロナの引っ越し先住居の決定への影響度について、「影響はなかった」が87．6％となっている。

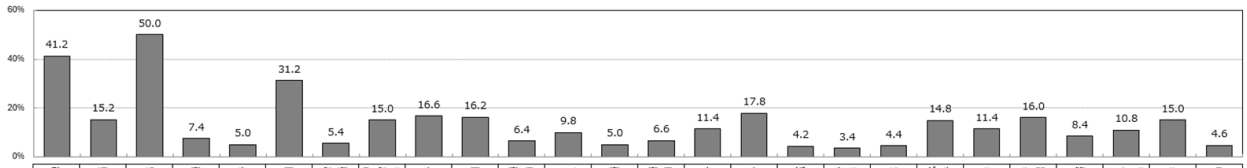
前に住んでいた自治体より世田谷区の方が良かったと思う点について、「都心へのアクセス」が50％と最も多く、次いで「勤務先への交通の便」が41．2％、「買い物の利便性」が31．2％となっている。

Q36：コロナの引っ越し先住居の決定への影響度



	n	影響はなかった	密を避けるために広い住宅や間取りを選択した	密を避けるために駅からの距離が遠い物件を選択した	在宅勤務が増えたので住宅や間取りを選択した	在宅勤務が増えたので通勤時間が長くなってもよいと考えた	在宅勤務が増えたので、地域での暮らしを重視した	収入が減ったり失ったりしたので、家賃を重視した	その他
合計	500	87.6	3.0	1.0	2.8	1.2	2.8	3.0	2.6

Q37：前に住んでいた自治体より世田谷区の方が良かったと思う点



	n	勤務先への交通の便	通学の交通の便	都心へのアクセス	家賃や住宅の価格	物価	買い物の利便性	海・山・川などの自然環境	公園や遊び場など自然を感じられるところが身近にある	まちなみや景観	医療・福祉の充実	保育園・幼稚園の充実	小学校・中学校教育の充実	高等教育の充実	子育て各種制度の充実	文化・スポーツ施設	まちの安全性	近隣住民との関係	地域イベントや地域交流などの地域活動	就労環境	生活環境・公共サービス	公共施設の充実	間取りや広さなどの住空間	築年数	住居形態（マンション、アパート、戸建など）	住宅の資産性	その他
合計	500	41.2	15.2	50.0	7.4	5.0	31.2	5.4	15.0	16.6	16.2	6.4	9.8	5.0	6.6	11.4	17.8	4.2	3.4	4.4	14.8	11.4	16.0	8.4	10.8	15.0	4.6

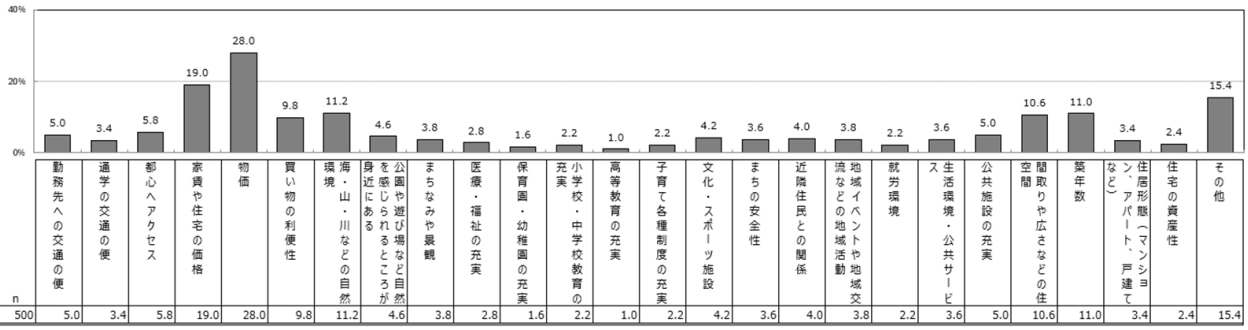
前に住んでいた自治体より世田谷区の方が良かったと思う点／世田谷区に住んでみて不満を感じること／世田谷区に対する意識

前に住んでいた自治体より世田谷区の方が良かったと思う点／世田谷区に住んでみて不満を感じること／世田谷区に対する意識

世田谷区に住んでみて不満を感じることについて、「物価」が28%と最も多く、次いで「家賃や住宅の価格」が19%となっている。

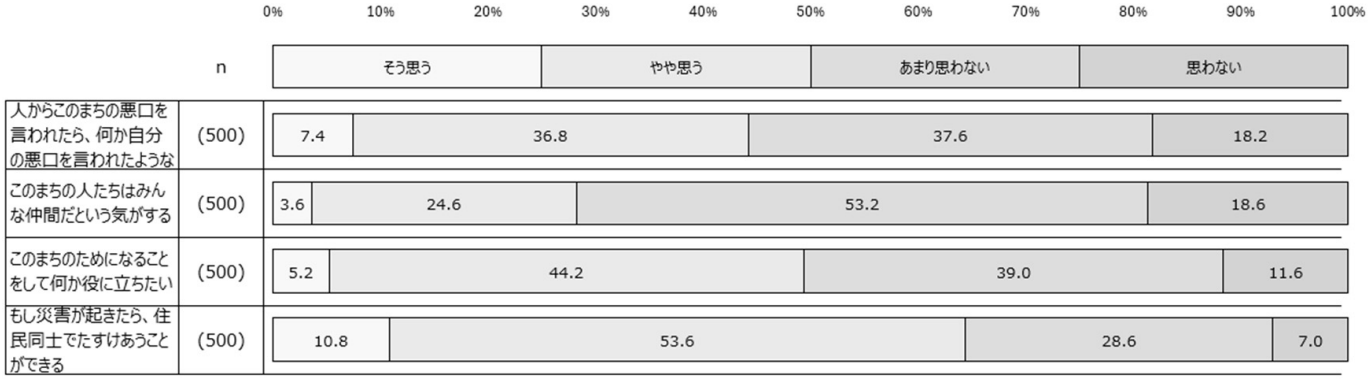
世田谷区に対する意識について、「そう思う」「やや思う」をあわせて「もし災害が起きたら、住人同士でたすけあうことができる」が64.4%、次いで「このまちのためになることをして何かの役に立ちたい」が49.4%となっている。

Q38：世田谷区に住んでみて不満を感じること



	n	勤務先への交通の便	通学の交通の便	都心へアクセス	家賃や住宅の価格	物価	買い物の利便性	海・山・川などの自然環境	公園や遊び場など自然を感じられるところが身近にある	まちなみや景観	医療・福祉の充実	保育園・幼稚園の充実	小学校・中学校教育の充実	高等教育の充実	子育て各種制度の充実	文化・スポーツ施設	まちの安全性	近隣住民との関係	地域イベントや地域交流などの地域活動	就労環境	生活環境・公共サービス	公共施設の充実	間取りや広さなどの住空間	築年数	住居形態（マンション、アパート、戸建てなど）	住宅の資産性	その他
合計	500	5.0	3.4	5.8	19.0	28.0	9.8	11.2	4.6	3.8	2.8	1.6	2.2	1.0	2.2	4.2	3.6	4.0	3.8	2.2	3.6	5.0	10.6	11.0	3.4	2.4	15.4

Q40：世田谷区に対する意識

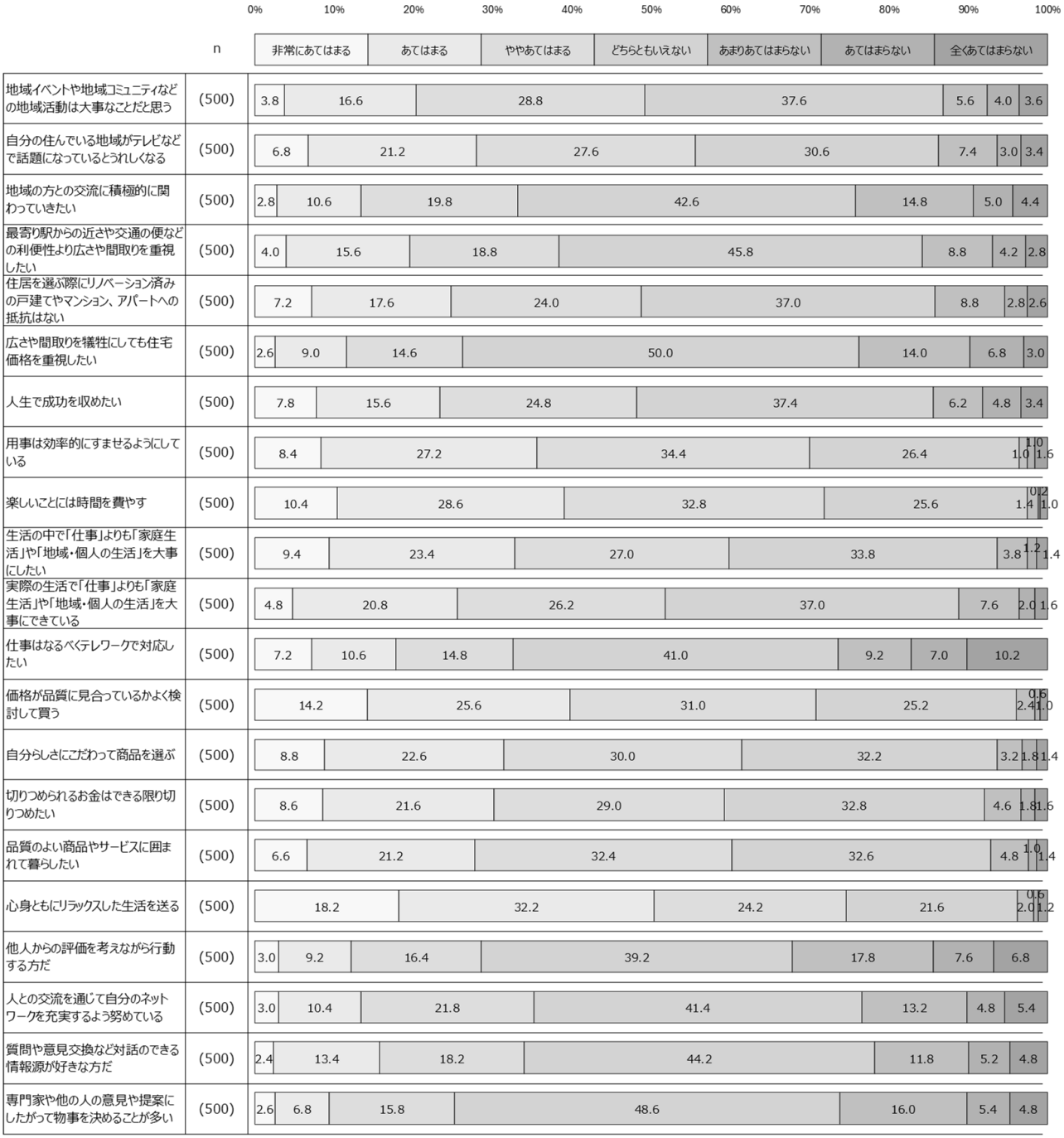


コロナ前の価値観意識

コロナ前の価値観意識

コロナ前に価値観意識について、「非常にあてはまる」「あてはまる」「ややあてはまる」をあわせて、「心身ともにリラックスした生活を送る」が74．6％と最も多く、次いで「楽しいことには時間を費やす」が71.8％、「価格が品質に見合っているかよく検討して買う」が70.8％となっている。

Q41：コロナ前の価値観意識

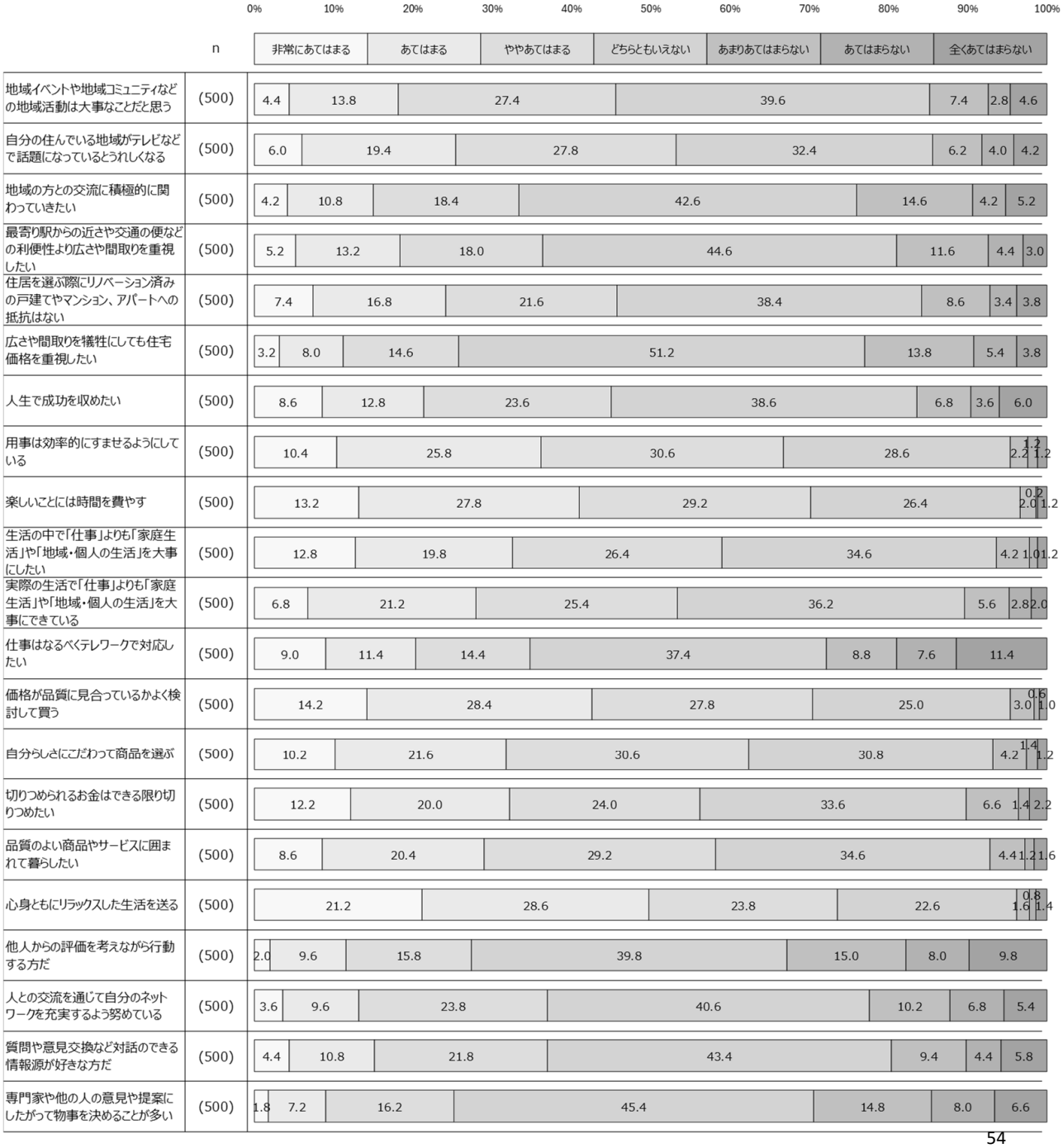


コロナ後の価値観意識

コロナ後の価値観意識

コロナ後の価値観意識について、「非常にあてはまる」「あてはまる」「ややあてはまる」をあわせて、「心身ともにリラックスした生活を送る」が73．6％と最も多く、次いで「価格が品質に見合っているかよく検討して買う」が70.4％、「楽しいことには時間を費やす」が70.2％となっている。

Q42：コロナ後の価値観意識



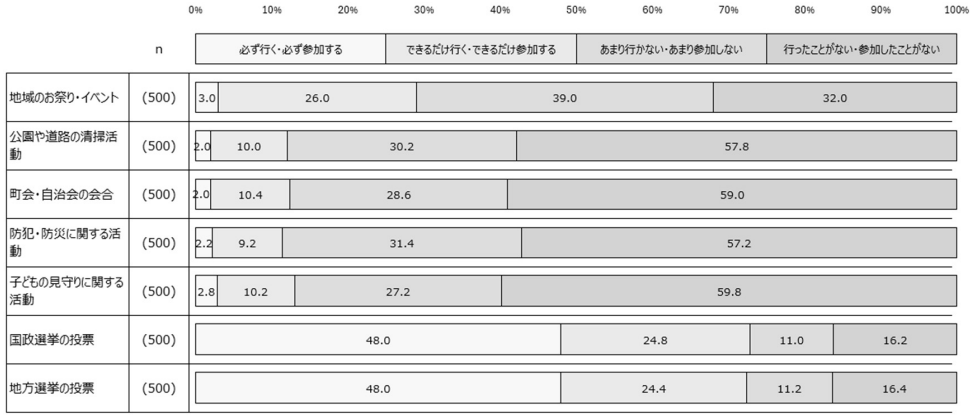
地域活動

地域活動

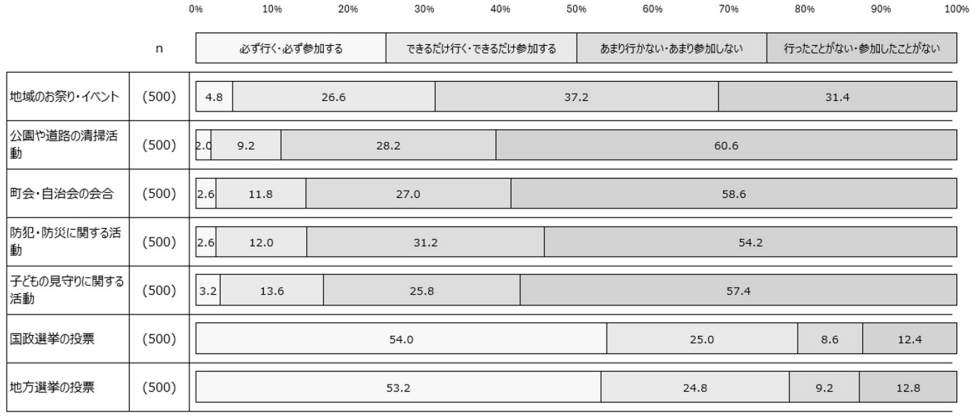
地域活動(転入前)について、「必ず行く・必ず参加する」「できるだけ行く・できるだけ参加する」あわせて、「国政選挙の投票」が最も多く72.8%、次いで「地方選挙の投票」が72.4%となっている。

地域活動(転入後)について、「必ず行く・必ず参加する」「できるだけ行く・できるだけ参加する」あわせて、「国政選挙の投票」が最も多く79%、次いで「地方選挙の投票」が78%となっている。

Q43:地域活動(転入前)



Q44:地域活動(転入後)



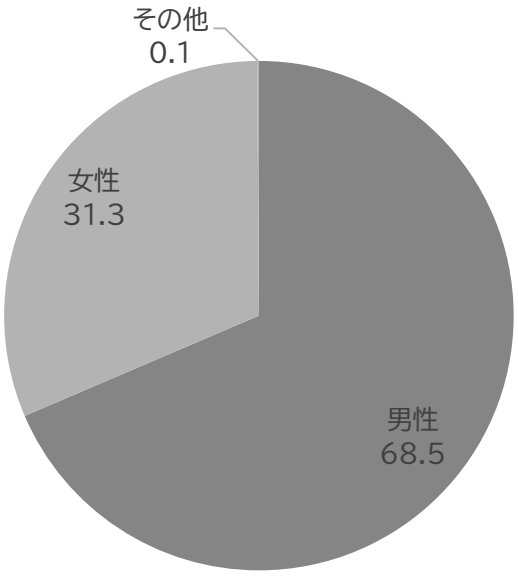
転出者　調査結果

性別／年齢

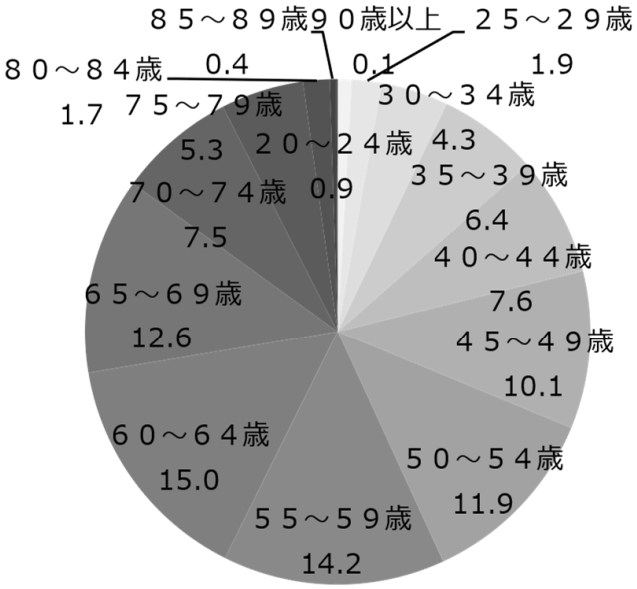
性別／年齢

・男性が68.5%の割合となっており、女性より構成比率が高い結果。
・年代を見ると、40代、50代、60代がボリュームゾーンとなっている。

F1：性別



F2：年齢

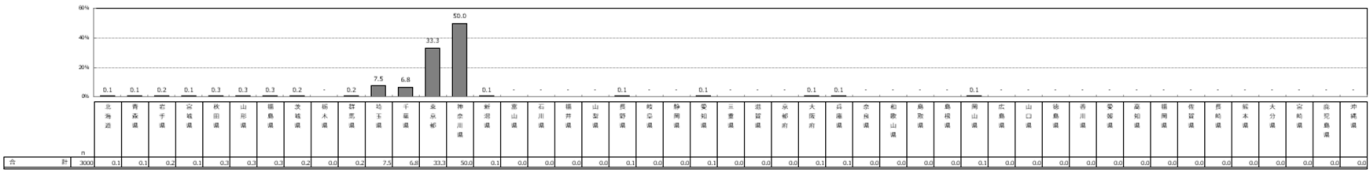


現在の居住地／過去の居住地

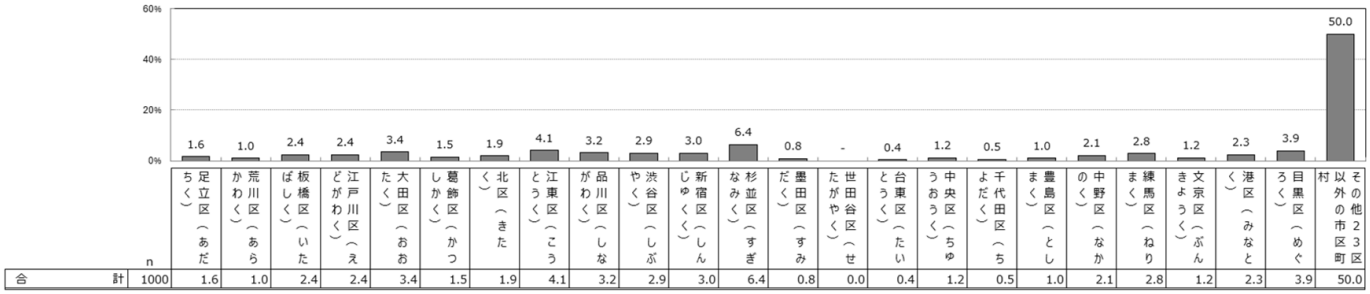
現在の居住地／過去の居住地

・調査対象者条件として、現在「特別区在住者」、「都内市町村在住者」、「川崎市在住者」、「横浜市在住者」、「その他神奈川県在住者」、「それ以外の区市町村在住者」の抽出条件に準じる結果。

F3：現在の居住地

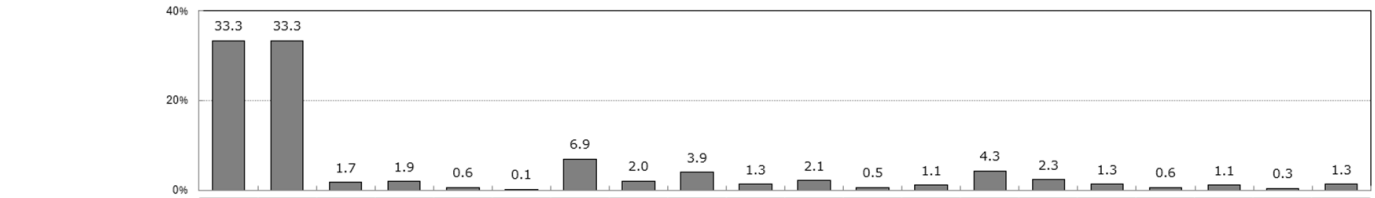


F3-1：現在の居住地（東京都）



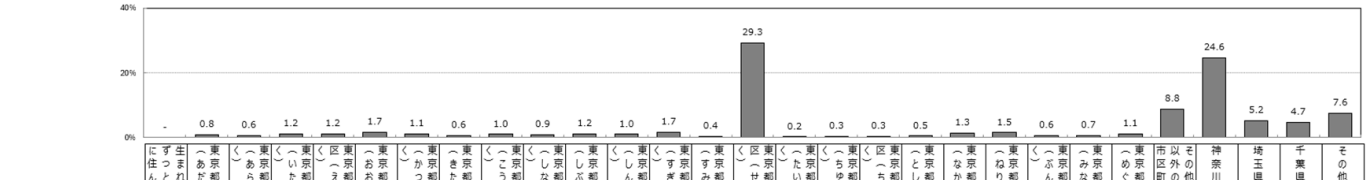
	n	足立区（あだちく）	荒川区（あらかわく）	板橋区（いたばしく）	江戸川区（えどがわく）	大田区（おおたく）	葛飾区（かつしかく）	北区（きたく）	江東区（こうとうく）	品川区（しながわく）	渋谷区（しぶやく）	新宿区（しんじゅくく）	杉並区（すぎなみく）	墨田区（すみだく）	世田谷区（せたがやく）	台東区（たいとうく）	中央区（ちゅうおうく）	千代田区（ちよだく）	豊島区（としまく）	中野区（なかのく）	練馬区（ねりまく）	文京区（ぶんきょうく）	港区（みなとく）	目黒区（めぐろく）	その他23区以外の市区町村
合計	1000	1.6	1.0	2.4	2.4	3.4	1.5	1.9	4.1	3.2	2.9	3.0	6.4	0.8	0.0	0.4	1.2	0.5	1.0	2.1	2.8	1.2	2.3	3.9	50.0

F3-2：現在の居住地（神奈川県）



	n	横浜市	川崎市	横須賀市	鎌倉市	逗子市	三浦市	相模原市	厚木市	大和市	海老名市	座間市	綾瀬市	平塚市	藤沢市	茅ヶ崎市	秦野市	伊勢原市	小田原市	南足柄市	その他町村
合計	1500	33.3	33.3	1.7	1.9	0.6	0.1	6.9	2.0	3.9	1.3	2.1	0.5	1.1	4.3	2.3	1.3	0.6	1.1	0.3	1.3

F4：過去の居住地



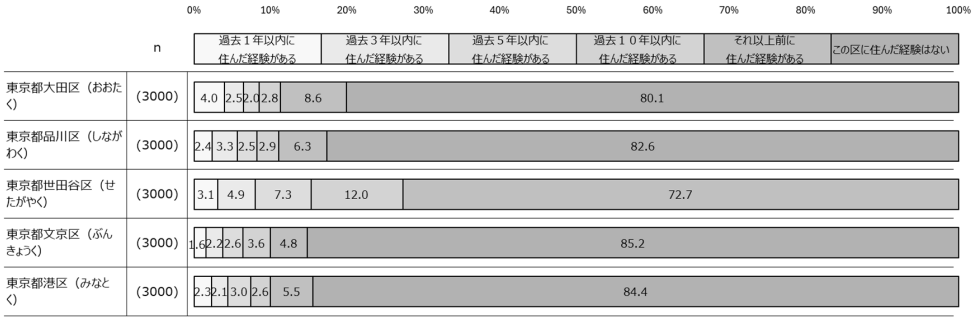
	n	生まれてからずっと現在所に住んでいる	東京都足立区（あだちく）	東京都荒川区（あらかわく）	東京都板橋区（いたばしく）	東京都江戸川区（えどがわく）	東京都大田区（おおたく）	東京都葛飾区（かつしかく）	東京都北区（きたく）	東京都江東区（こうとうく）	東京都品川区（しながわく）	東京都渋谷区（しぶやく）	東京都新宿区（しんじゅくく）	東京都杉並区（すぎなみく）	東京都墨田区（すみだく）	東京都世田谷区（せたがやく）	東京都台東区（たいとうく）	東京都中央区（ちゅうおうく）	東京都千代田区（ちよだく）	東京都豊島区（としまく）	東京都中野区（なかのく）	東京都練馬区（ねりまく）	東京都文京区（ぶんきょうく）	東京都港区（みなとく）	東京都目黒区（めぐろく）	その他23区以外の東京都市区町村	神奈川県	埼玉県	千葉県	その他
合計	3000	0.0	0.8	0.6	1.2	1.2	1.7	1.1	0.6	1.0	0.9	1.2	1.0	1.7	0.4	29.3	0.2	0.3	0.3	0.5	1.3	1.5	0.6	0.7	1.1	8.8	24.6	5.2	4.7	7.6

過去の居住地

過去の居住地

・調査対象者条件として、「かつて世田谷区に住んでいた20歳以上」の抽出条件に準じる結果。

F5：過去の居住地（東京都）

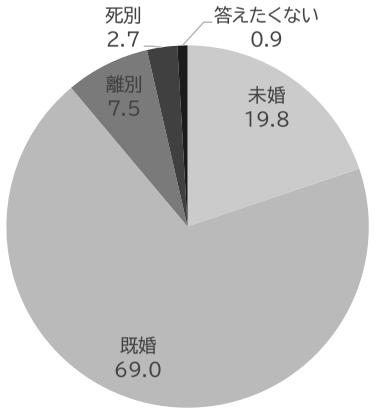


婚姻状況／世帯年収

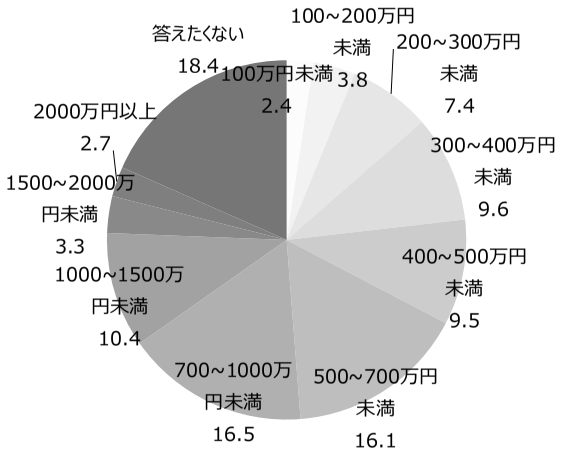
婚姻状況／世帯年収

婚姻状況は、「既婚」が約70％を占めている。
世帯年収は、「700～1000万円未満」が16.5％と最も多く、次いで「500～700万未満」が16.1％となっている。※答えたくないを除く

Q1：婚姻状況



Q2：世帯年収

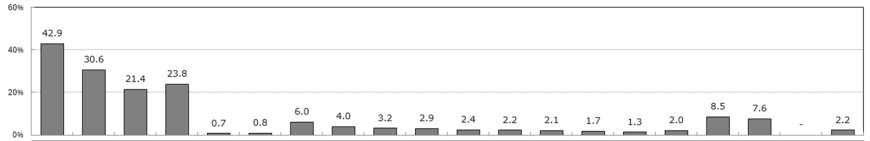


世帯構成

世帯構成

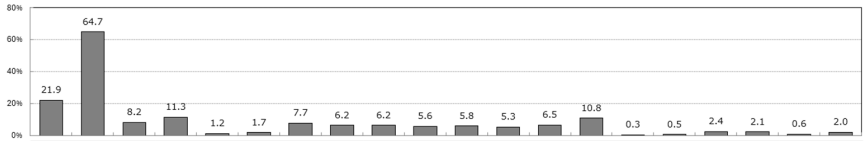
世帯構成(転出前)について、転出前は「あなたご自身」が42.9%と最も多く、次いで「配偶者、パートナー」が、30.6%となっている。転出後は、「配偶者、パートナー」が64. 7%と最も多くなっている。

Q3-1:世帯構成(転出前)



	n	あなたご自身のみ	配偶者、パートナー	父親	母親	配偶者・パートナーの父	配偶者・パートナーの母	子ども(未就園児)	子ども(幼稚園・保育園)	子ども(小学1~3年生)	子ども(小学4~6年生)	子ども(中学生)	子ども(高校生)	子ども(専門学校、短大、大学、大学院生の学生)	子ども(その他)	祖父	祖母	兄姉	弟妹	孫	その他
合計	3000	42.9	30.6	21.4	23.8	0.7	0.8	6.0	4.0	3.2	2.9	2.4	2.2	2.1	1.7	1.3	2.0	8.5	7.6	0.0	2.2

Q3-2:世帯構成(転出後)



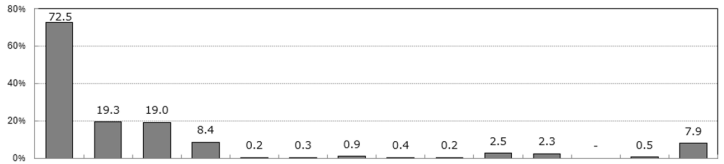
	n	あなたご自身のみ	配偶者、パートナー	父親	母親	配偶者・パートナーの父	配偶者・パートナーの母	子ども(未就園児)	子ども(幼稚園・保育園)	子ども(小学1~3年生)	子ども(小学4~6年生)	子ども(中学生)	子ども(高校生)	子ども(専門学校、短大、大学、大学院生の学生)	子ども(その他)	祖父	祖母	兄姉	弟妹	孫	その他
合計	3000	21.9	64.7	8.2	11.3	1.2	1.7	7.7	6.2	6.2	5.6	5.8	5.3	6.5	10.8	0.3	0.5	2.4	2.1	0.6	2.0

移動手段/最寄り駅までの合計所要時間/世帯の就業者

移動手段/最寄り駅までの合計所要時間/世帯の就業者

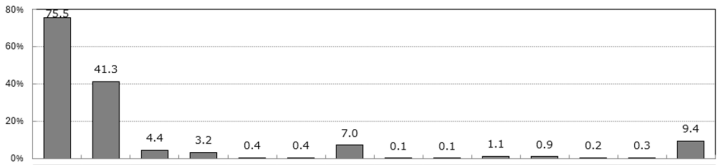
世帯の就業者について、転出前は「ご自身」が72.5%と最も多くなっている。転出後は「ご自身」が75.5%、次いで「配偶者、パートナー」が41.3%となっている。

Q8-1:世帯の就業者(転出前)



	n	ご自身	配偶者、パートナー	父親	母親	配偶者・パートナーの父	配偶者・パートナーの母	子ども	祖父	祖母	兄姉	弟妹	孫	その他	働いている人はいない
合計	3000	72.5	19.3	19.0	8.4	0.2	0.3	0.9	0.4	0.2	2.5	2.3	0.0	0.5	7.9

Q8-2:世帯の就業者(転出後)



	n	ご自身	配偶者、パートナー	父親	母親	配偶者・パートナーの父	配偶者・パートナーの母	子ども	祖父	祖母	兄姉	弟妹	孫	その他	働いている人はいない
合計	3000	75.5	41.3	4.4	3.2	0.4	0.4	7.0	0.1	0.1	1.1	0.9	0.2	0.3	9.4

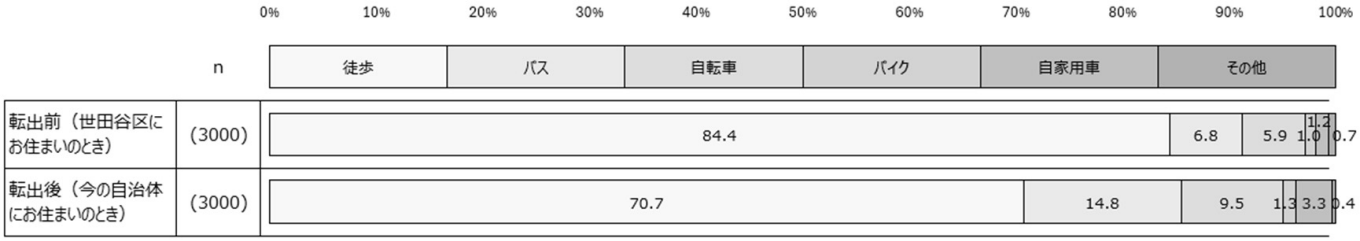
移動手段／最寄り駅までの合計所要時間／世帯の就業者

移動手段／最寄り駅までの合計所要時間／世帯の就業者

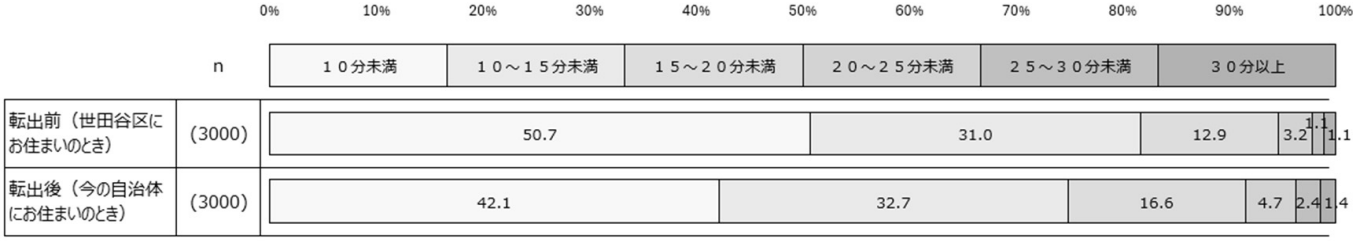
移動手段について、転出前（世田谷区にお住いのとき）は「徒歩」84.4%、転出後（今の自治体にお住まいのとき）も「徒歩」が70.7%となっている。

最寄り駅までの合計所要時間について、転出前（世田谷区にお住いのとき）は「10分未満」が50.7%、転出後（今の自治体にお住まいのとき）も70.7%となっている。

Q6：移動手段



Q7：最寄り駅までの合計所要時間

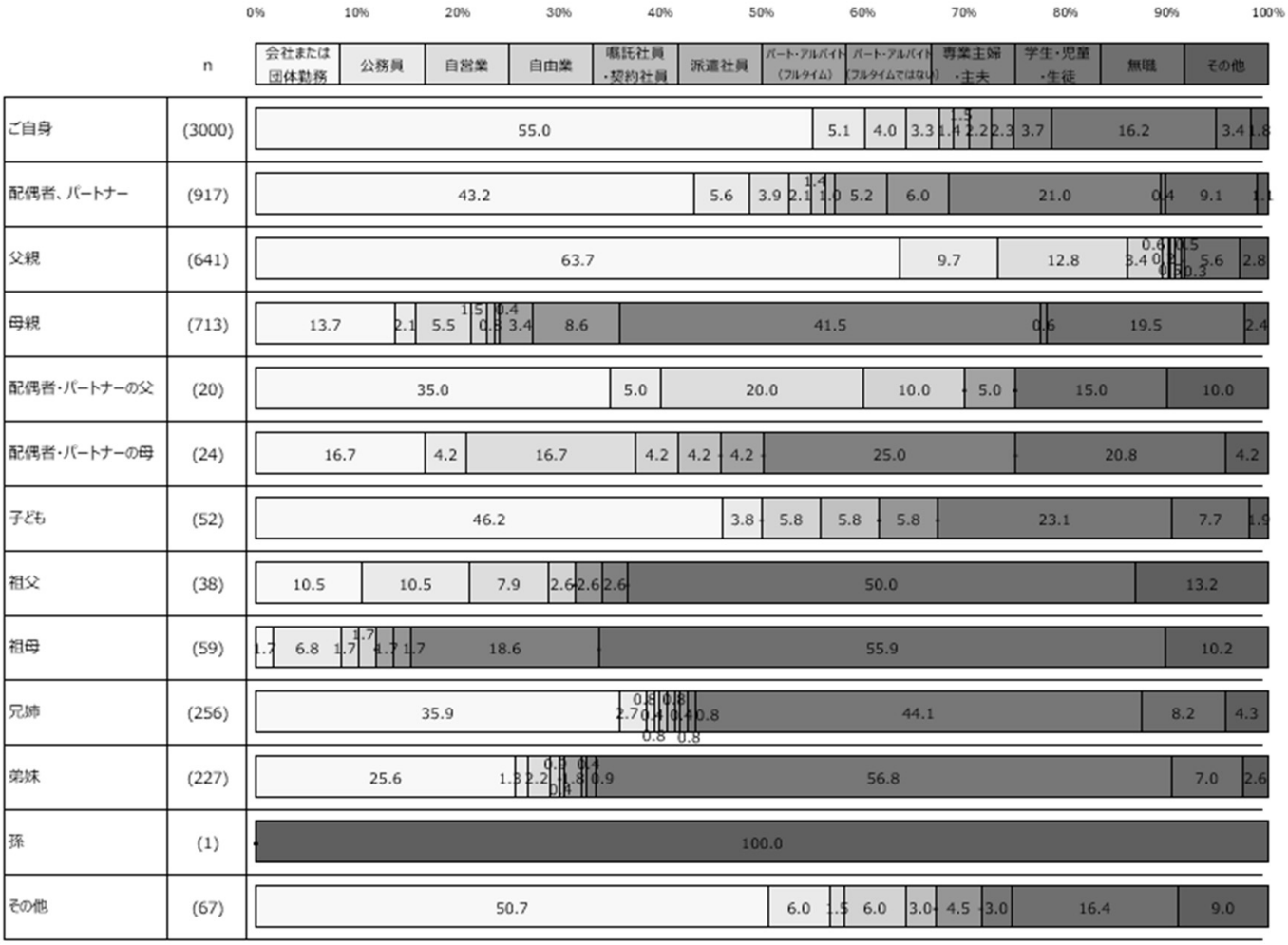


世帯員の職業（転出前）

世帯員の職業（転出前）

世帯員の職業について、「会社または団体勤務」の割合が大きく見られる。

Q9：世帯員の職業（転出前）

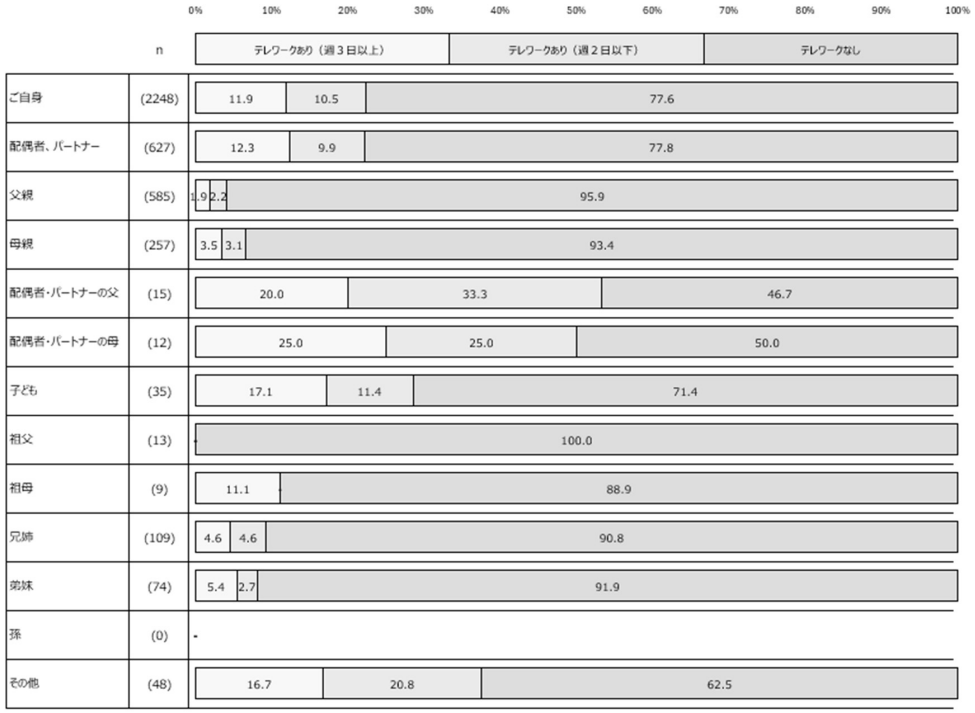


世帯員のテレワーク実施状況（転出前）

世帯員のテレワーク実施状況（転出前）

世帯員のテレワーク実施状況は、「テレワークなし」の割合が大きく見られる。

Q10：世帯員のテレワーク実施状況（転出前）

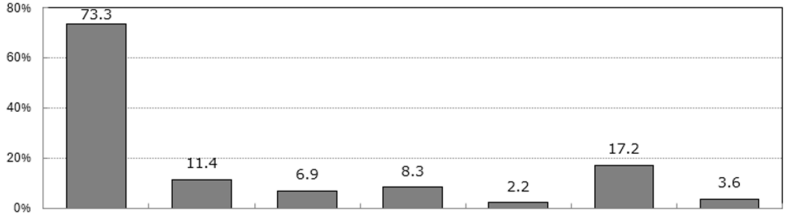


世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

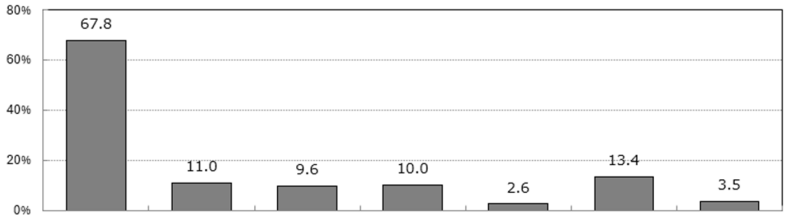
世帯員の勤務先への交通手段(転入出前)について、ご自身は「鉄道」が73．3%、配偶者、パートナーも「鉄道」が67.8%と最も多くなっている。

Q11-1：世帯員の勤務先への交通手段（転出前　ご自身）



	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	2248	73.3	11.4	6.9	8.3	2.2	17.2	3.6

Q11-2：世帯員の勤務先への交通手段（転出前　配偶者、パートナー）



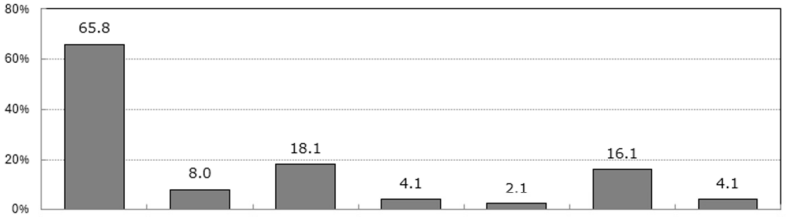
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	627	67.8	11.0	9.6	10.0	2.6	13.4	3.5

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

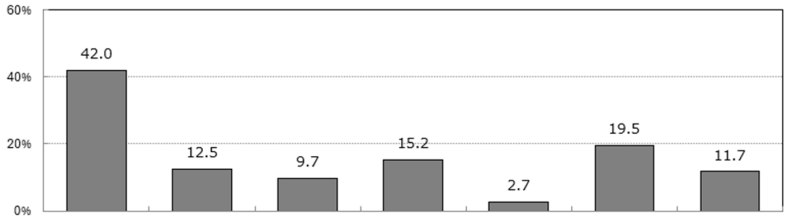
世帯員の勤務先への交通手段(転入出前)について、配偶者・パートナーの父は「鉄道」「自家用車」が33.3%、次いで「バス」が26.7%となっている。
配偶者・パートナーの母は「自家用車」が50%となっている。

Q11-3:世帯員の勤務先への交通手段(転出前　父親)



	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	585	65.8	8.0	18.1	4.1	2.1	16.1	4.1

Q11-4:世帯員の勤務先への交通手段(転出前　母親)



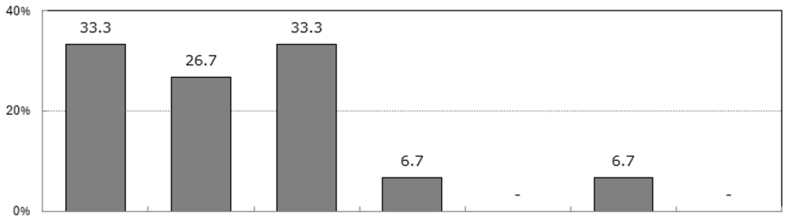
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	257	42.0	12.5	9.7	15.2	2.7	19.5	11.7

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

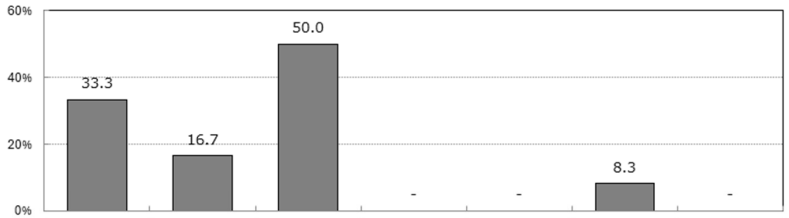
世帯員の勤務先への交通手段(転入出前)について、配偶者・パートナーの父は「鉄道」「自家用車」が33.3%、次いで「バス」が26.7%となっている。
配偶者・パートナーの母は「自家用車」が50%となっている。

Q11-5:世帯員の勤務先への交通手段(転出前　配偶者・パートナーの父)



	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	15	33.3	26.7	33.3	6.7	0.0	6.7	0.0

Q11-6:世帯員の勤務先への交通手段(転出前　配偶者・パートナーの母)



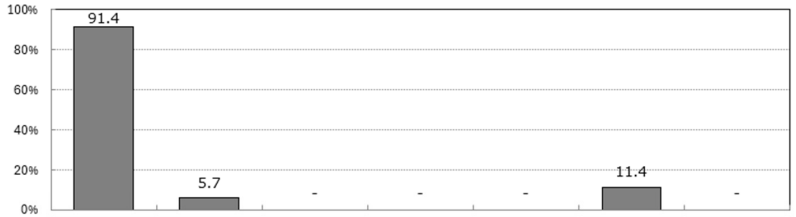
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	12	33.3	16.7	50.0	0.0	0.0	8.3	0.0

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

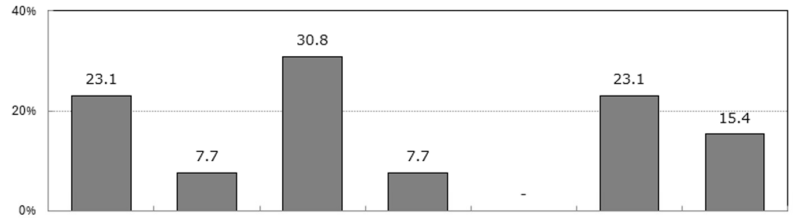
世帯員の勤務先への交通手段(転入出前)について、子どもは「鉄道」が91.4%占めている。
祖父は「自家用車」が30.8%と最も多く、次いで「鉄道」「徒歩」が23.1%となっている。

Q11-7:世帯員の勤務先への交通手段(転出前　子ども)



	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	35	91.4	5.7	0.0	0.0	0.0	11.4	0.0

Q11-8:世帯員の勤務先への交通手段(転出前　祖父)



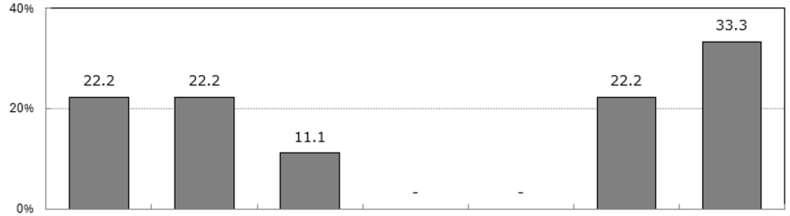
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	13	23.1	7.7	30.8	7.7	0.0	23.1	15.4

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

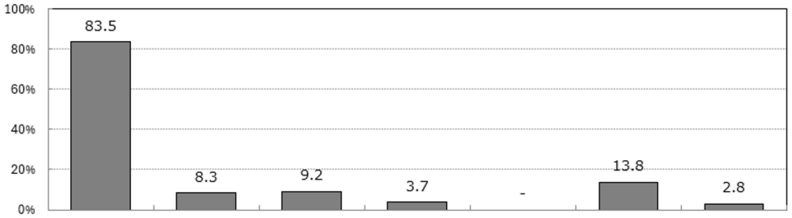
世帯員の勤務先への交通手段(転入出前)について、祖母は「自宅(移動なし)」が33.3%、兄姉は「鉄道」が83.5%と最も多くなっている。

Q11-9:世帯員の勤務先への交通手段(転出前　祖母)



	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	9	22.2	22.2	11.1	0.0	0.0	22.2	33.3

Q11-10:世帯員の勤務先への交通手段(転出前　兄姉)



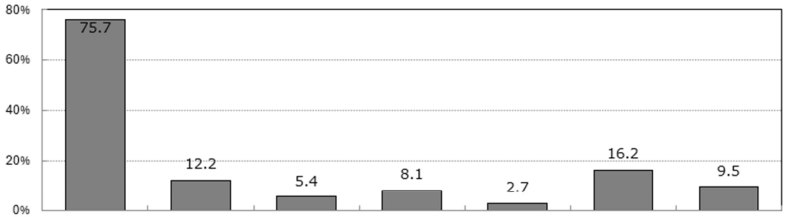
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	109	83.5	8.3	9.2	3.7	0.0	13.8	2.8

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

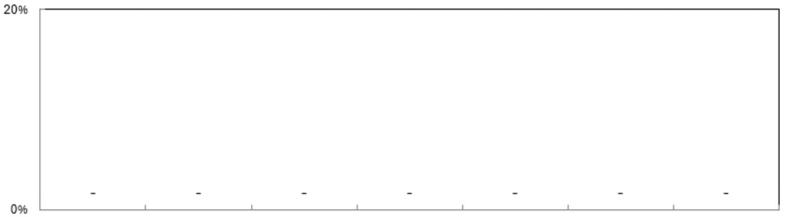
世帯員の勤務先への交通手段(転入出前)について、弟妹は「鉄道」が75.7%と最も多くなっている。
※孫は該当者なし

Q11-11：世帯員の勤務先への交通手段(転出前　弟妹)



	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	74	75.7	12.2	5.4	8.1	2.7	16.2	9.5

Q11-12：世帯員の勤務先への交通手段(転出前　孫)



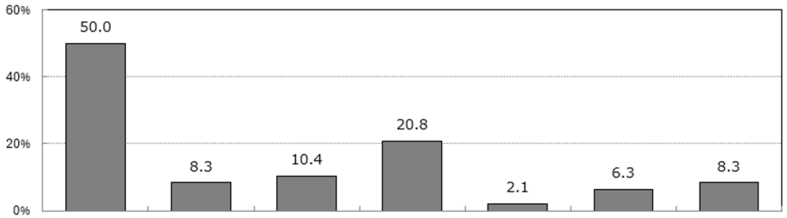
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段(転入出前)について、その他は「鉄道」が50%と最も多くなっている。

Q11-13：世帯員の勤務先への交通手段(転入出前　その他)



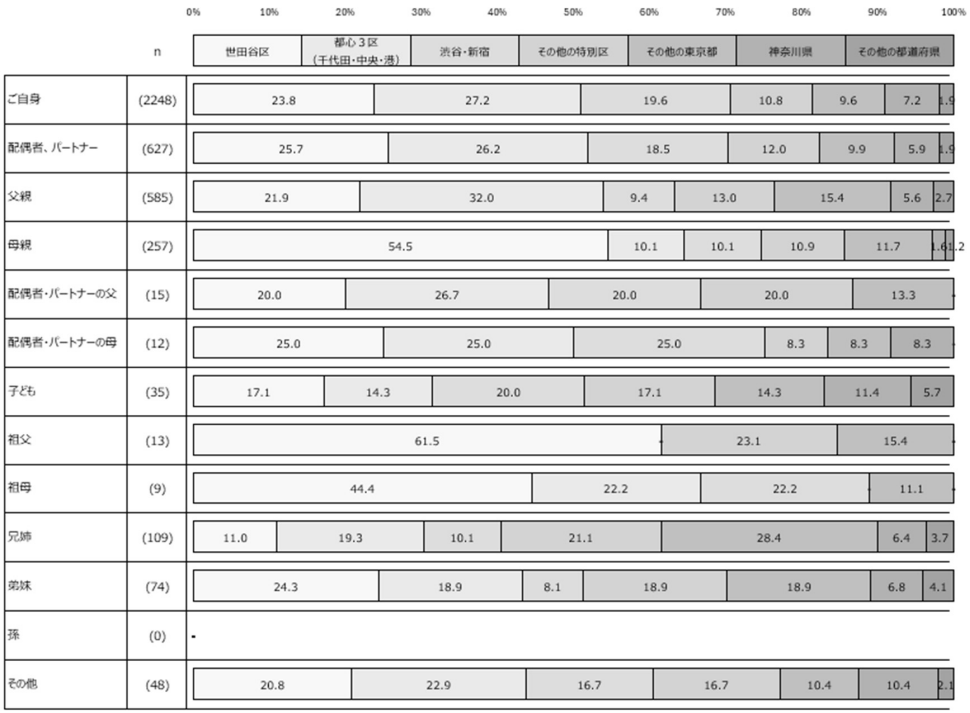
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	48	50.0	8.3	10.4	20.8	2.1	6.3	8.3

世帯員の勤務地自治体(転出前)

世帯員の勤務地自治体(転出前)

世帯員の勤務地自治体(転出前)について、「世田谷区」「都心3区(千代田区・中央・港)」の割合が大きく見られる。

Q12:世帯員の勤務地自治体(転出前)

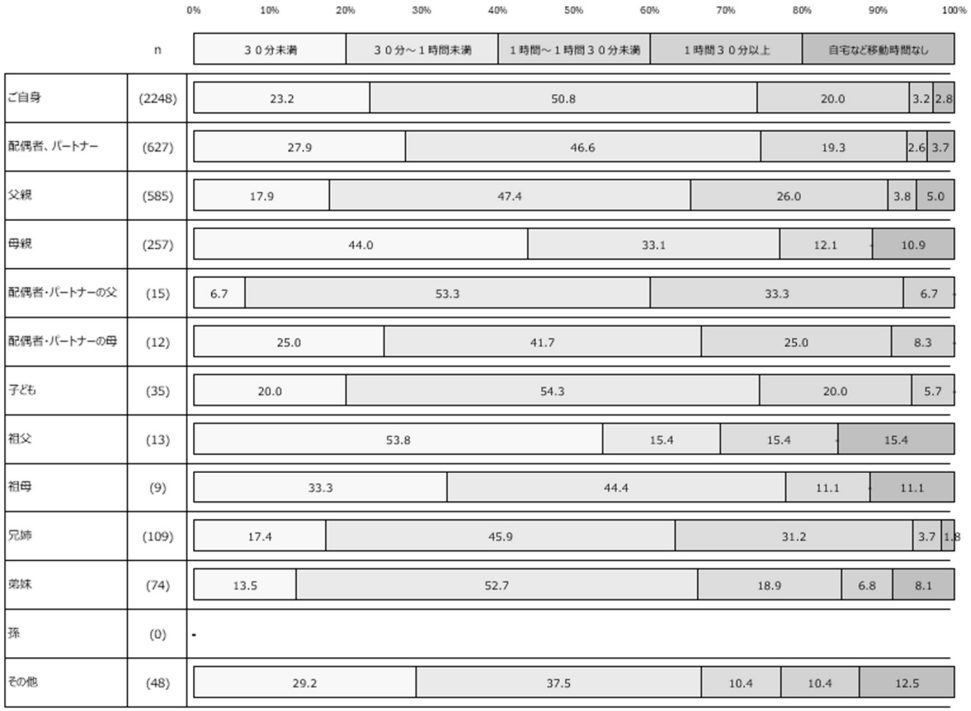


世帯員の通勤の所要時間(転出前)

世帯員の通勤の所要時間(転出前)

世帯員の通勤の所要時間(転出前)について、「30分～1時間未満」についての割合が大きく見られる。

Q13:世帯員の通勤の所要時間(転出前)

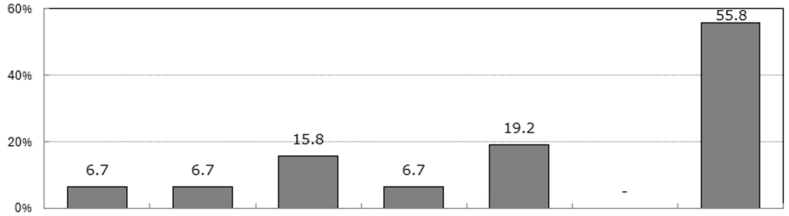


通学通園先への交通手段

通学通園先への交通手段

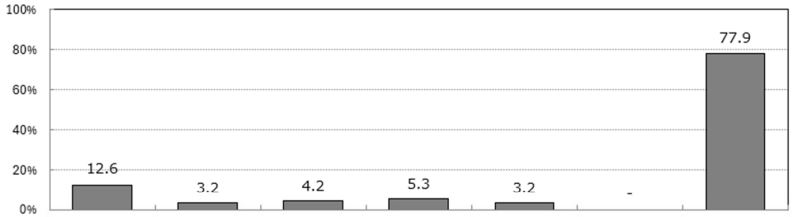
通学通園先への交通手段(転出前)は子ども(幼稚園・保育園)は、「徒歩」が55.8%、子ども(小学1～3年生)も「徒歩」が77.9%と最も多くなっている。

Q14-1:通学通園先への交通手段(転出前　子ども(幼稚園・保育園))



	n	鉄道	バス(公共交通のバス)	バス(スクールバス)	自家用車	自転車	バイク	徒歩
合計	120	6.7	6.7	15.8	6.7	19.2	0.0	55.8

Q14-2:通学通園先への交通手段(転出前　子ども(小学1～3年生))



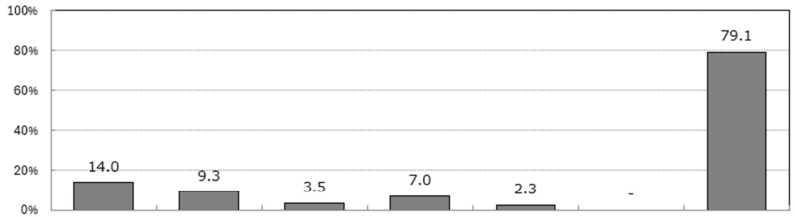
	n	鉄道	バス(公共交通のバス)	バス(スクールバス)	自家用車	自転車	バイク	徒歩
合計	95	12.6	3.2	4.2	5.3	3.2	0.0	77.9

通学通園先への交通手段

通学通園先への交通手段

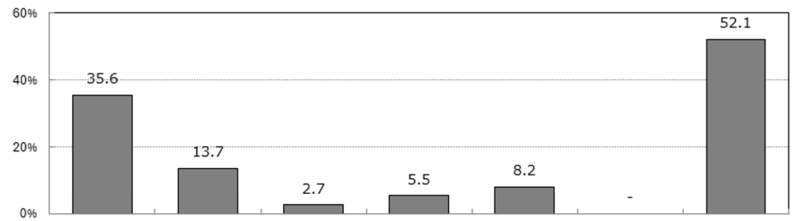
通学通園先への交通手段(転出前)は子ども(小学4～6年生)は、「徒歩」が79.1%、子ども(中学生)も「徒歩」が52.1%と最も多くなっている。

Q14-3:通学通園先への交通手段(転出前　子ども(小学4～6年生))



	n	鉄道	バス(公共交通のバス)	バス(スクールバス)	自家用車	自転車	バイク	徒歩
合計	86	14.0	9.3	3.5	7.0	2.3	0.0	79.1

Q14-4:通学通園先への交通手段(転出前　子ども(中学生))



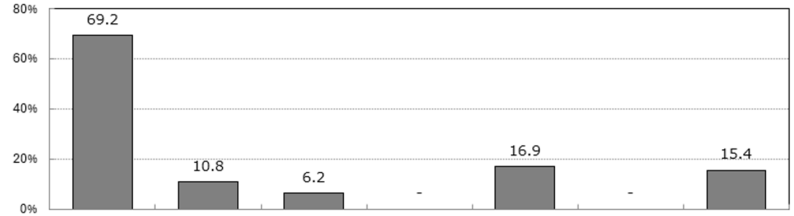
	n	鉄道	バス(公共交通のバス)	バス(スクールバス)	自家用車	自転車	バイク	徒歩
合計	73	35.6	13.7	2.7	5.5	8.2	0.0	52.1

通学通園先への交通手段

通学通園先への交通手段

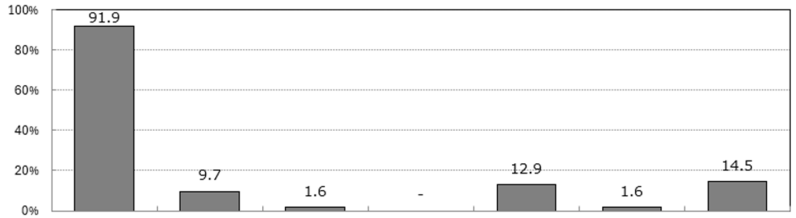
通学通園先への交通手段(転出前)は子ども(高校生)は、「鉄道」が69.2%、子ども(専門学校、短大、大学、大学院生の学生)も「鉄道」が91.9%と最も多くなっている。

Q14-5:通学通園先への交通手段(転出前　子ども(高校生))



	n	鉄道	バス(通のバス、公共交)	バス(スクールバス)	自家用車	自転車	バイク	徒歩
合計	65	69.2	10.8	6.2	0.0	16.9	0.0	15.4

Q14-6:通学通園先への交通手段(転出前　子ども(専門学校、短大、大学、大学院生の学生))



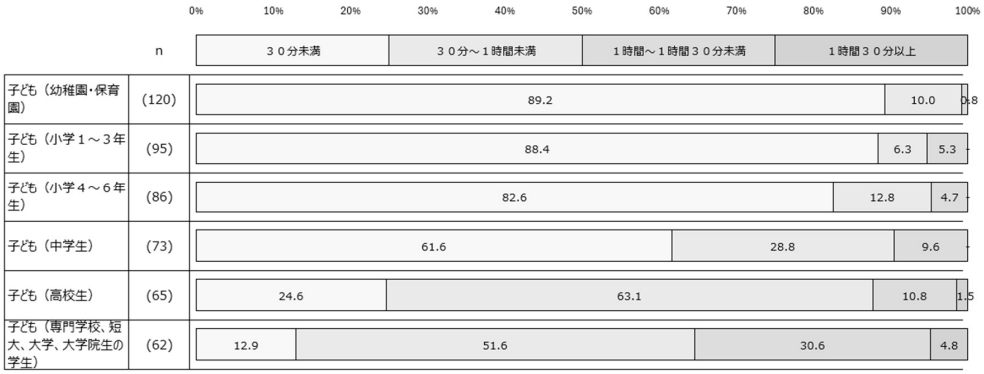
	n	鉄道	バス(通のバス、公共交)	バス(スクールバス)	自家用車	自転車	バイク	徒歩
合計	62	91.9	9.7	1.6	0.0	12.9	1.6	14.5

通学通園先への所要時間(転出前)

通学通園先への所要時間(転出前)

通学通園先への所要時間(転出前)について、幼稚園・保育園から中学生までは「30分未満」が60%を占めている。高校生からは「30分～1時間未満」の割合が半数を占めている。

Q15:通学通園先への所要時間(転出前)

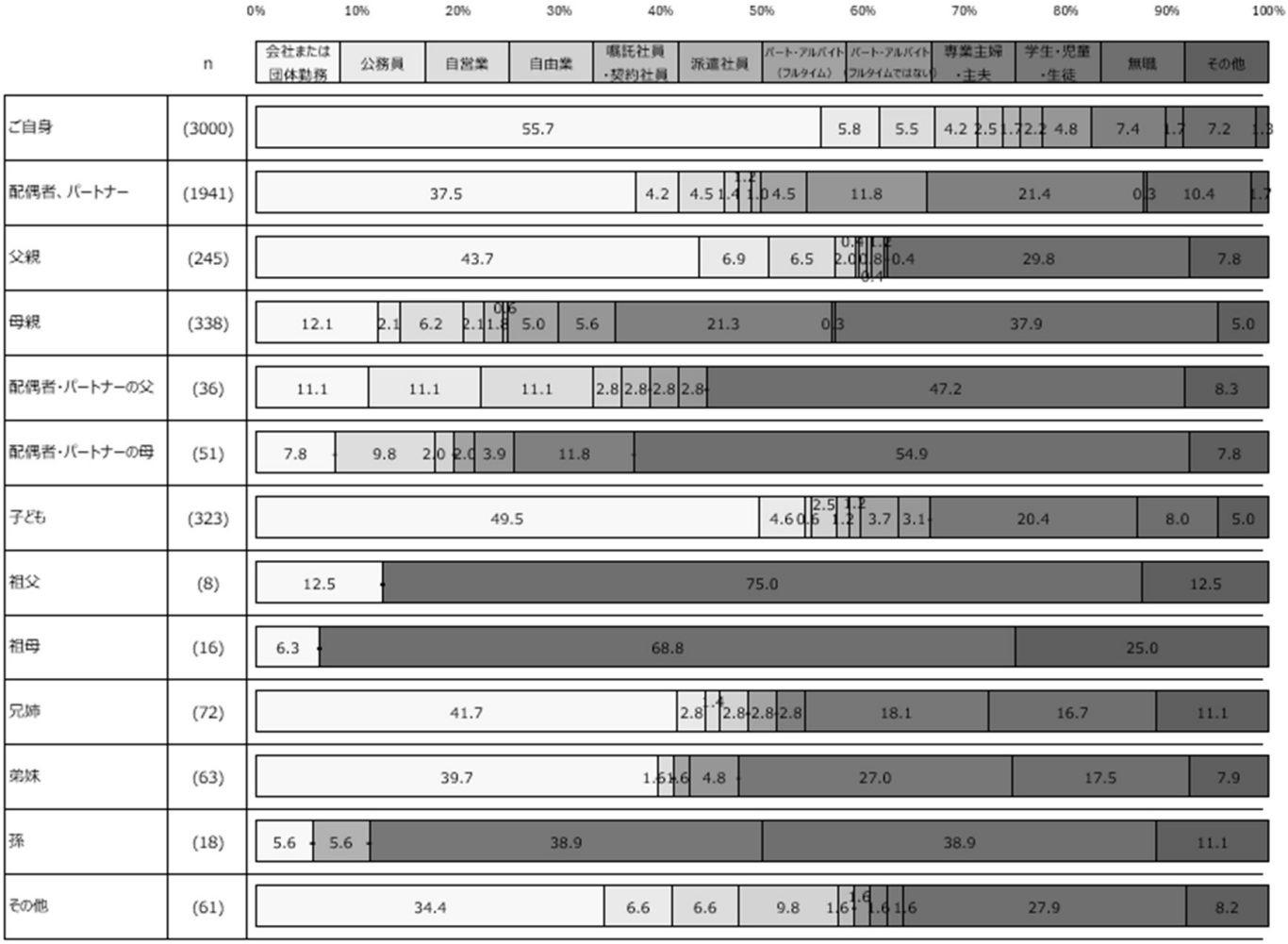


世帯員の職業（転出後）

世帯員の職業（転出後）

世帯員の職業(転出後)は、「会社または団体勤務」の割合が大きく見られる。

Q16：世帯員の職業（転出後）

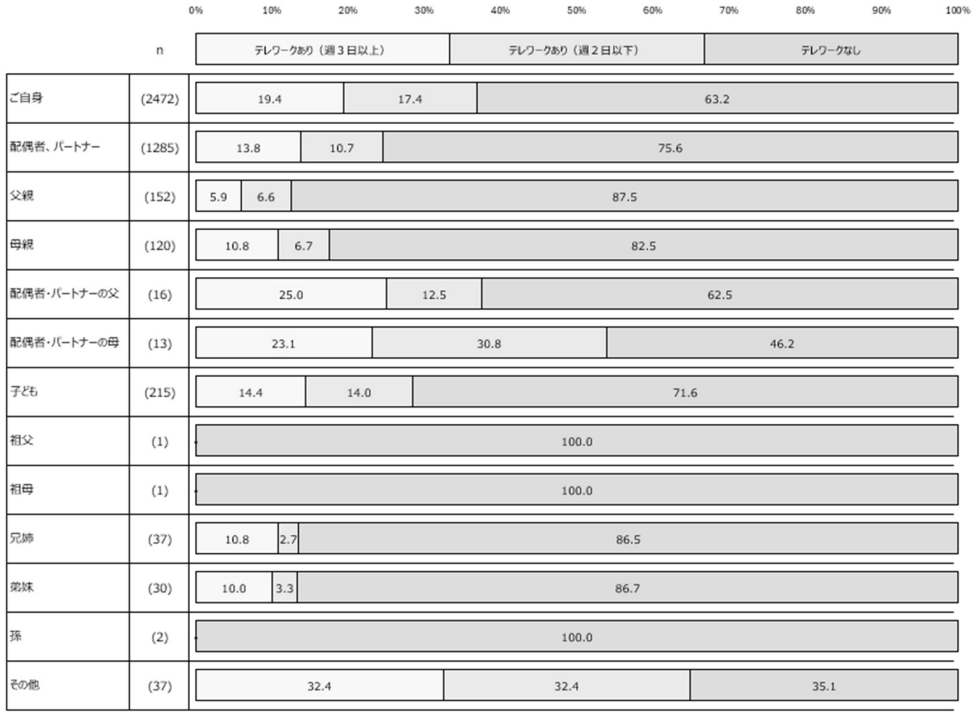


世帯員のテレワーク実施状況(転出後)

世帯員のテレワーク実施状況(転出後)

世帯員のテレワーク実施状況(転出後)は、「テレワークなし」の割合が多く見られる。

Q17:世帯員のテレワーク実施状況(転出後)

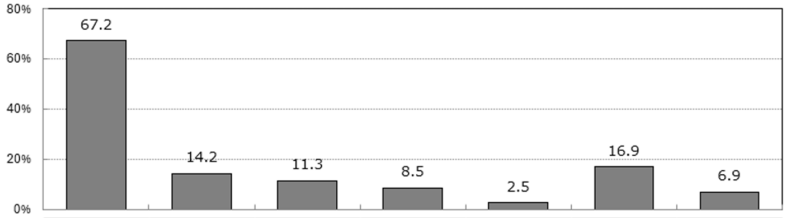


世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

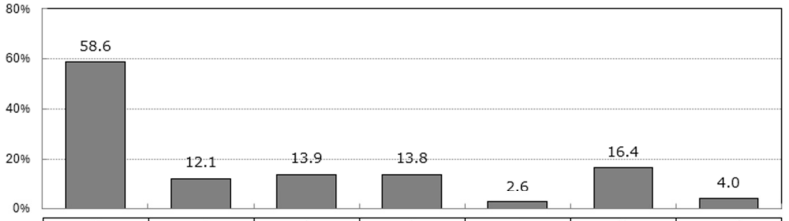
世帯員の勤務先への交通手段(転出後)について、ご自身は「鉄道」が67.2%、配偶者、パートナーも「鉄道」が58.6%と最も多くなっている。

Q18-1:世帯員の勤務先への交通手段(転出後　ご自身)



	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	2472	67.2	14.2	11.3	8.5	2.5	16.9	6.9

Q18-2:世帯員の勤務先への交通手段(転出後　配偶者、パートナー)



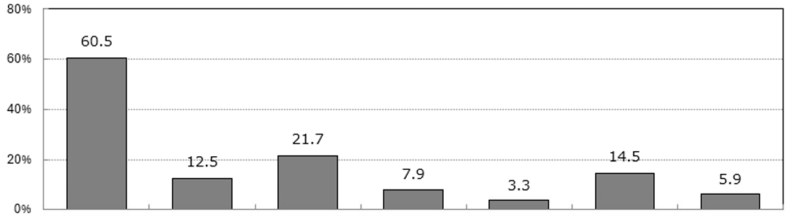
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	1285	58.6	12.1	13.9	13.8	2.6	16.4	4.0

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

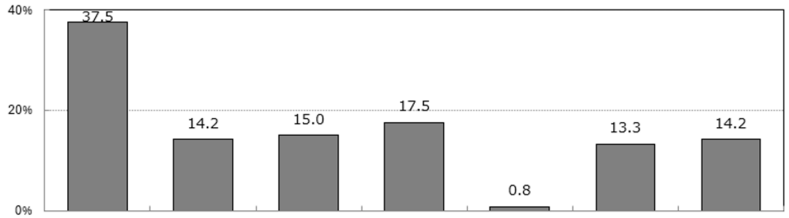
世帯員の勤務先への交通手段(転出後)について、父親は「鉄道」が60.5%、母親も「鉄道」が37.5%と最も多くなっている。

Q18-3:世帯員の勤務先への交通手段(転出後　父親)



	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅(移動なし)
合計	152	60.5	12.5	21.7	7.9	3.3	14.5	5.9

Q18-4:世帯員の勤務先への交通手段(転出後　母親)



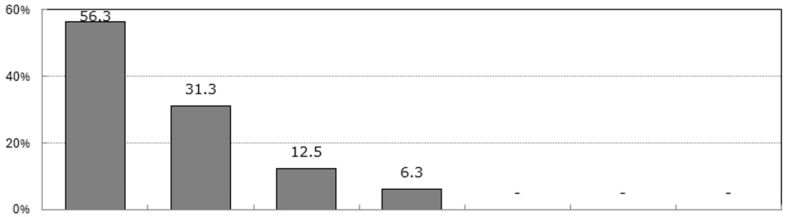
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅(移動なし)
合計	120	37.5	14.2	15.0	17.5	0.8	13.3	14.2

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

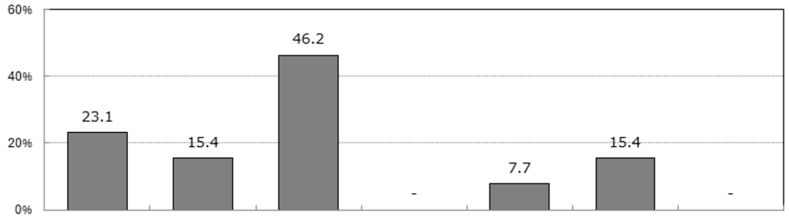
世帯員の勤務先への交通手段(転出後)について、配偶者・パートナーの父は「鉄道」が56.3%、配偶者・パートナーの母は「自家用車」が46.2%と最も多くなっている。

Q18-5:世帯員の勤務先への交通手段(転出後　配偶者・パートナーの父)



	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅(移動なし)
合計	16	56.3	31.3	12.5	6.3	0.0	0.0	0.0

Q18-6:世帯員の勤務先への交通手段(転出後　配偶者・パートナーの母)



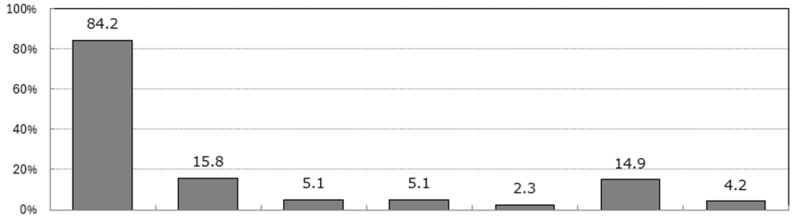
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅(移動なし)
合計	13	23.1	15.4	46.2	0.0	7.7	15.4	0.0

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

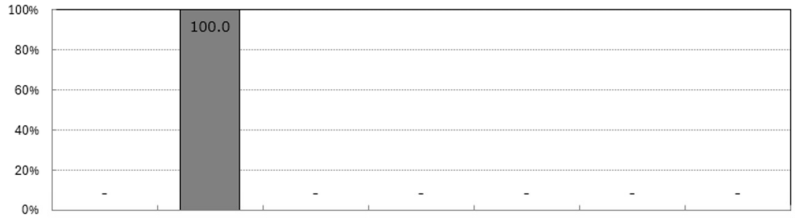
世帯員の勤務先への交通手段(転出後)について、子どもは「鉄道」が84.2%と最も多く、祖父は「鉄道」が100%となっている。

Q18-7:世帯員の勤務先への交通手段(転出後　子ども)



	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	215	84.2	15.8	5.1	5.1	2.3	14.9	4.2

Q18-8:世帯員の勤務先への交通手段(転出後　祖父)



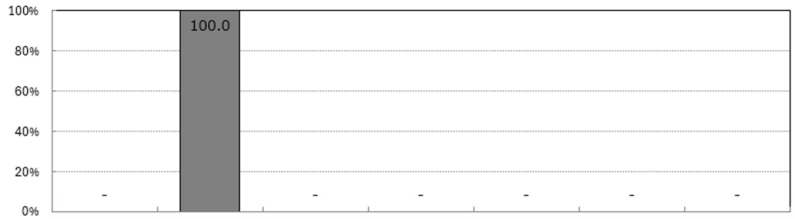
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

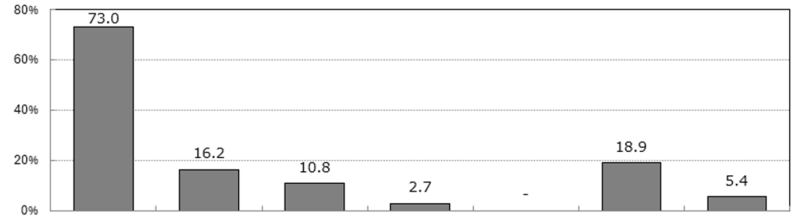
世帯員の勤務先への交通手段(転出後)について、祖母は「バス」が100%、兄姉は、「鉄道」が73%と多く見られる。

Q18-9:世帯員の勤務先への交通手段(転出後　祖母)



	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q18-10:世帯員の勤務先への交通手段(転出後　兄姉)



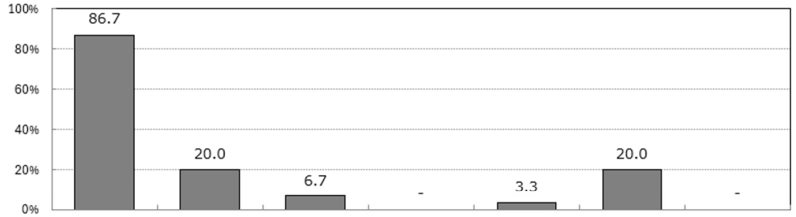
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅（移動なし）
合計	37	73.0	16.2	10.8	2.7	0.0	18.9	5.4

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

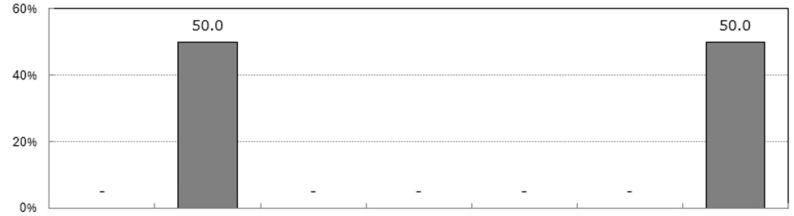
世帯員の勤務先への交通手段(転出後)について、弟妹は「鉄道」が86.7%と最も多くなっている。孫は、「バス」「自宅(移動なし)」が50%となっている。

Q18-11:世帯員の勤務先への交通手段(転出後　弟妹)



	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅(移動なし)
合計	30	86.7	20.0	6.7	0.0	3.3	20.0	0.0

Q18-12:世帯員の勤務先への交通手段(転出後　孫)



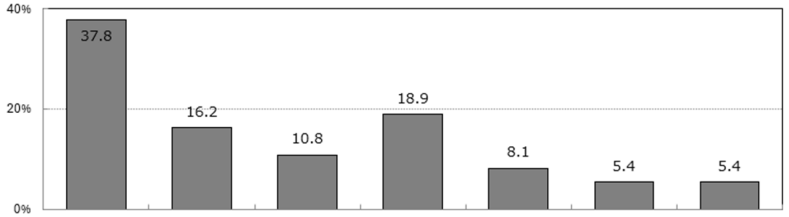
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅(移動なし)
合計	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段

世帯員の勤務先への交通手段(転出後)について、その他は「鉄道」が33.8と最も多く見られる。

Q18-13:世帯員の勤務先への交通手段(転出後　その他)



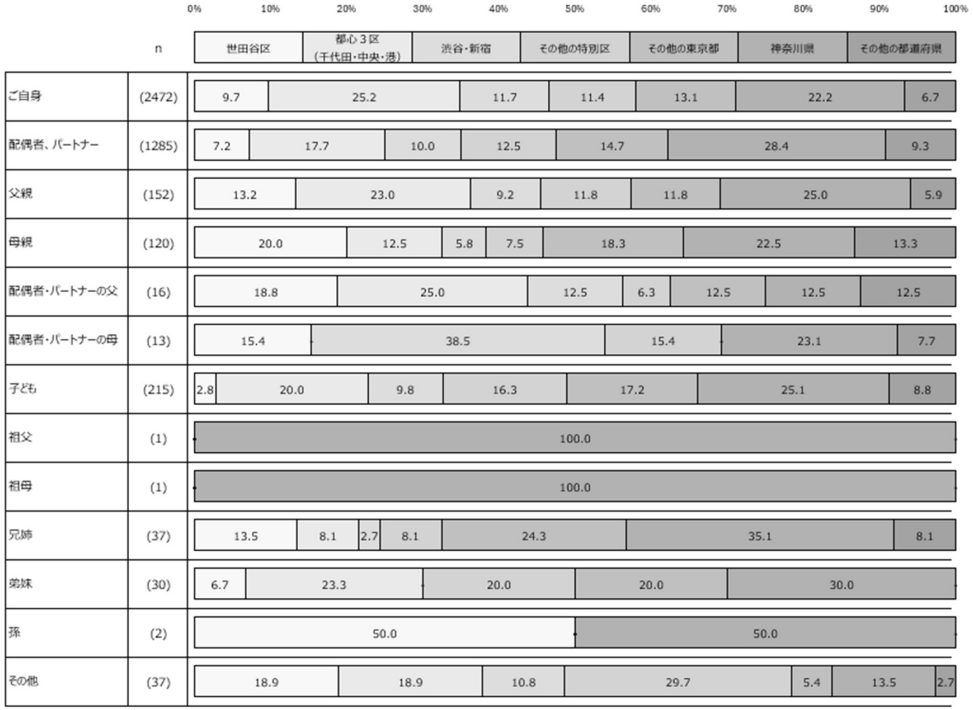
	n	鉄道	バス	自家用車	自転車	バイク	徒歩	自宅(移動なし)
合計	37	37.8	16.2	10.8	18.9	8.1	5.4	5.4

世帯員の勤務地自治体(転出後)

世帯員の勤務地自治体(転出後)

世帯員の勤務地自治体(転出後)について「神奈川県」の割合が大きく見られる。

Q19:世帯員の勤務地自治体(転出後)

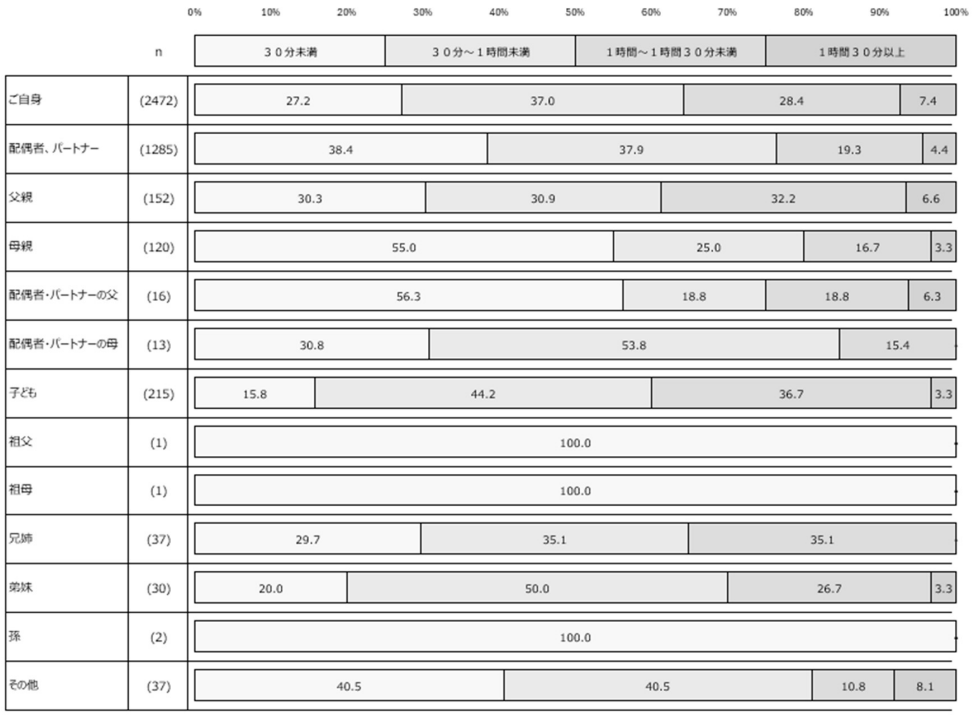


世帯員の通勤の所要時間(転出後)

世帯員の通勤の所要時間(転出後)

世帯員の通勤の所要時間(転出後)について、1時間未満が60%以上を占めている。

Q20:世帯員の通勤の所要時間(転出後)

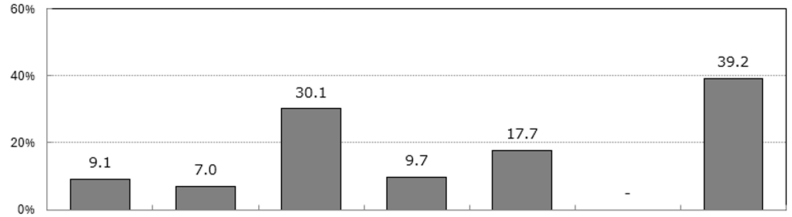


通学通園先への交通手段(転出後　子ども)

通学通園先への交通手段(転出後　子ども)

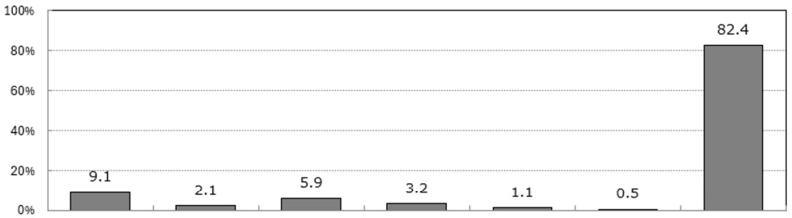
通学通園先への交通手段(転出後)は、子ども(幼稚園・保育園)は「徒歩」が39.2%、次いで「バス(スクールバス)が30.1%となり、子ども(小学1～3年生) は「徒歩」が82.4%と最も多くなっている。

Q21-1:通学通園先への交通手段(転出後　子ども(幼稚園・保育園))



	n	鉄道	バス(通のバス(公共交	バス(ルバス(スクー	自家用車	自転車	バイク	徒歩
合計	186	9.1	7.0	30.1	9.7	17.7	0.0	39.2

Q21-2:通学通園先への交通手段(転出後　子ども(小学1～3年生))



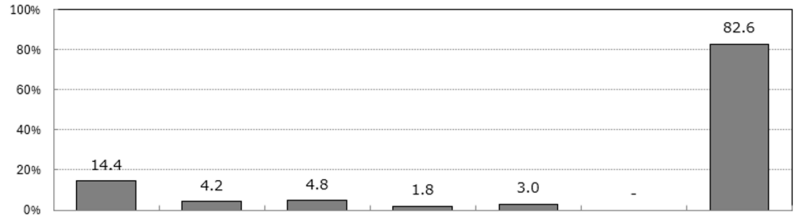
	n	鉄道	バス(通のバス(公共交	バス(ルバス(スクー	自家用車	自転車	バイク	徒歩
合計	187	9.1	2.1	5.9	3.2	1.1	0.5	82.4

通学通園先への交通手段(転出後　子ども)

通学通園先への交通手段(転出後　子ども)

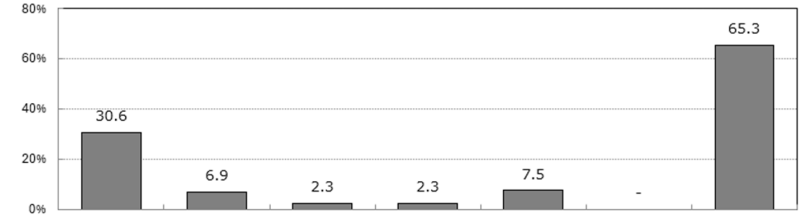
通学通園先への交通手段(転出後)は、子ども(小学4～6年生)は「徒歩」が82.6%、子ども(中学生)も「鉄道」が65.3%と最も多くなっている。

Q21-3:通学通園先への交通手段(転出後　子ども(小学4～6年生))



	n	鉄道	バス(通のバス(公共交	バス(ルバス(スクー	自家用車	自転車	バイク	徒歩
合計	167	14.4	4.2	4.8	1.8	3.0	0.0	82.6

Q21-4:通学通園先への交通手段(転出後　子ども(中学生))



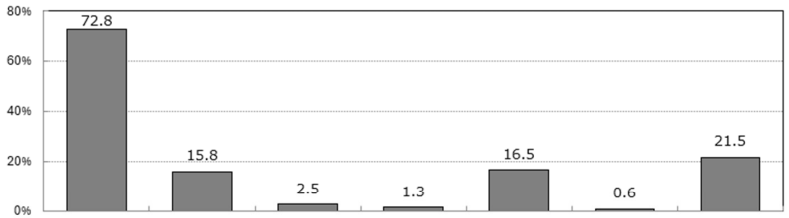
	n	鉄道	バス(通のバス(公共交	バス(ルバス(スクー	自家用車	自転車	バイク	徒歩
合計	173	30.6	6.9	2.3	2.3	7.5	0.0	65.3

通学通園先への交通手段(転出後　子ども)

通学通園先への交通手段(転出後　子ども)

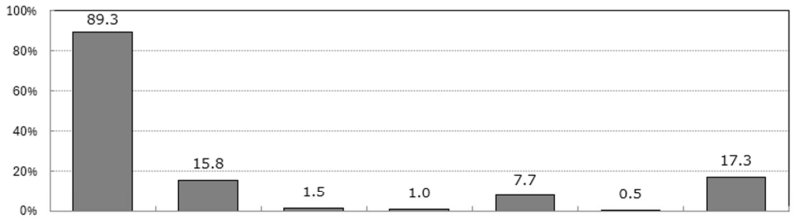
通学通園先への交通手段(転出後)は、子ども(高校生)は「鉄道」が72.8%、子ども(専門学校、短大、大学、大学院生の学生)も「鉄道」が89.3%と最も多くなっている。

Q21-5:通学通園先への交通手段(転出後　子ども(高校生))



	n	鉄道	バス(通学バス)	バス(スクールバス)	自家用車	自転車	バイク	徒歩
合計	158	72.8	15.8	2.5	1.3	16.5	0.6	21.5

Q21-6:通学通園先への交通手段(転出後　子ども(専門学校、短大、大学、大学院生の学生))



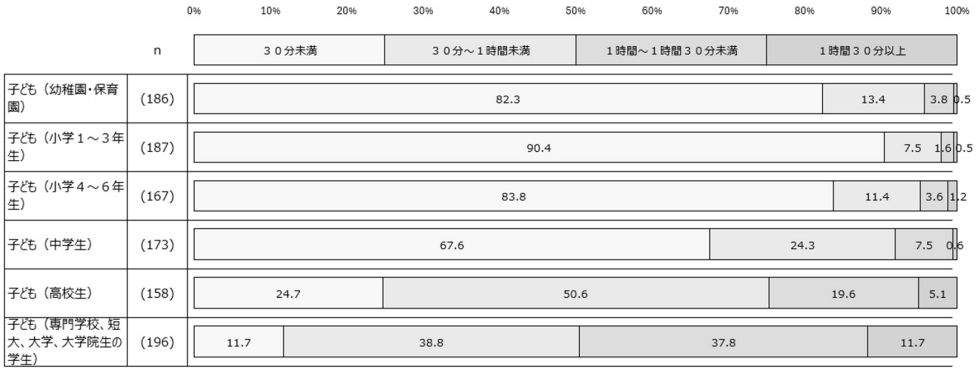
	n	鉄道	バス(通学バス)	バス(スクールバス)	自家用車	自転車	バイク	徒歩
合計	196	89.3	15.8	1.5	1.0	7.7	0.5	17.3

通学通園先への所要時間(転出前　子ども)

通学通園先への所要時間(転出前　子ども)

通学通園先への所要時間(転出前　子ども)について、幼稚園・保育園から中学生までは「30分未満」が60%を占めている。高校生からは「30分～1時間未満」の割合が大きく見られる。

Q22:通学通園先への所要時間(転出前　子ども)

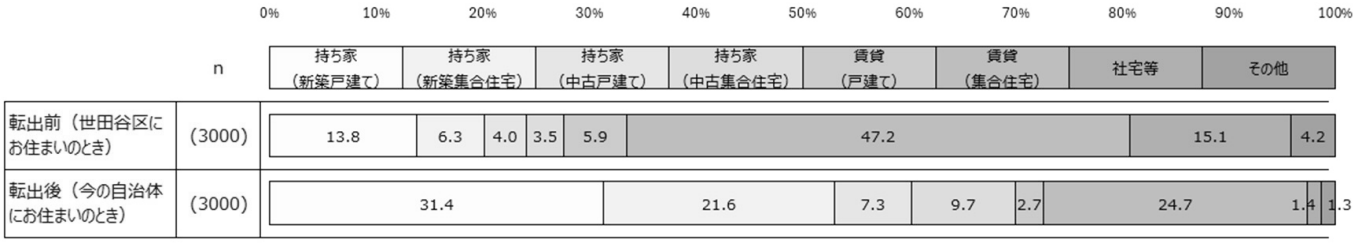


住居形態／間取り／転出後の住居を探す際の条件／町会・自治会への加入

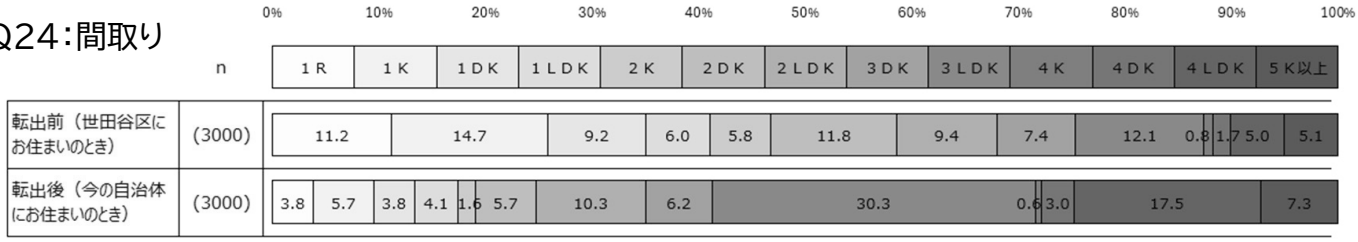
住居形態／間取り／転出後の住居を探した際の条件／
町会・自治会への加入

住居形態について、転出前（世田谷区にお住まいのとき）は、賃貸（戸建て）が半数近くとなっており、転出後（今の自治体にお住まいのとき）は持ち家（新築戸建て）が31．4％と最も多い。
間取りについて、転出前（世田谷区にお住まいのとき）は、1Kが14.7％と最も多い。
転出後（今の自治体にお住まいのとき）は、3LDKが30.3％と最も多い。
転出後の住居を探した際の条件について、「新築のみ検討」が34.5％と最も多く、次いで「新築・中古ともに検討」が28．2となっている。

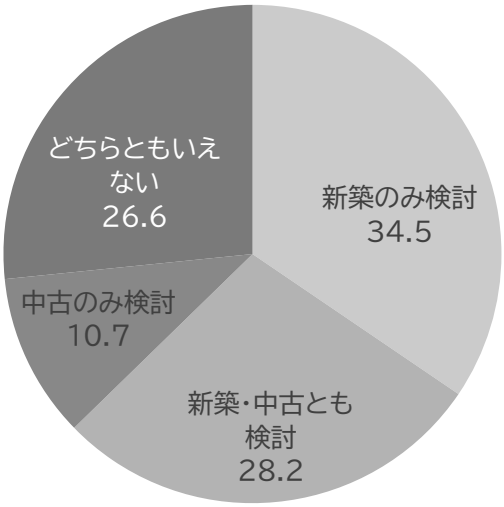
Q23：住居形態



Q24：間取り



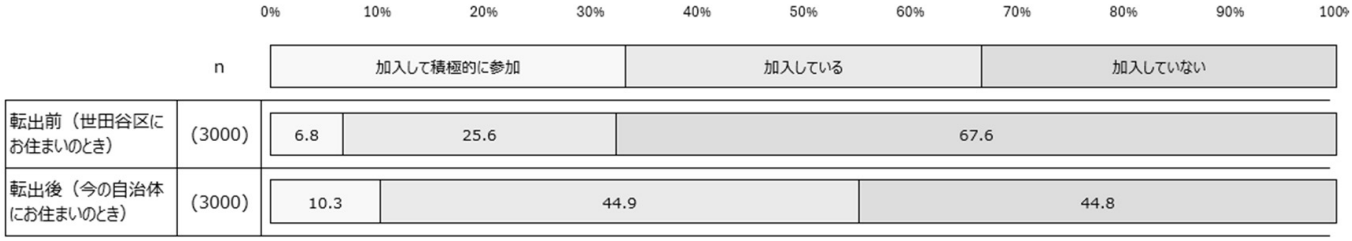
Q25：転出後の住居を探した際の条件



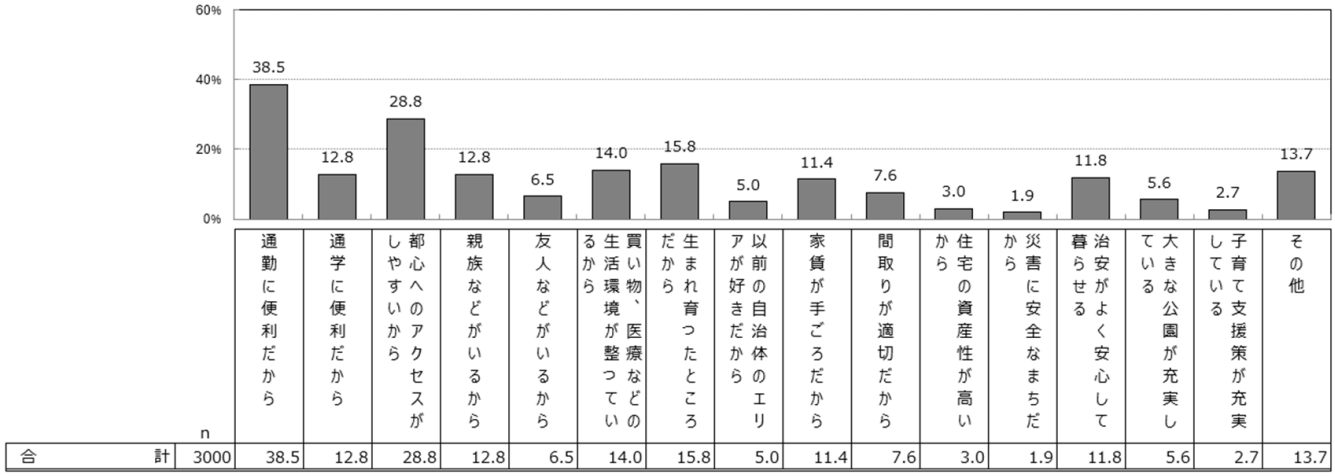
住居形態／間取り／転出後の住居を探した際の条件／
町会・自治会への加入

地域活動について、転出前後どちらも「加入していない」が最も多く見られる。
転出前のエリアに住んでいた理由について、「通学に便利だから」が38.5%が最も多く、次いで「都心へのアクセスがしやすいから」が28.8%となっている。

Q26：町会・自治会への加入



Q27：転出前のエリアに住んでいた理由

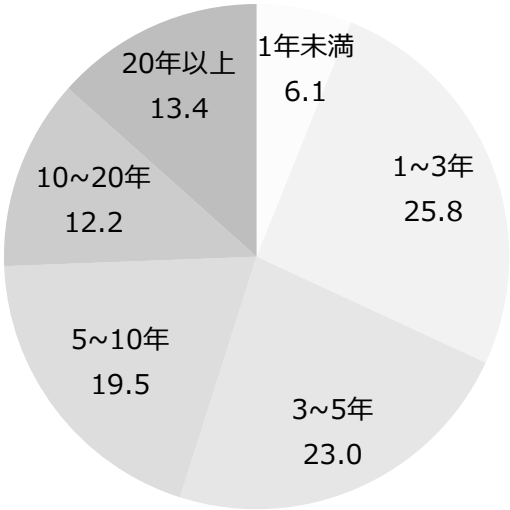


世田谷区に住んでいた理由／世田谷区に住んでいた期間／世田谷区対する不満点

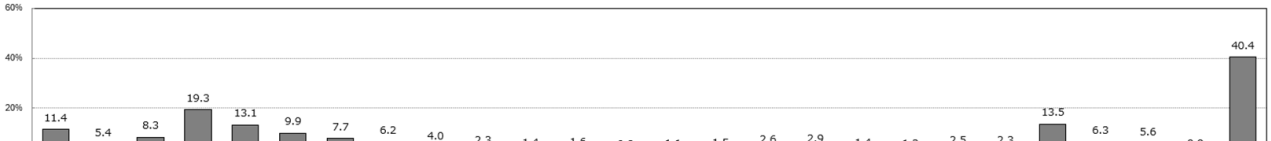
世田谷区に住んでいた理由／世田谷区に住んでいた期間
／世田谷区に対する不満点

世田谷区に住んでいた期間について、「1～3年」「3～5年」で半数近くとなっている。
世田谷区に対する不満について、「特にない」が40%を占めている。

Q28：世田谷区に住んでいた期間



Q29：世田谷区に対する不満点



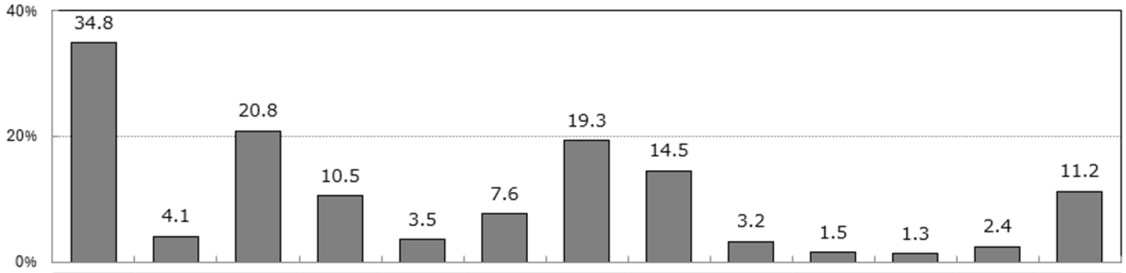
	n	勤務先への交通の便	通学の交通の便	都心へのアクセス	家賃や住宅の価格	物価	買い物の利便性	海・山・川などの自然環境	公園や遊び場など自然を感じられるところが身近にない	まちなみや景観	医療・福祉の充実	保育園・幼稚園の充実	小学校・中学校教育の充実	高等教育の充実	子育て支援制度の充実	文化・スポーツ施設	まちの安全性	近隣住民との関係	地域イベントや地域交流などの地域活動	就労環境	生活環境・公共サービス	公共施設の充実	間取りや広さなどの住空間	築年数	住居形態（マンション、アパート、戸建など）	住宅の資産性	不満点は特にない
合計	3000	11.4	5.4	8.3	19.3	13.1	9.9	7.7	6.2	4.0	2.3	1.4	1.6	0.8	1.1	1.5	2.6	2.9	1.4	1.2	2.5	2.3	13.5	6.3	5.6	0.9	40.4

転出するきっかけとなった理由

転出するきっかけとなった理由

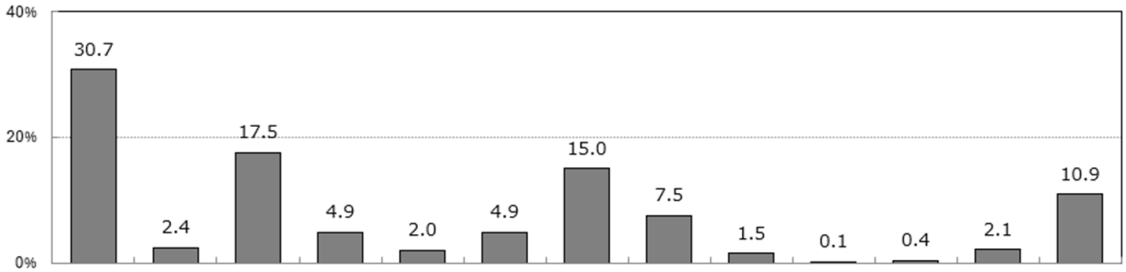
転出するきっかけとなった理由について、「就職・転職などの仕事のため」が34．8%と最も多く、次いで「結婚のため」が20.8%、「住宅購入のため」が19.3%となっている。
転出するきっかけとなった理由(最も)についても、同様に「就職・転職などの仕事のため」が30．7%と最も多く、次いで「結婚のため」が17.5%、「住宅購入のため」が15%となっている。

Q30-1：転出するきっかけとなった理由



	n	就職・転勤などの仕事のため	進学のため	結婚のため	子育てやこどもの教育のため	親の介護のため	親や親族との近居・同居のため	住宅購入のため	住まいが手狭になったため	第一子出産のため	第二子以降の出産のため	コロナ禍により在宅勤務が増えたから	コロナ禍の影響により収入が減ったから	その他
合計	3000	34.8	4.1	20.8	10.5	3.5	7.6	19.3	14.5	3.2	1.5	1.3	2.4	11.2

Q30-2：転出するきっかけとなった理由（最も）



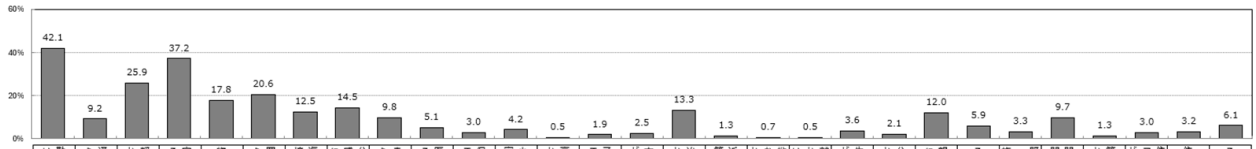
	n	就職・転勤などの仕事のため	進学のため	結婚のため	子育てやこどもの教育のため	親の介護のため	親や親族との近居・同居のため	住宅購入のため	住まいが手狭になったため	第一子出産のため	第二子以降の出産のため	コロナ禍により在宅勤務が増えたから	コロナ禍の影響により収入が減ったから	その他
合計	3000	30.7	2.4	17.5	4.9	2.0	4.9	15.0	7.5	1.5	0.1	0.4	2.1	10.9

今の自治体のお住まいのエリアを選んだ理由

今の自治体のお住まいのエリアを選んだ理由

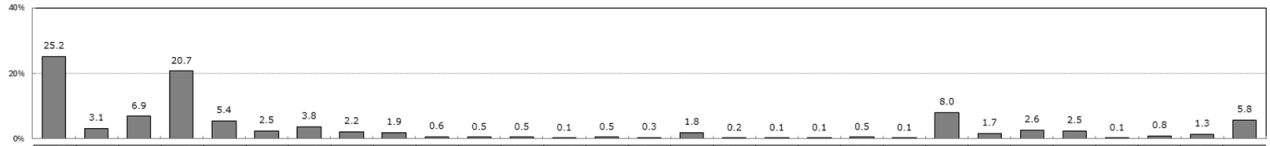
今の自治体のお住まいのエリアを選んだ理由について、「勤務先への交通の便が良いから」が42.1%と最も多く、次いで「家賃や住宅の価格が手ごろだから」が37.2%となっている。
今の自治体のお住まいのエリアを選んだ理由(最も)についても、「勤務先への交通の便が良いから」が25.2%が最も多く、次いで「家賃や住宅の価格が手ごろだから」が20.7%となっている。

Q31-1：今の自治体のお住まいのエリアを選んだ理由



	n	勤務先への交通の便が良いから	通学の交通の便が良いから	都心へのアクセスがよいから	家賃や住宅の価格が手ごろだから	物価が手ごろ・安いから	買い物の利便性がよいから	海・山・川などの自然環境が身近にあるから	公園や遊び場など自然を感じられるところが身近にあるから	まちなみや景観が良いから	医療・福祉が充実しているから	保育園・幼稚園が充実しているから	小学校・中学校教育が充実しているから	高等教育が充実しているから	子育て支援制度が充実しているから	文化・スポーツ施設などが近くにあるから	治安が良く安心・安全だから	近隣住民と良好な関係を築けそうだから	地域イベントや地域交流などの地域活動が活発だから	就労環境が充実している（会社・働き口が多い、給料が良いなど）	生活環境・公共サービスが充実しているから	公共施設が充実しているから	親や子、親族などが近くにいるから	その街が好きだから	既に決まっていたから（勤務先が住居を指定、親族の家に同居等）	間取りや広さなどの住空間がよい物件が多いから	築年数が浅い物件が多いから	住居形態（マンション、アパート、戸建てなど）が充実しているから	住宅の資産性があるから	その他
合計	3000	42.1	9.2	25.9	37.2	17.8	20.6	12.5	14.5	9.8	5.1	3.0	4.2	0.5	1.9	2.5	13.3	1.3	0.7	0.5	3.6	2.1	12.0	5.9	3.3	9.7	1.3	3.0	3.2	6.1

Q31-2：今の自治体のお住まいのエリアを選んだ理由（最も）



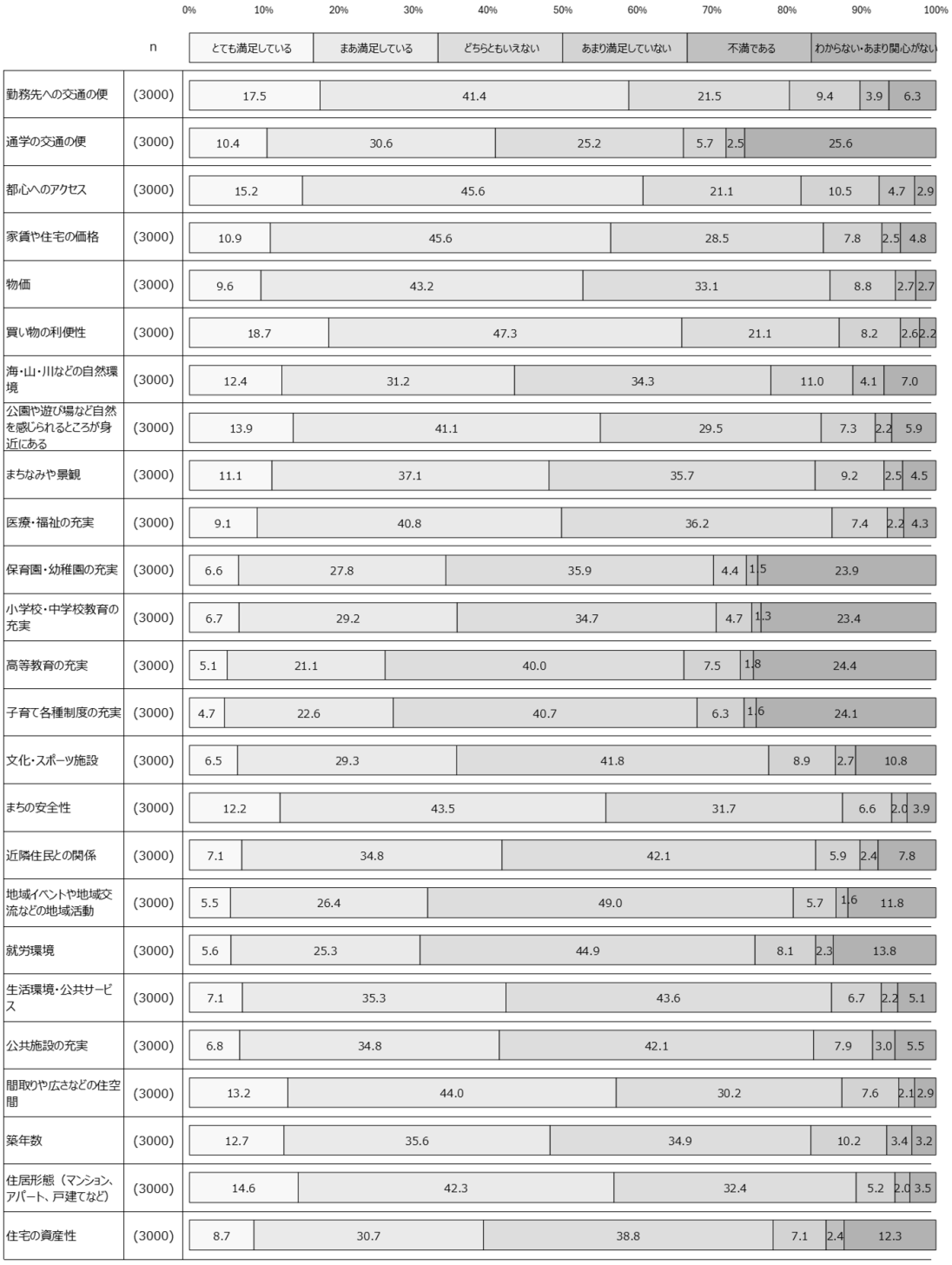
	n	勤務先への交通の便が良いから	通学の交通の便が良いから	都心へのアクセスがよいから	家賃や住宅の価格が手ごろだから	物価が手ごろ・安いから	買い物の利便性がよいから	海・山・川などの自然環境が身近にあるから	公園や遊び場など自然を感じられるところが身近にあるから	まちなみや景観が良いから	医療・福祉が充実しているから	保育園・幼稚園が充実しているから	小学校・中学校教育が充実しているから	高等教育が充実しているから	子育て支援制度が充実しているから	文化・スポーツ施設などが近くにあるから	治安が良く安心・安全だから	近隣住民と良好な関係を築けそうだから	地域イベントや地域交流などの地域活動が活発だから	就労環境が充実している（会社・働き口が多い、給料が良いなど）	生活環境・公共サービスが充実しているから	公共施設が充実しているから	親や子、親族などが近くにいるから	その街が好きだから	既に決まっていたから（勤務先が住居を指定、親族の家に同居等）	間取りや広さなどの住空間がよい物件が多いから	築年数が浅い物件が多いから	住居形態（マンション、アパート、戸建てなど）が充実しているから	住宅の資産性があるから	その他
合計	3000	25.2	3.1	6.9	20.7	5.4	2.5	3.8	2.2	1.9	0.6	0.5	0.5	0.1	0.5	0.3	1.8	0.2	0.1	0.1	0.5	0.1	8.0	1.7	2.6	2.5	0.1	0.8	1.3	5.8

今の自治体のお住まいのエリア満足度

今の自治体のお住まいのエリア満足度

満足度について、「とても満足している」「まあ満足している」あわせて「買い物の利便性」が66%と最も高く、次いで「都心へのアクセス」60.8%、「勤務先への交通の便」58.9%となっている。

Q32：今の自治体のお住まいのエリア満足度

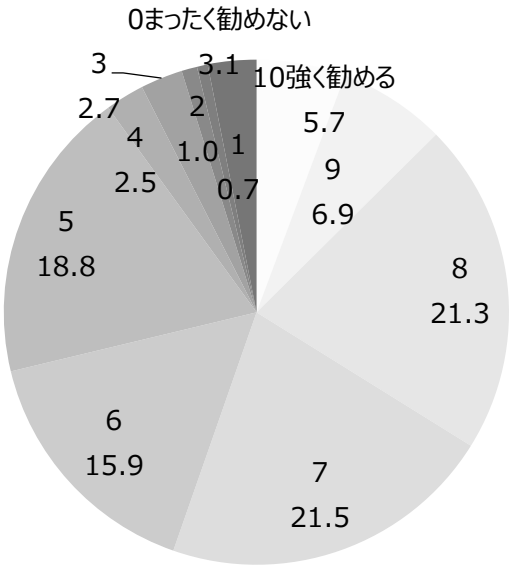


今の自治体のお住まいのエリアの推奨度

今の自治体のお住まいのエリアの推奨度

今の自治体のお住まいのエリアの推奨度について、10段階評価で「7」が21%と最も多く、次いで「8」が21.3%となっている。

Q33：今の自治体のお住まいのエリアの推奨度



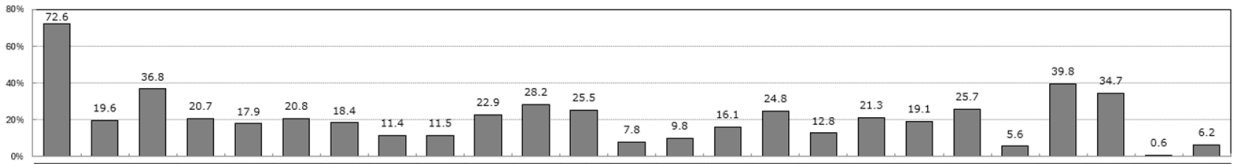
100

情報収集手段／自治体情報収集手段／コロナの引っ越し先住居の決定への影響度

情報収集手段／自治体情報収集手段

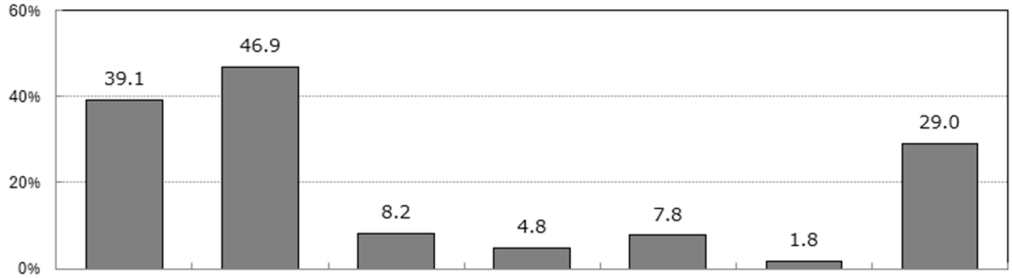
情報収集手段について、「テレビ」が72.6%と最も高く、次いで「友人・知人」が39. 8%、「新聞」が36.8%となっている。
自治体情報収集手段について、「区の広報」が46.9%と最も高く、次いで「区公式HP」39.1%、「情報収集していない」が29%となっている。

Q34：情報収集手段



	n	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	書籍	折込チラシ	ダイレクトメール（郵便・宅配）	フリーペーパー	広報誌	企業サイト	ショッピングサイト	ポータルサイト	コミュニティサイト	ブログ	メールマガジン	動画共有サービス（YouTube、ニコニコ動画など）	Facebook	X（旧Twitter）	Instagram	LINE（ライン）	TikTok（ティックトック）	友人・知人	家族	その他	情報を収集していない
合計	3000	72.6	19.6	36.8	20.7	17.9	20.8	18.4	11.4	11.5	22.9	28.2	25.5	7.8	9.8	16.1	24.8	12.8	21.3	19.1	25.7	5.6	39.8	34.7	0.6	6.2

Q35：自治体情報収集手段



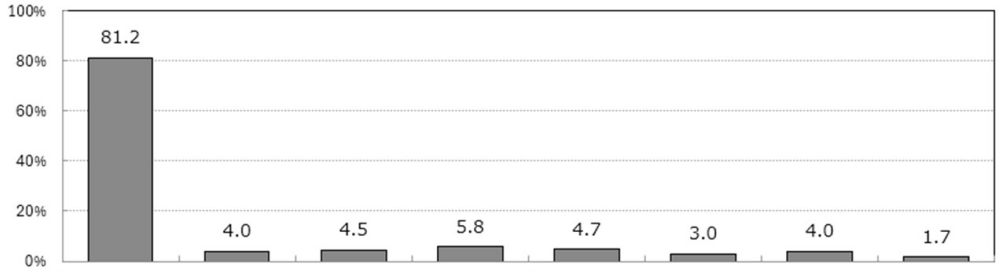
	n	区公式HP	区の広報	X（旧twitter）の公式アカウント	Facebookの公式アカウント	LINE公式アカウント	その他	情報を収集していない
合計	3000	39.1	46.9	8.2	4.8	7.8	1.8	29.0

情報収集手段／自治体情報収集手段

情報収集手段／自治体情報収集手段

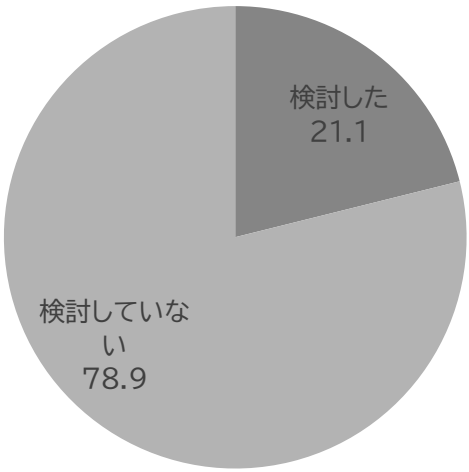
コロナの引っ越し先住居の決定への影響度について、「影響はなかった」が80％と圧倒している。
転居先としての世田谷区検討状況について、「検討していない」が大半を占めている。

Q36：コロナの引っ越し先住居の決定への影響度



	n	影響はなかった	密を避けるために広い住宅や間取りを選択した	密を避けるために駅からの距離が遠い物件を選択した	在宅勤務が増えたので広い住宅や間取りを選択した	在宅勤務が増えたので通勤時間が長くなってもよいと考えた	在宅勤務が増えたので、地域での暮らしを重視した	収入が減ったりしたので、家賃を重視した	その他
合計	3000	81.2	4.0	4.5	5.8	4.7	3.0	4.0	1.7

Q37：転居先としての世田谷区検討状況

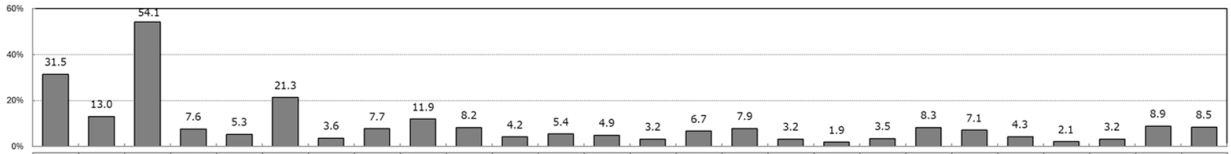


世田谷区の方が良かったと思う点／世田谷区への再転入意向

世田谷区の方が良かったと思う点／世田谷区への再転入意向

世田谷区の方が良かったと思う点について、「都心へのアクセス」が54.1%と最も多く、次いで「勤務先への交通の便」が31．5%となっている。
世田谷区への再転入意向について、「どちらともいえない」が33.2%と最も多く、次いで「やや住みたいと思う」28．4%となっている。

Q39：今住んでいる自治体より世田谷区の方が良かったと思う点



	n	勤務先への交通の便	通学の交通の便	都心へアクセス	家賃や住宅の価格	物価	買い物の利便性	海・山・川などの自然環境	公園や遊び場など自然を感じられるところが身近にある	まちなみや景観	医療・福祉の充実	保育園・幼稚園の充実	小学校・中学校教育の充実	高等教育の充実	子育て各種制度の充実	文化・スポーツ施設	まちの安全性	近隣住民との関係	地域イベントや地域交流などの地域活動	就労環境	生活環境・公共サービス	公共施設の充実	間取りや広さなどの住空間	築年数	住居形態（マンション、アパート、戸建てなど）	住宅の資産性	その他
合計	3000	31.5	13.0	54.1	7.6	5.3	21.3	3.6	7.7	11.9	8.2	4.2	5.4	4.9	3.2	6.7	7.9	3.2	1.9	3.5	8.3	7.1	4.3	2.1	3.2	8.9	8.5

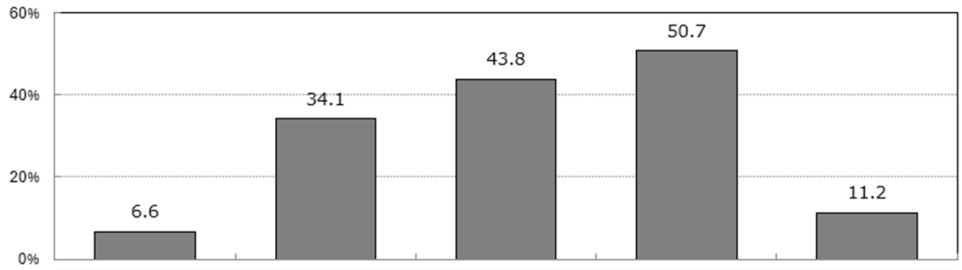
Q40：世田谷区への再転入意向

世田谷区への再転入意向の理由／世田谷区への愛着

世田谷区への再転入意向の理由／世田谷区への愛着

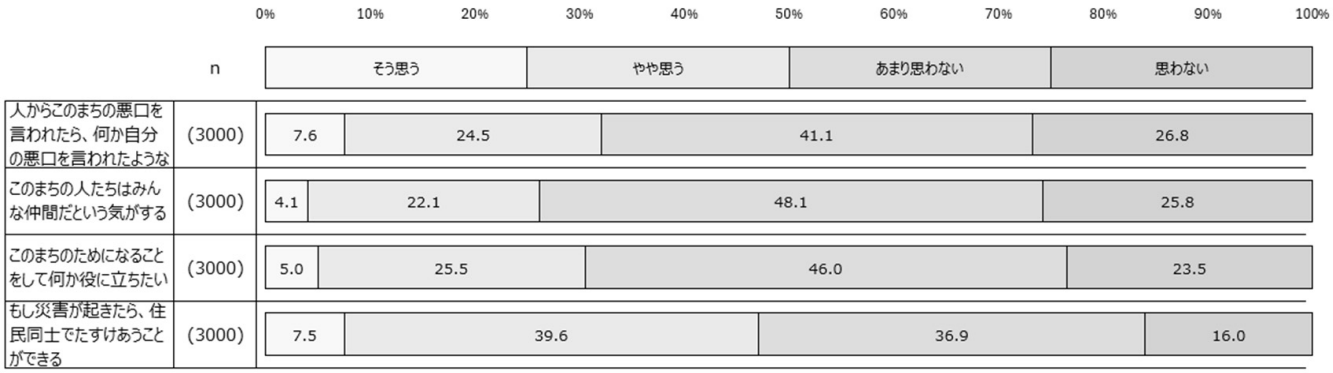
世田谷区への再転入意向の理由について、「住宅価値が下がれば」が50.7%と最も高く、次いで「家賃が下がれば」が43．8%となっている。
世田谷区の愛着について、「思う」「やや思う」をあわせて、「もし災害が起きたら、住民同士でたすけあうことができる」が最も多く見られる。

Q41：世田谷区への再転入意向の理由



	n	子育て支援策が充実したら	十分な広さの住宅があれば	家賃が下がれば	住宅価格が下がれば	その他
合計	3000	6.6	34.1	43.8	50.7	11.2

Q43：世田谷区への愛着

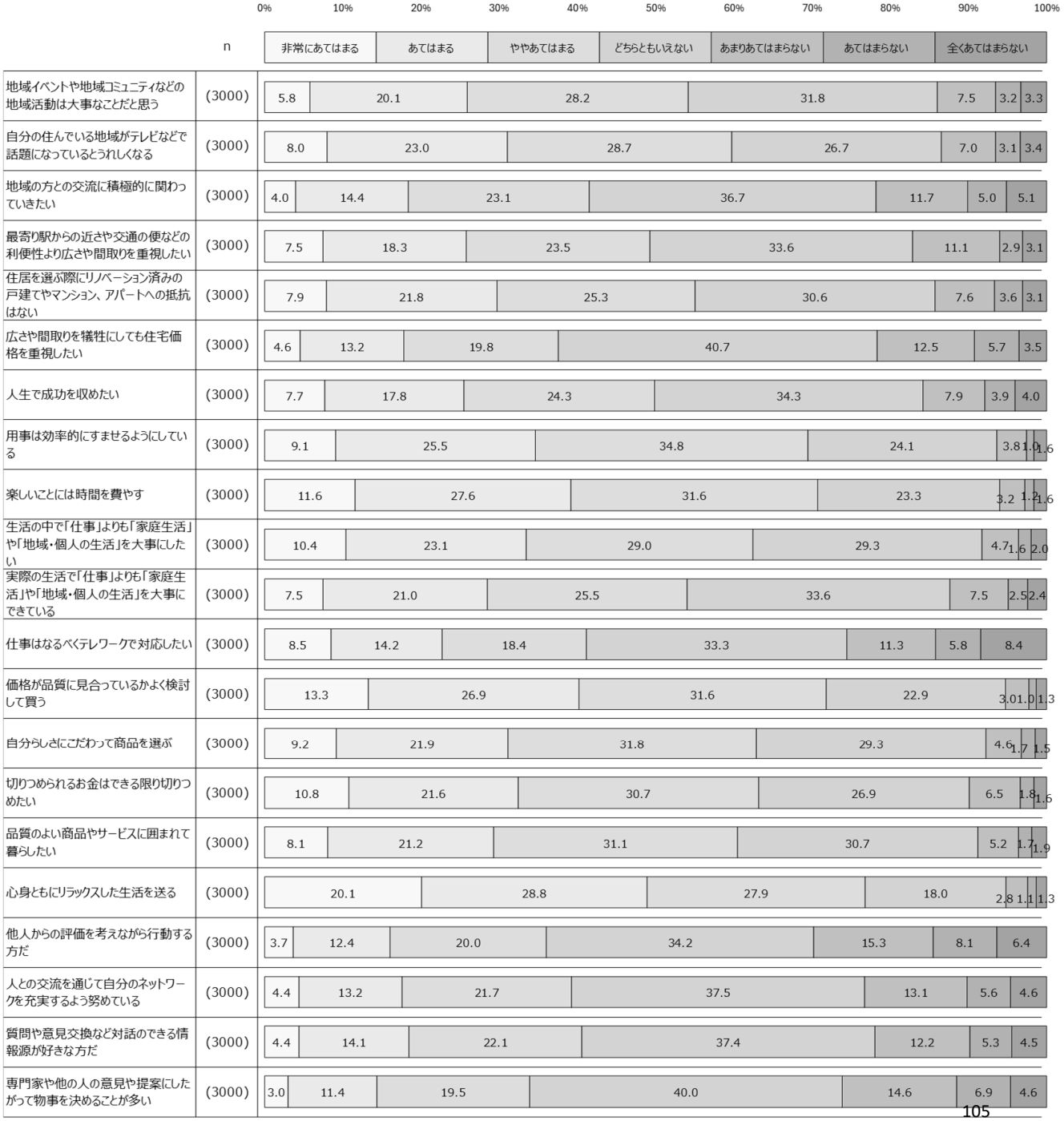


コロナ前の価値観意識

コロナ前の価値観意識

コロナ前の価値観意識について、「非常にあてはまる」「あてはまる」「ややあてはまる」をあわせ「心身ともにリラックスした生活を送る」が76．8%が最も多く、次いで「価格が品質に見合っているかよく検討して買う」が71．8%、「楽しいことには時間を費やす」70.8%となっている。

Q44：コロナ前の価値観意識

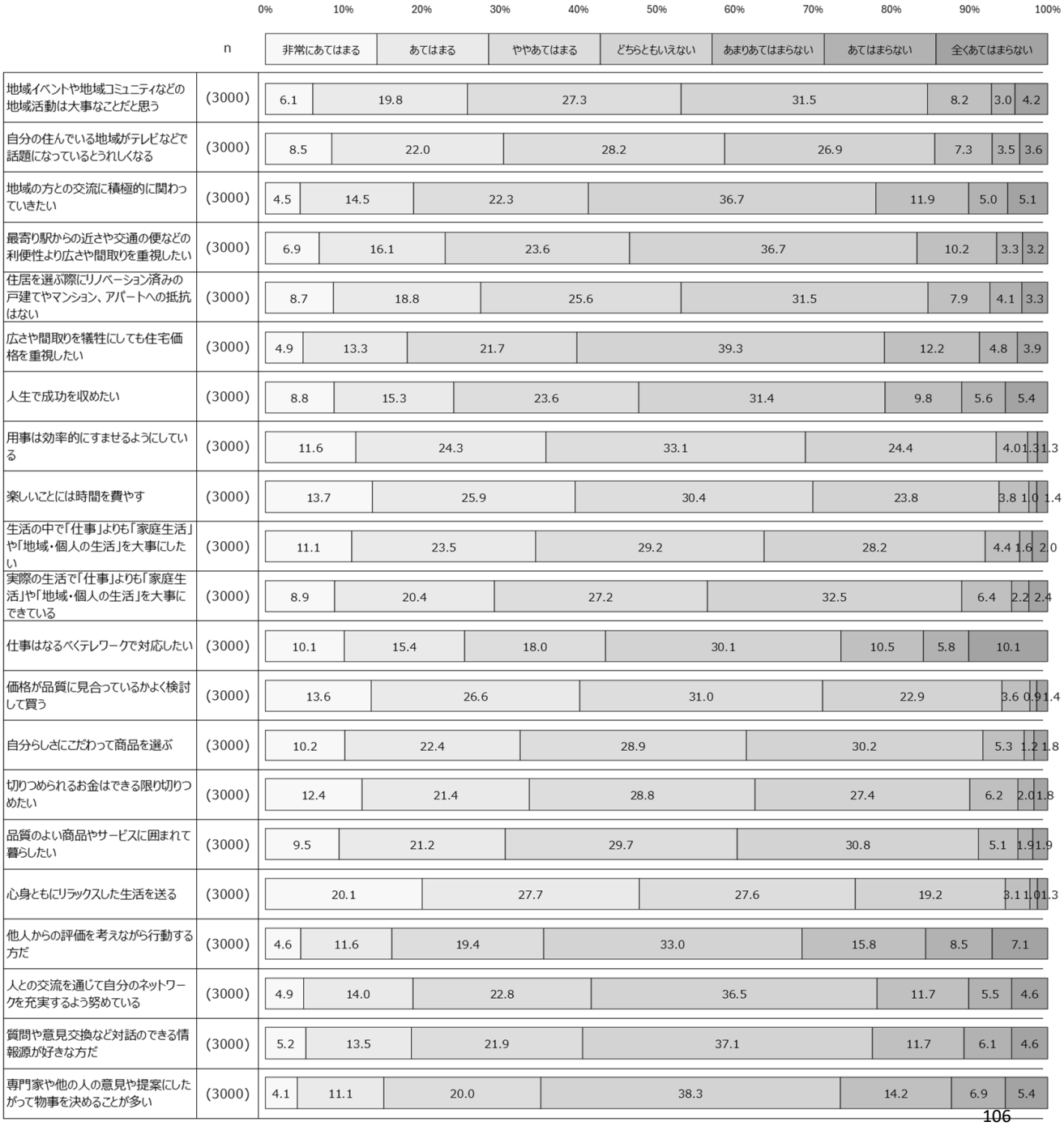


コロナ後の価値観意識

コロナ後の価値観意識

コロナ後の価値観意識について、「非常にあてはまる」「あてはまる」「ややあてはまる」をあわせ「心身ともにリラックスした生活を送る」が75．4％が最も多く、次いで「価格が品質に見合っているかよく検討して買う」が71．2％、「楽しいことには時間を費やす」70％となっている。

Q45：コロナ後の価値観意識

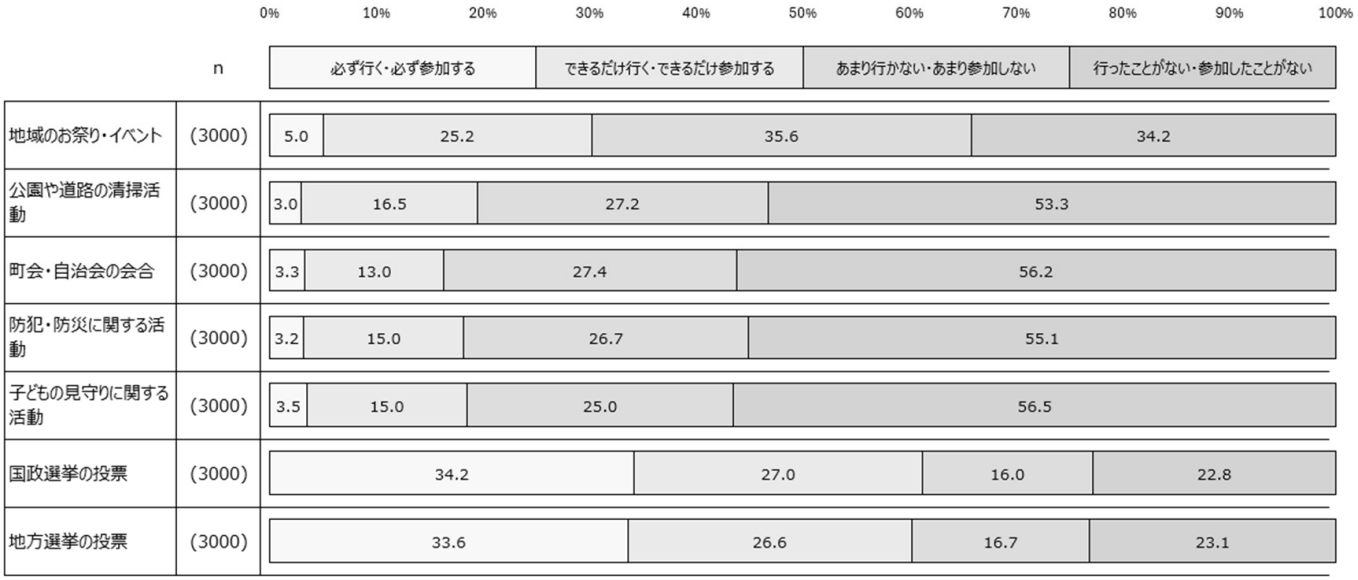
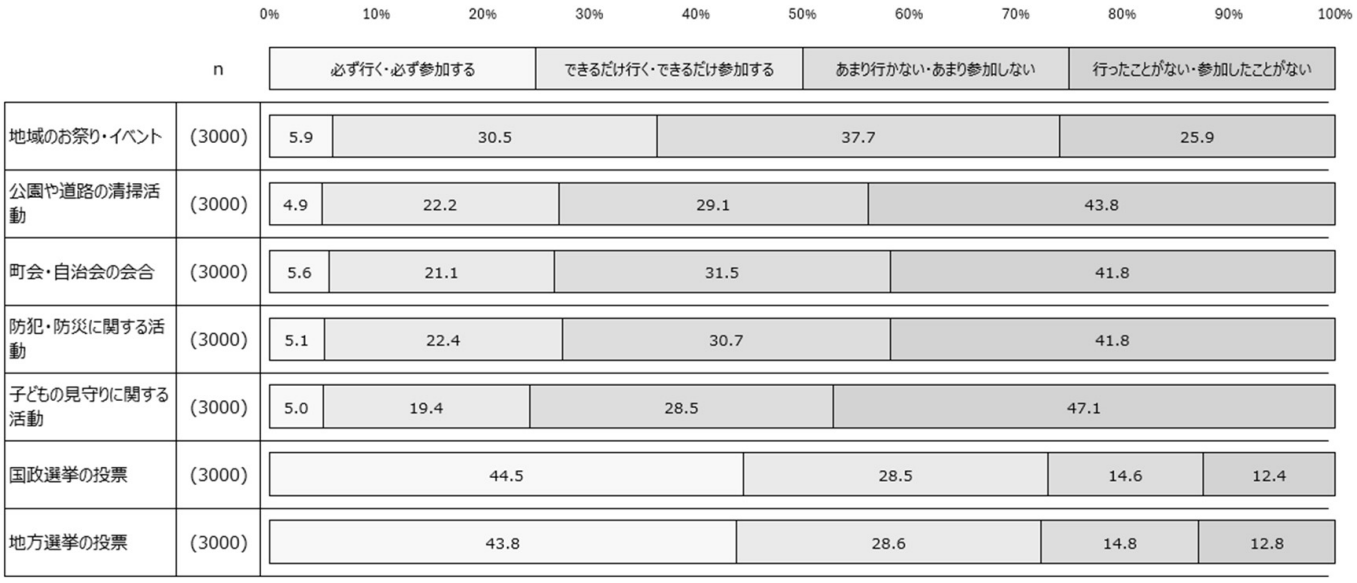


地域活動

地域活動

地域活動について、転出前後どちらも「必ず行く・必ず参加する」「できるだけ行く・できるだけ参加する」あわせて、「国政選挙の投票」「地方選挙の投票」に積極性が高く見られる。

Q46：地域活動（転出前）



Q47：地域活動（転出後）